

魚沼市 福祉に関するアンケート調査 報告書

令和5年3月
魚 沼 市

目次

調査概要.....	1
調査結果.....	2
■ 調査対象者本人について.....	2
問 1 調査票の回答者.....	2
問 2 年齢.....	3
問 3 住んでいる地域.....	4
問 4 同居者.....	4
■ 介助について.....	5
問 5 日常生活での介助の必要性.....	5
問 6 主な介助者.....	7
問 7 主な介助者について.....	8
■ 障害の状況について.....	9
問 8 障害者に関する手帳.....	9
問 9 主たる障害.....	11
問 10 指定難病受給者証.....	11
問 11 発達障害.....	12
問 12 高次脳機能障害.....	12
問 13 医療ケア.....	13
■ 住まいや暮らしについて.....	14
問 14 現在の暮らし.....	14
問 15 将来の暮らし.....	14
問 16 地域生活のための支援.....	15
問 17 主な収入.....	15
■ 日中活動や就労について.....	16
問 18 外出の頻度.....	16
問 19 外出時の同伴者.....	17
問 20 外出の目的.....	17
問 21 外出時に困ること.....	18
問 22 日中の過ごし方.....	19
問 23 勤務形態.....	20

問 24	就労希望.....	21
問 25	職業訓練.....	22
問 26	就労支援について.....	23
■ 障害福祉サービス等の利用について.....		24
問 27	障害支援区分.....	24
問 28	介護保険サービスの利用.....	25
問 29	要介護度.....	26
問 30	サービスの利用状況と利用意向.....	27
■ 相談相手について.....		60
問 31	相談相手.....	60
問 32	福祉サービスなどに関する情報.....	61
■ 権利擁護について.....		62
問 33	障害による差別.....	62
問 34	差別された場.....	63
問 35	成年後見制度の認知度.....	64
問 36	成年後見制度の利用について.....	65
問 37	障害に対する周囲の理解.....	66
問 38	理解が進んでいないと思う理由.....	67
■ 災害時の避難等について.....		68
問 39	一人で避難できるか.....	68
問 40	助けてくれる人の有無.....	69
問 41	災害時に困ること.....	70
問 42	災害時避難行動要支援者名簿.....	71
■ 趣味や余暇の過ごし方.....		72
問 43	趣味や文化・スポーツ活動.....	72
問 44	やってみたいと思うこと.....	73
問 45	できない理由.....	74
調査結果のまとめ.....		75
■ 自由意見.....		76

調査概要

【調査目的】

本調査は、令和6年度を初年度とする魚沼市障害者計画・第7期魚沼市障害福祉計画・第3期魚沼市障害児福祉計画の策定に向け、障害がある方の障害福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進のための基礎資料として実施しました。

【調査内容】

- 調査月：令和5年（2023年）2月
- 調査基準日：令和5年（2023年）2月1日現在
- 調査対象者：身体障害者手帳をお持ちの方
療育手帳をお持ちの方
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
障害福祉サービス・障害児福祉サービスを利用されている方
精神障害にかかる医療費助成制度を利用されている方
指定難病、発達障害等により特別な支援、援助を必要とされる方
- 配布・回収方法：郵送による配布・回収

【有効回答数】

- 配布部数：500部
- 回収部数：280部
- 回収率：56.0%
- 有効回答数：280部

【報告書の見方】

- ① 報告書中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。
- ② 回答の比率は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって、回答者比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答（「あてはまるものすべて」等）の設問については、全ての回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。
- ④ クロス集計の算出は、無回答を除いている場合は、単純集計と数値・%値が一致しない場合があります。
- ⑤ 設問により令和2年に実施した前回調査結果を比較したグラフを参考に表記しています。

※クロスグラフの回答数（n）が少数の場合は、その傾向に注意が必要です。

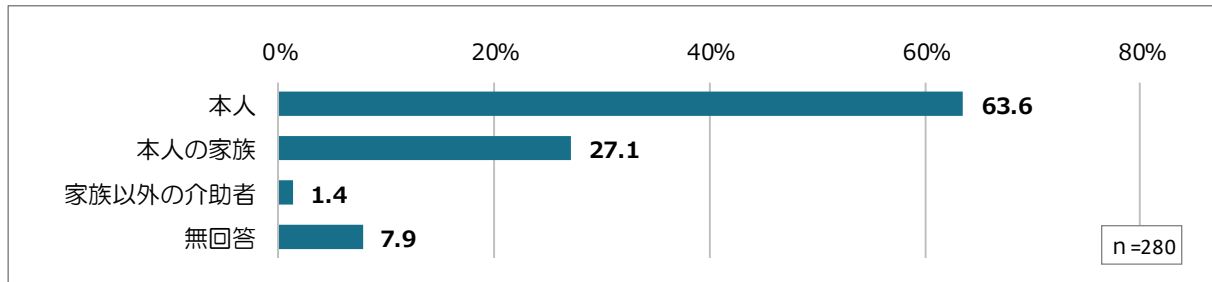
調査結果

■ 調査対象者本人について

問 1 調査票の回答者

お答えいただくのは、どなたですか

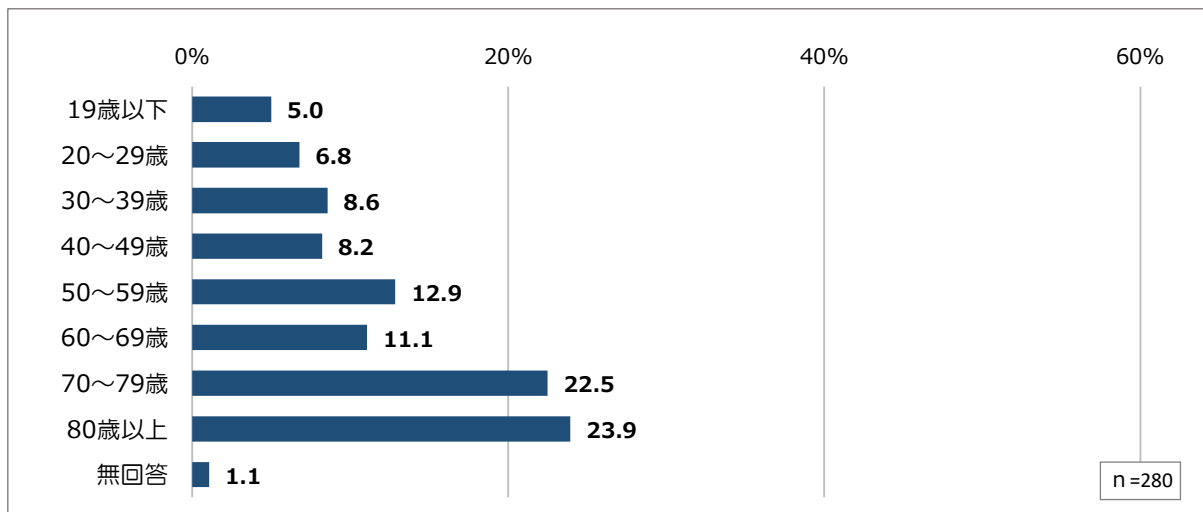
「本人」が63.6%となっています。



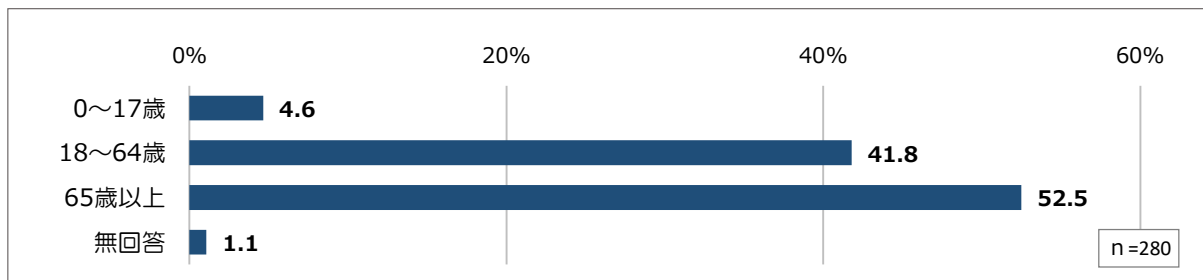
問 2 年齢

あなたの年齢をお答えください

「80歳以上」が23.9%と最も高く、次いで「70～79歳」が22.5%などとなっています。年齢を3区分にすると、「障害児（0～17歳）」が4.6%、「障害者（18～64歳）」が41.8%、「障害者（高齢者）（65歳以上）」が52.5%となっています。



年齢（3区分）



障害者に関する手帳の所持別 年齢

	合計	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
身体障害者手帳	139 100.0%	4 2.9%	5 3.6%	3 2.2%	2 1.4%	14 10.1%	13 9.4%	42 30.2%	56 40.3%	0 0.0%
療育手帳	49 100.0%	7 14.3%	11 22.4%	11 22.4%	6 12.2%	5 10.2%	6 12.2%	2 4.1%	0 0.0%	1 2.0%
精神障害者 保健福祉手帳	47 100.0%	0 0.0%	1 2.1%	6 12.8%	10 21.3%	9 19.1%	9 19.1%	9 19.1%	2 4.3%	1 2.1%
持っていない	43 100.0%	5 11.6%	4 9.3%	3 7.0%	6 14.0%	9 20.9%	2 4.7%	9 20.9%	5 11.6%	0 0.0%

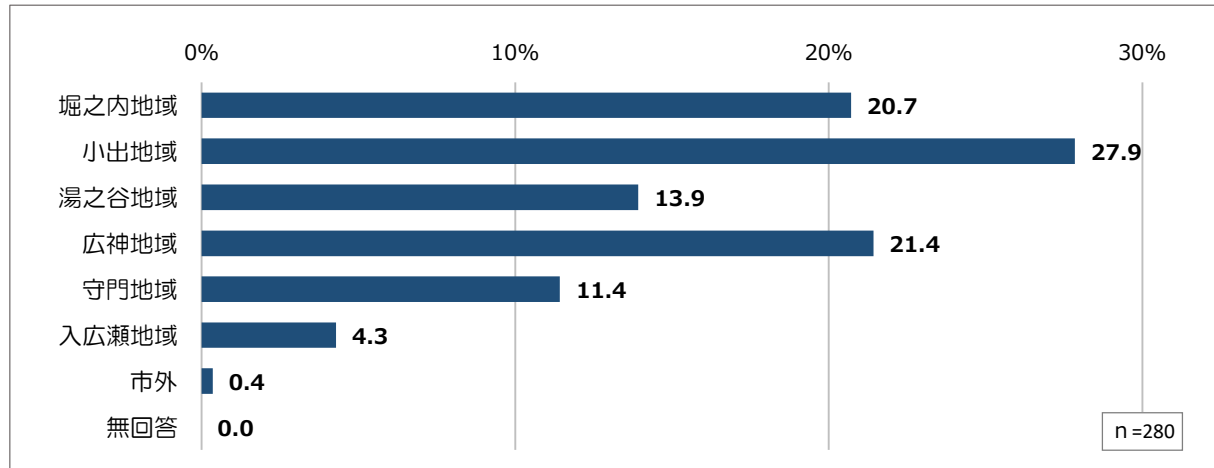
※ 手帳の所持で、「持っていない」とする回答については、「障害福祉サービス・障害児福祉サービスを利用されている方」「精神障害にかかる医療費助成制度を利用されている方」「指定難病、発達障害等により特別な支援、援助を必要とされる方」です。

※ 手帳の種別については、重複回答者を含んでいるため、全体の合計と一致していません。

問3 住んでいる地域

あなたがお住まいの地域はどこですか

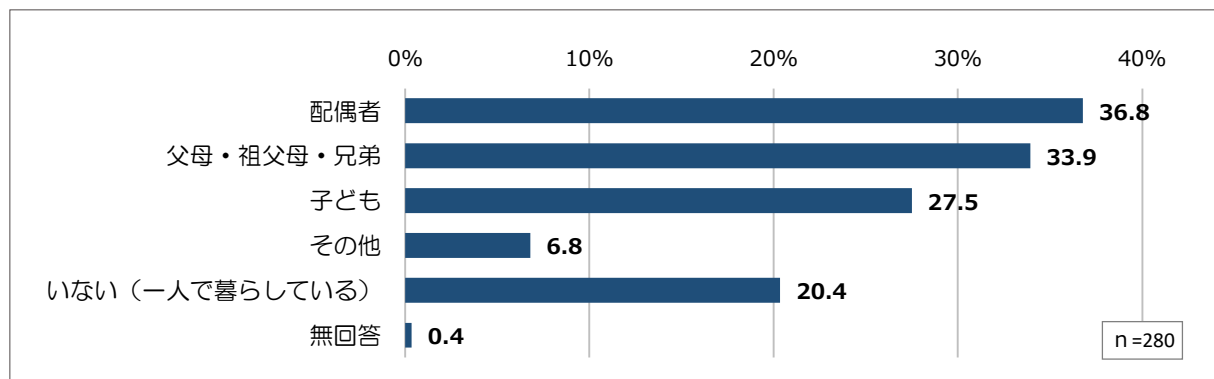
「小出地域」が27.9%と最も高く、次いで「広神地域」が21.4%、「堀之内地域」が20.7%などとなっています。



問4 同居者

現在、あなたが一緒に暮らしている方は、どなたですか（複数回答）

「配偶者」が36.8%と最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟」が33.9%、「子ども」が27.5%となっています。一方で「いない（一人で暮らしている）」は20.4%となっています。



※ 「いない（一人で暮らしている）」には、グループホーム、福祉施設等を利用している方を含みます。

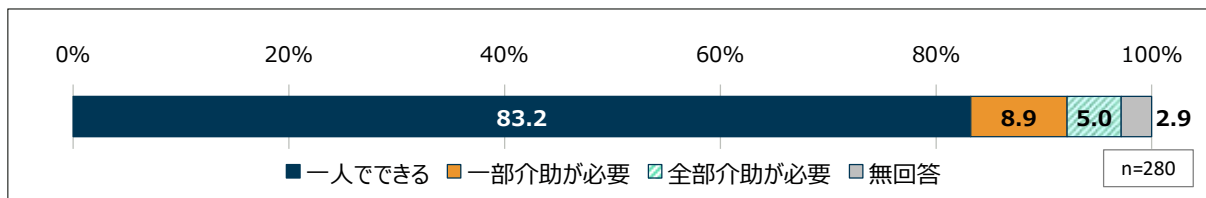
■ 介助について

問 5 日常生活での介助の必要性

日常生活で、次のことをどのようにしていますか

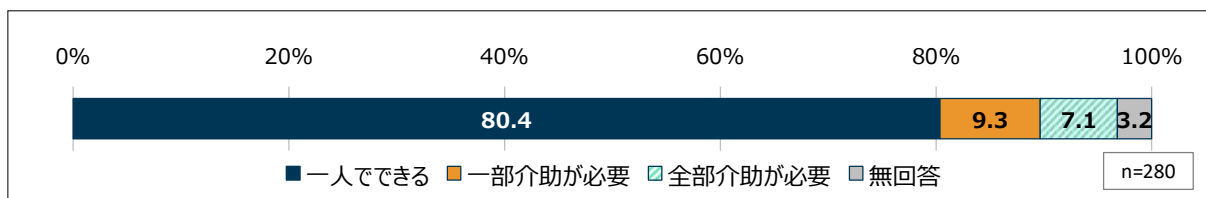
ア 食事

「一部介助が必要」が 8.9%、「全部介助が必要」が 5.0%となっています。



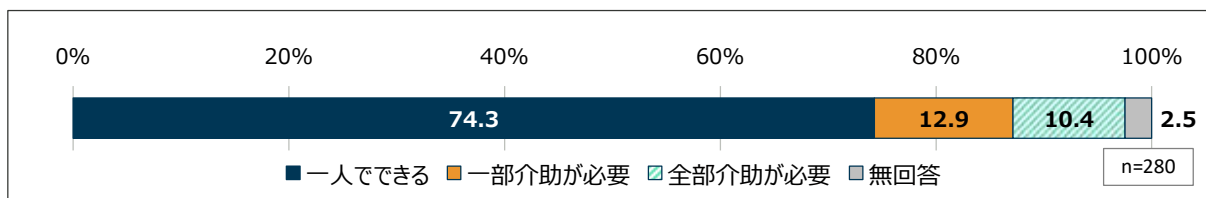
イ トイレ

「一部介助が必要」が 9.3%、「全部介助が必要」が 7.1%となっています。



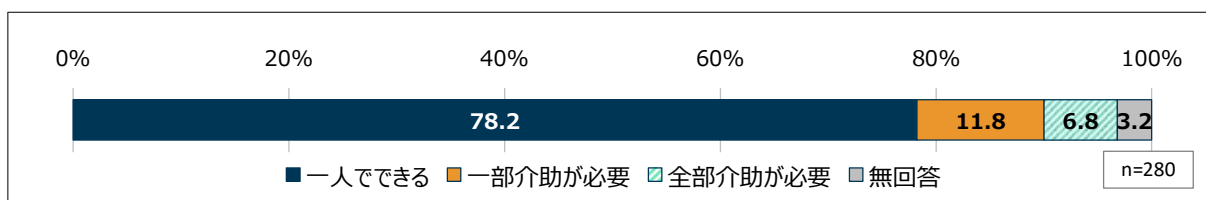
ウ 入浴

「一部介助が必要」が 12.9%、「全部介助が必要」が 10.4%となっています。



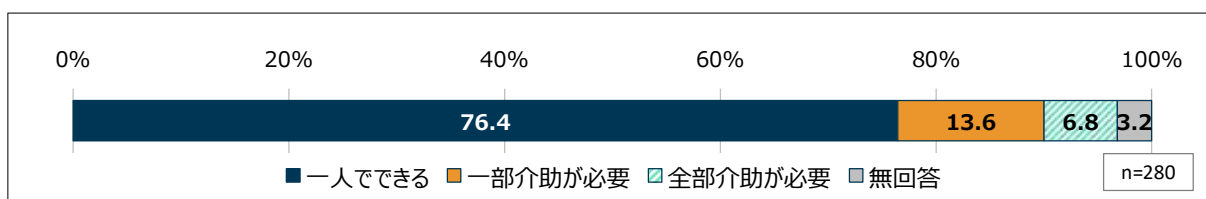
エ 衣服の着脱

「一部介助が必要」が 11.8%、「全部介助が必要」が 6.8%となっています。



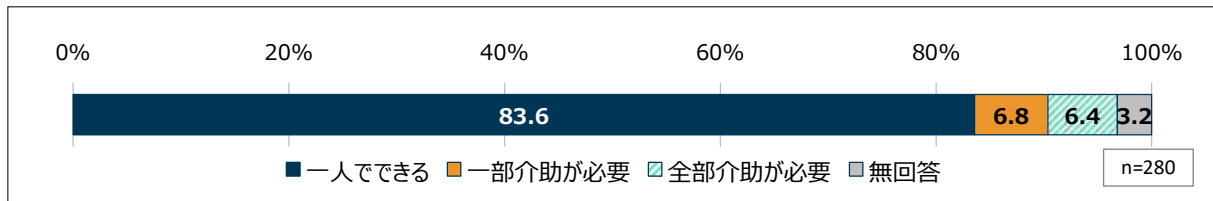
オ 身だしなみ

「一部介助が必要」が 13.6%、「全部介助が必要」が 6.8%となっています。



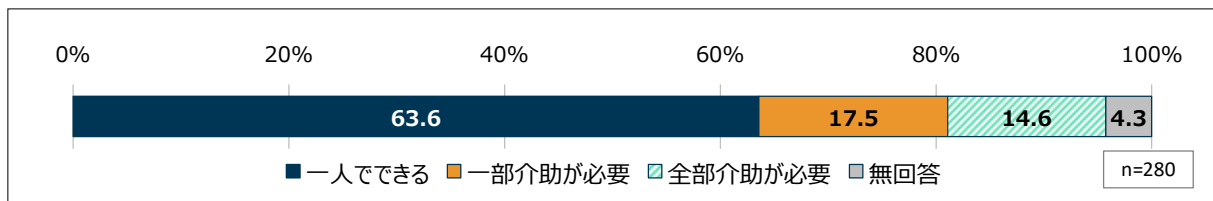
カ 家の中の移動

「一部介助が必要」が6.8%、「全部介助が必要」が6.4%となっています。



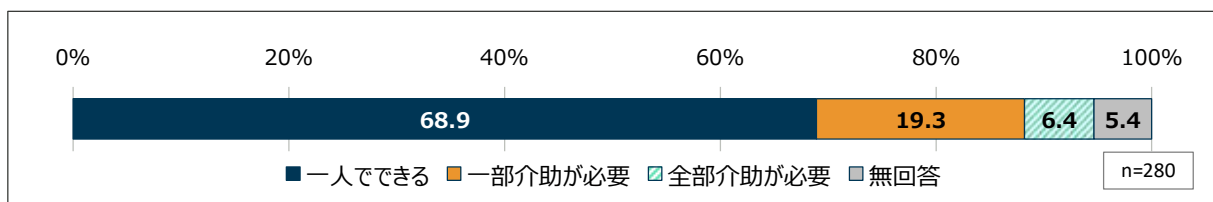
キ 外出

「一部介助が必要」が17.5%、「全部介助が必要」が14.6%となっています。



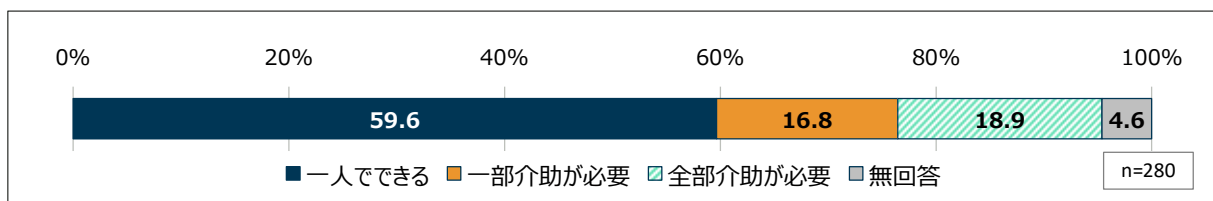
ク 家族以外の人との意思疎通

「一部介助が必要」が19.3%、「全部介助が必要」が6.4%となっています。



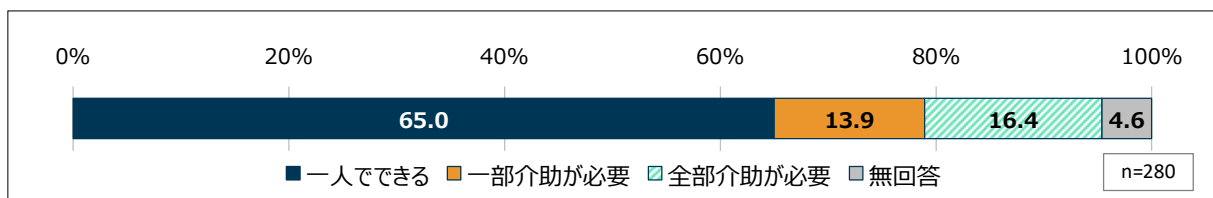
ケ お金の管理

「一部介助が必要」が16.8%、「全部介助が必要」が18.9%となっています。



コ 薬の管理

「一部介助が必要」が13.9%、「全部介助が必要」が16.4%となっています。

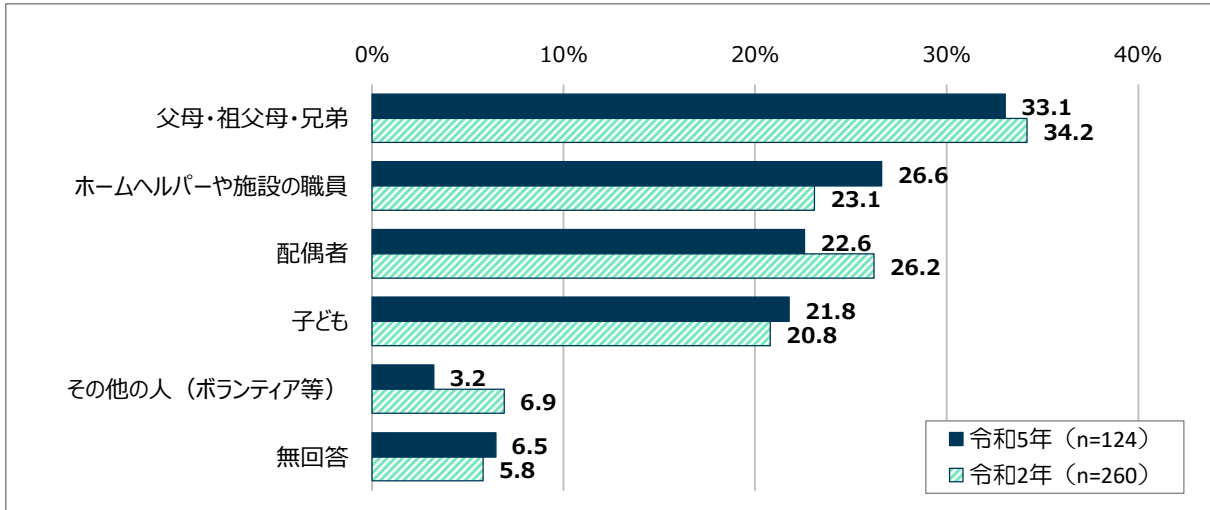


問 6 主な介助者

問 5 で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答した方のみ

あなたを介助してくれる方は主に誰ですか（複数回答）

「父母・祖父母・兄弟」が 33.1%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が 26.6%、「配偶者」が 22.6%などとなっています。



障害者に関する手帳の所持別 主な介護者

	合計	父母・祖父母・兄弟	配偶者	子ども	ホームヘルパー や施設の職員	その他の人（ボ ランティア等）	無回答
身体障害者手帳	58 100.0%	9 15.5%	20 34.5%	24 41.4%	15 25.9%	0 0.0%	2 3.4%
療育手帳	40 100.0%	26 65.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 25.0%	2 5.0%	4 10.0%
精神障害者 保健福祉手帳	21 100.0%	7 33.3%	6 28.6%	2 9.5%	7 33.3%	2 9.5%	2 9.5%
持っていない	10 100.0%	4 40.0%	2 20.0%	1 10.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%

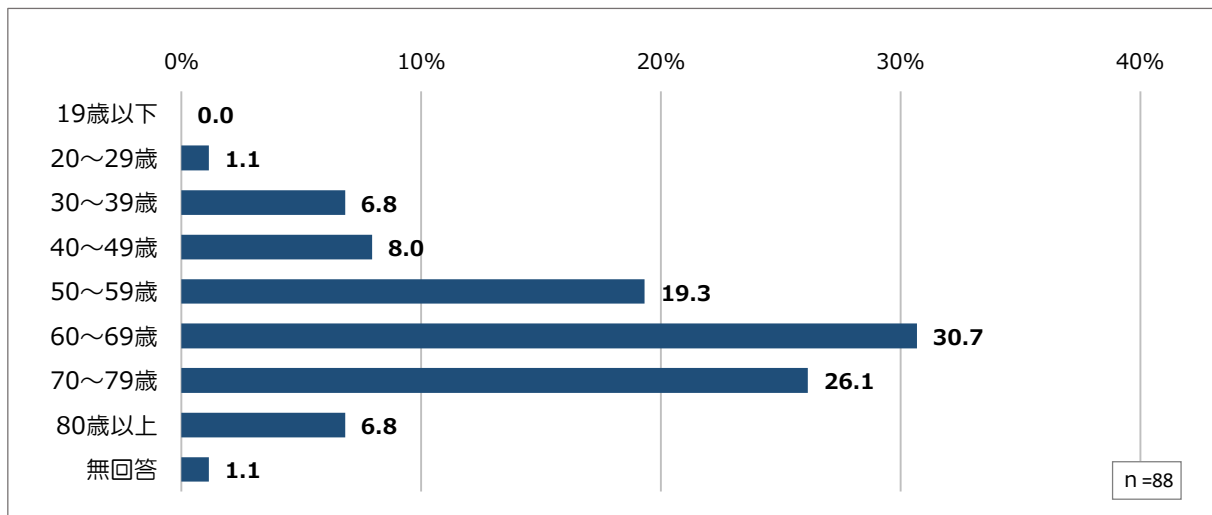
問7 主な介助者について

問6で「父母・祖父母・兄弟」「配偶者」「子ども」のいずれかに回答した方のみ

あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、健康状態をお答えください

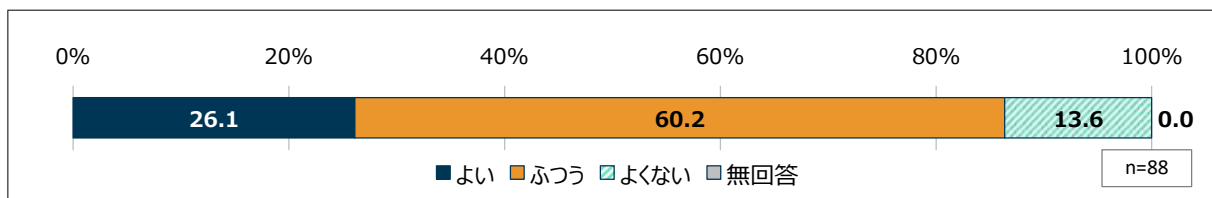
① 年齢

「60～69歳」が30.7%と最も高く、次いで「70～79歳」が26.1%となっています。



② 健康状態

「よい」が26.1%、「ふつう」が60.2%で、「よくない」は13.6%となっています。

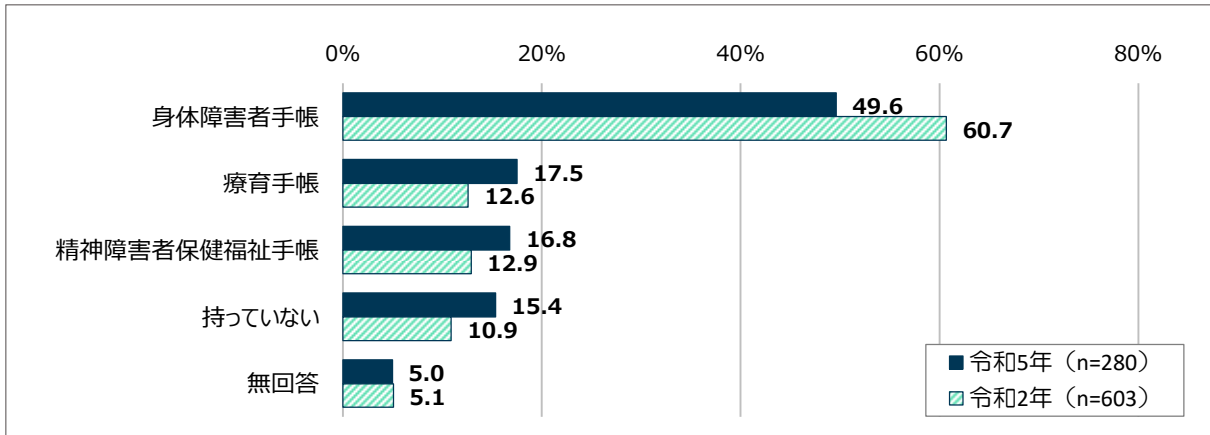


■ 障害の状況について

問 8 障害者に関する手帳

あなたは障害者に関する手帳をお持ちですか（複数回答）

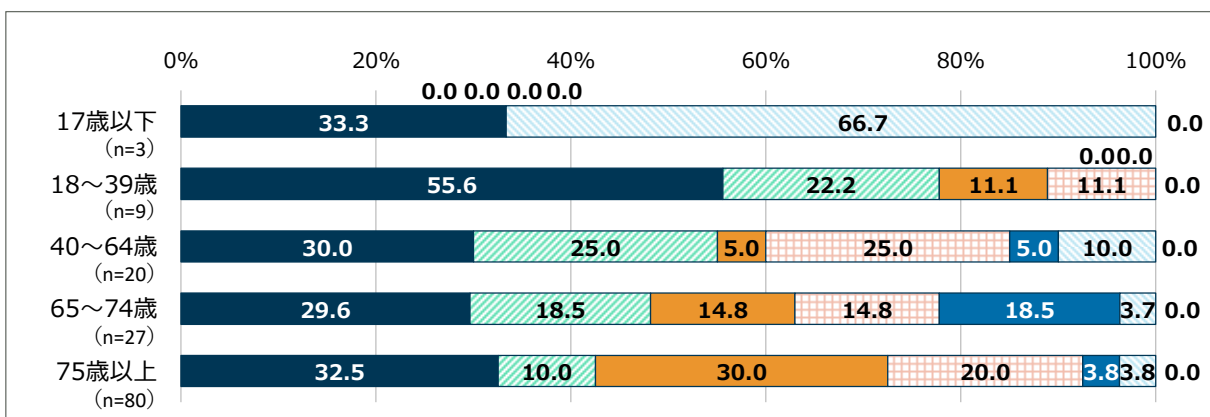
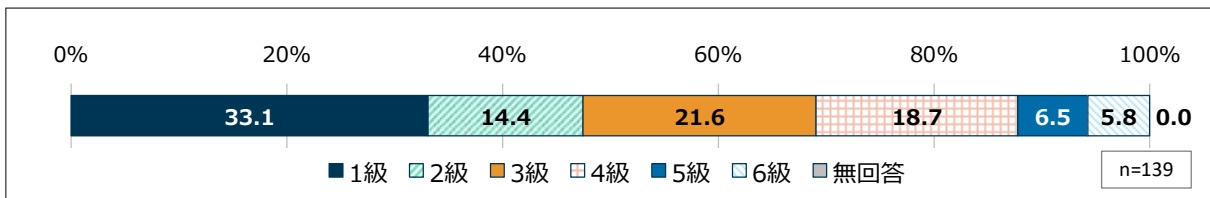
「身体障害者手帳」が49.6%、「療育手帳」が17.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が16.8%で、「持っていない」は15.4%などとなっています。



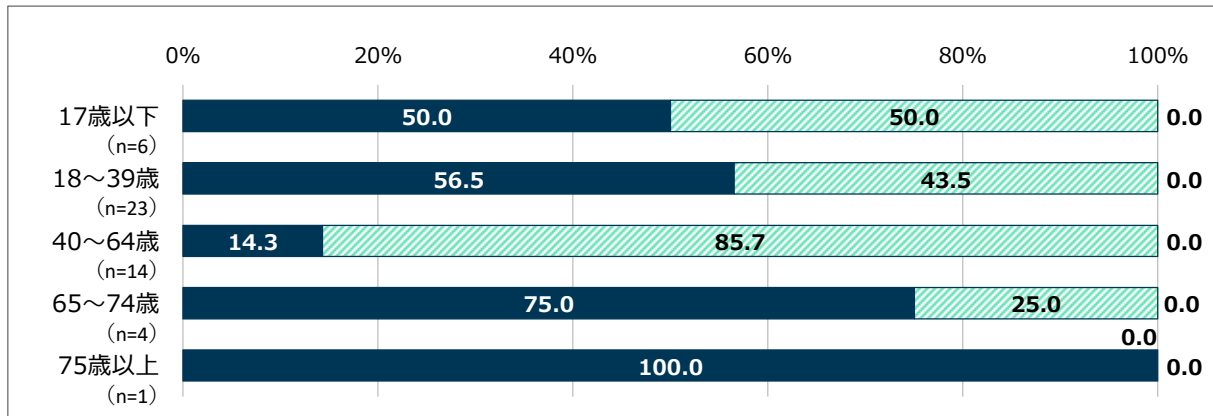
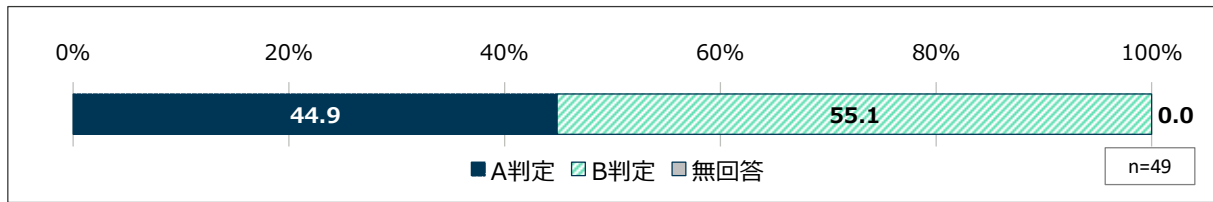
※ 手帳の所持で、「持っていない」とする回答については、「障害福祉サービス・障害児福祉サービスを利用されている方」「精神障害にかかる医療費助成制度を利用されている方」「指定難病、発達障害等により特別な支援、援助を必要とされる方」です。

※ 手帳の種別については、重複回答者を含んでいるため、全体の合計と一致していません。

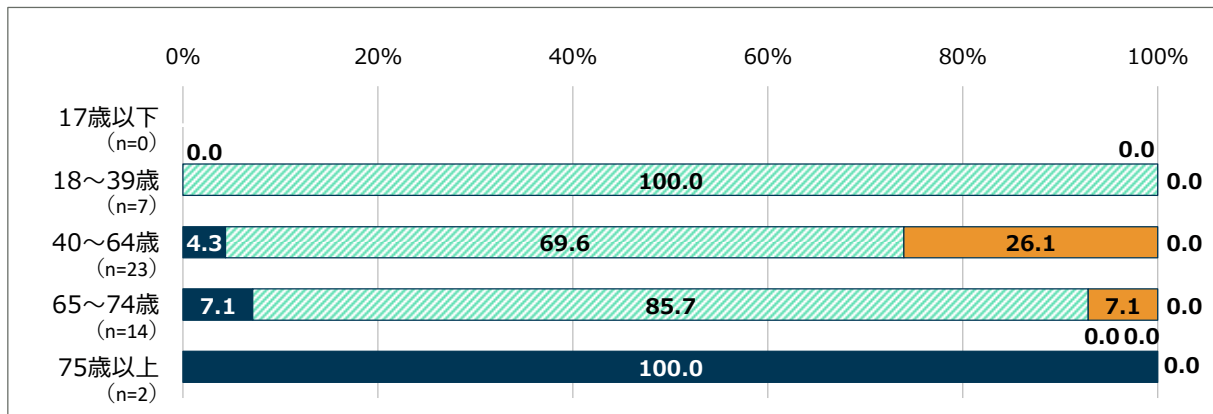
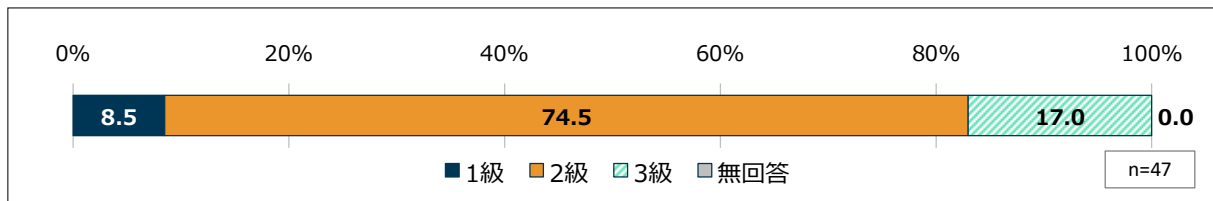
身体障害者手帳



療育手帳



精神障害者保健福祉手帳



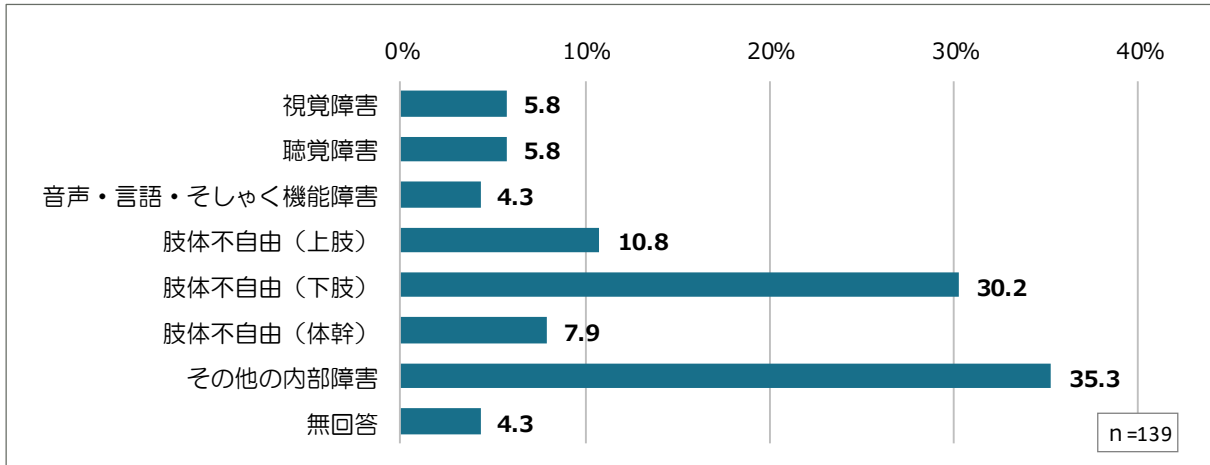
障害者に関する手帳の所持別 障害者に関する手帳の所持

	合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	持っていない	無回答
身体障害者手帳	139 100.0%	139 100.0%	9 6.5%	3 2.2%	0 0.0%	0 0.0%
療育手帳	49 100.0%	9 18.4%	49 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神障害者 保健福祉手帳	47 100.0%	3 6.4%	0 0.0%	47 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
持っていない	43 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	43 100.0%	0 0.0%

問 9 主たる障害

主たる障害をお答えください（複数回答）

「その他の内部障害」が35.3%と最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」が30.2%などとなっています。

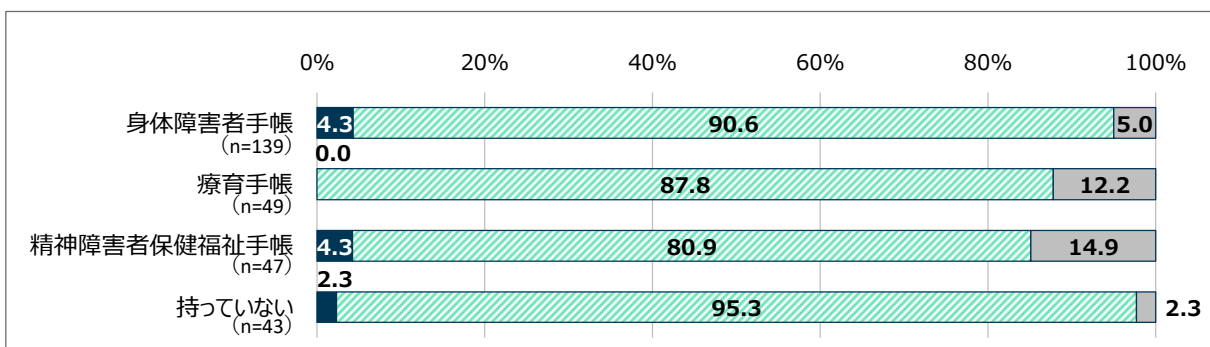
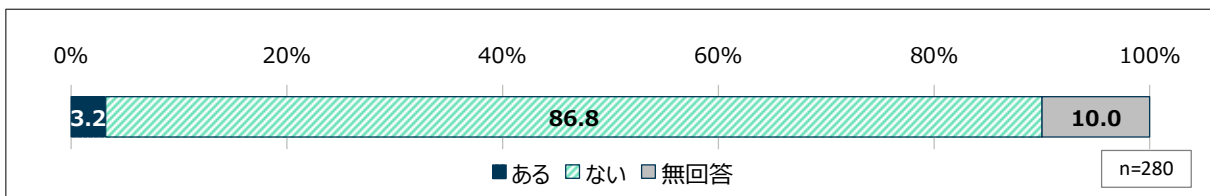


※ 調査票では「〇は1つだけ」となっていますが、複数回答が多かったため、「複数回答」で集計しました。

問 10 指定難病受給者証

指定難病受給者証を持っていますか

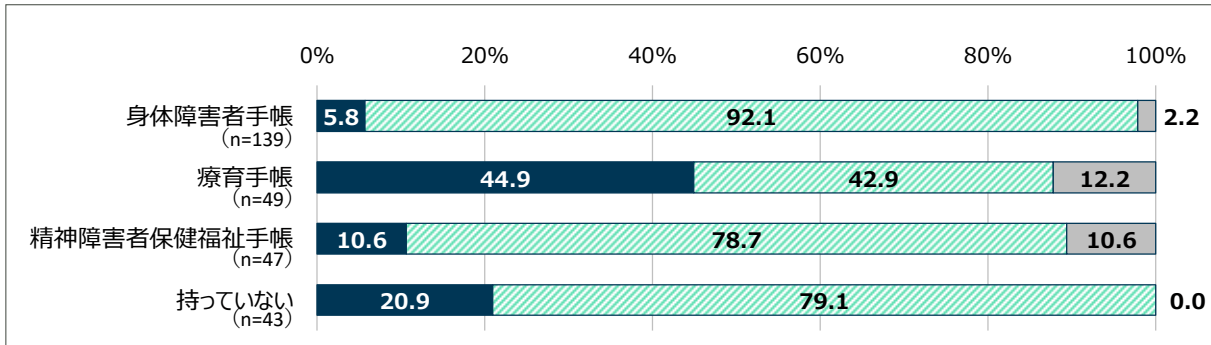
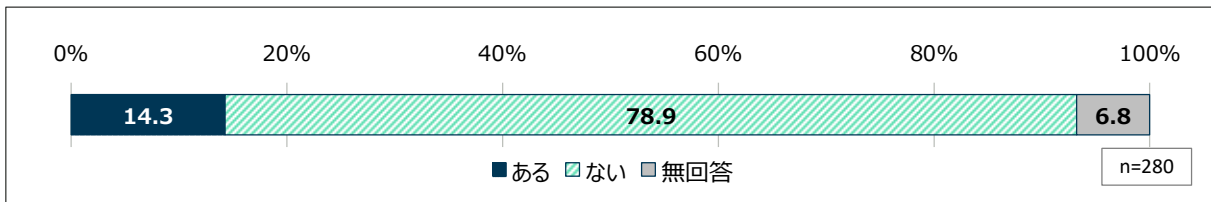
「ある」が3.2%、「ない」が86.8%となっています。



問 11 発達障害

発達障害と診断されたことがありますか

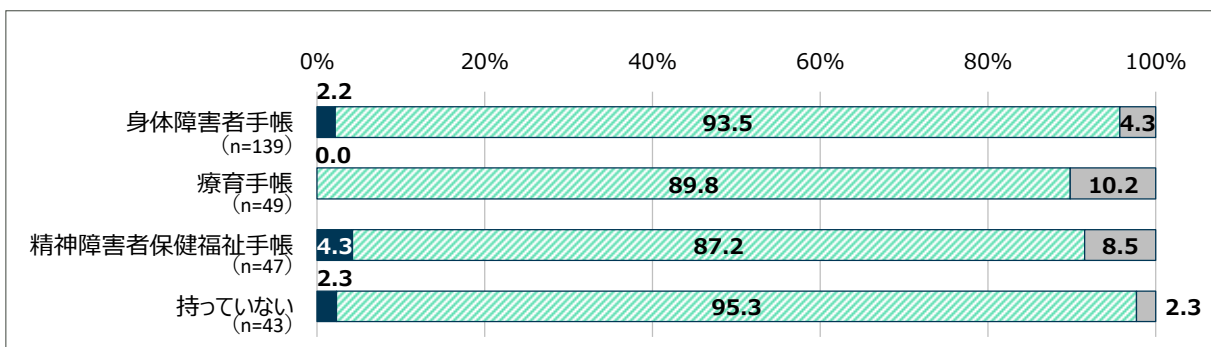
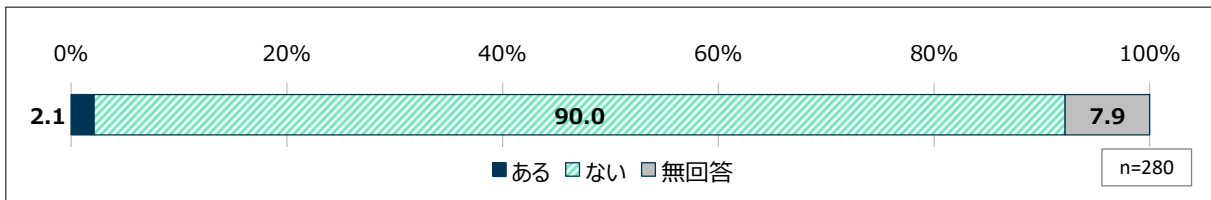
「ある」が14.3%、「ない」が78.9%となっています。



問 12 高次脳機能障害

高次脳機能障害と診断されたことがありますか

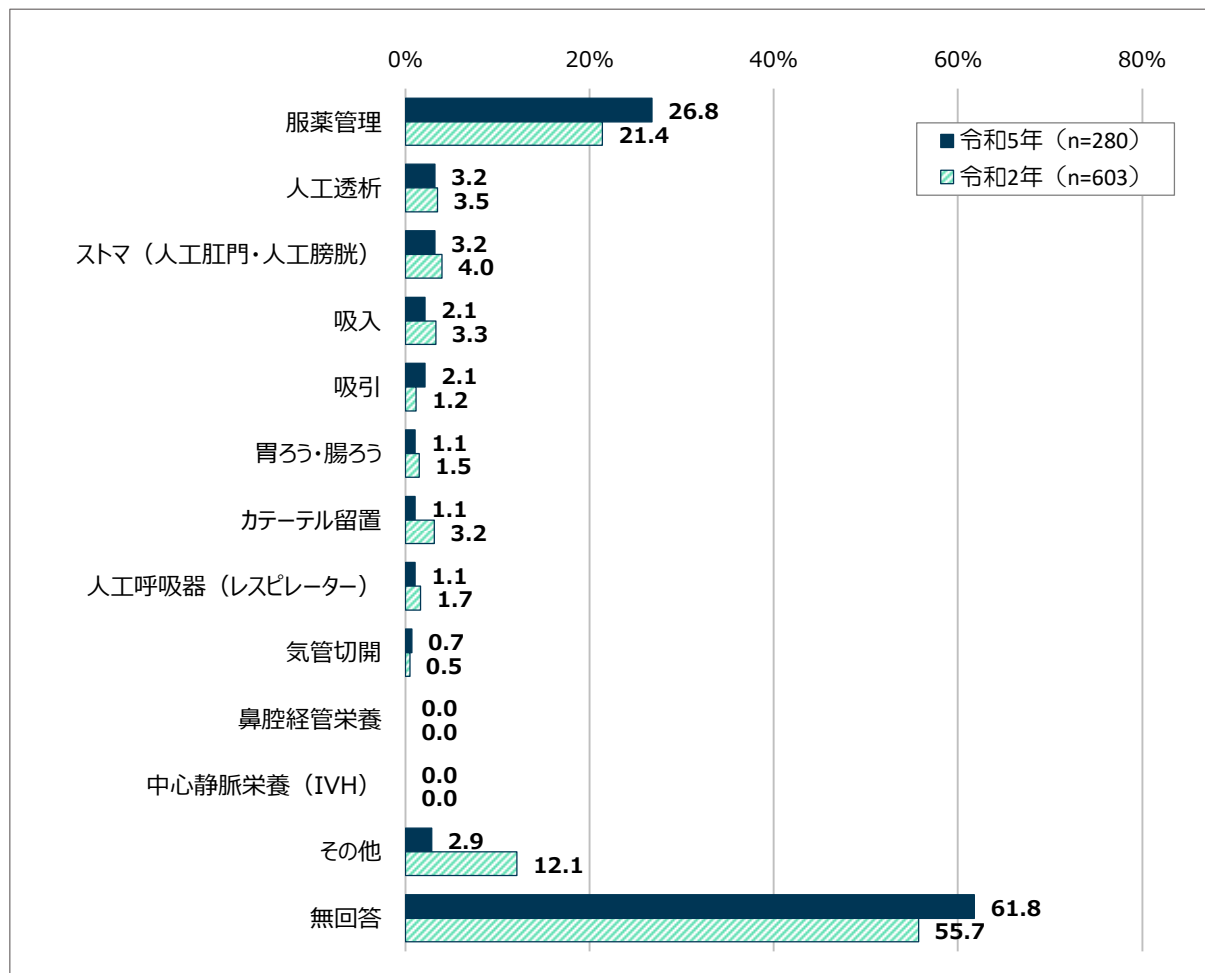
「ある」が2.1%、「ない」が90.0%となっています。



問 13 医療ケア

現在受けている医療ケアをご回答ください（複数回答）

「服薬管理」が26.8%と最も高くなっています。「無回答」が多くなっていますが、医療ケアを受けていない方が含まれていると考えられます。

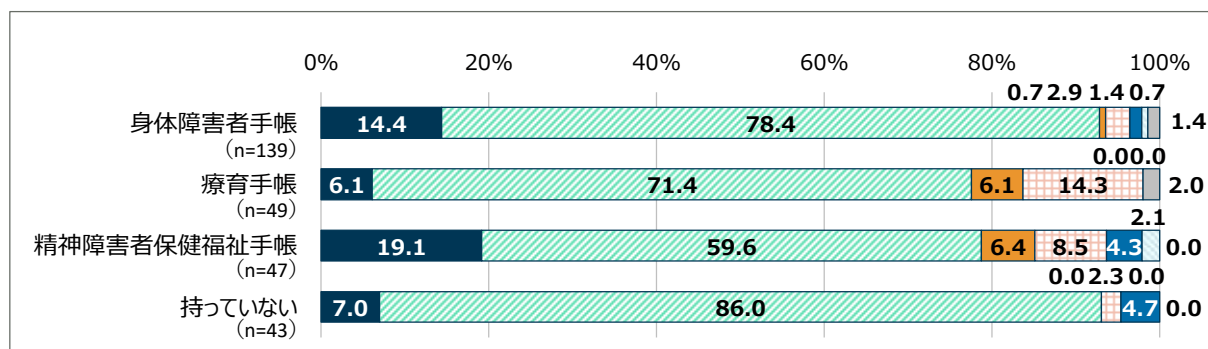
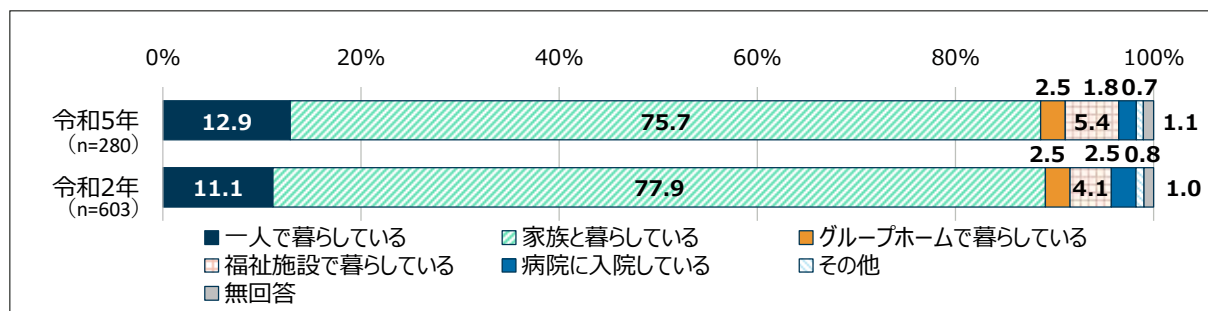


■住まいや暮らしについて

問 14 現在の暮らし

現在どのように暮らしていますか

「家族と暮らしている」が75.7%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が12.9%となっています。

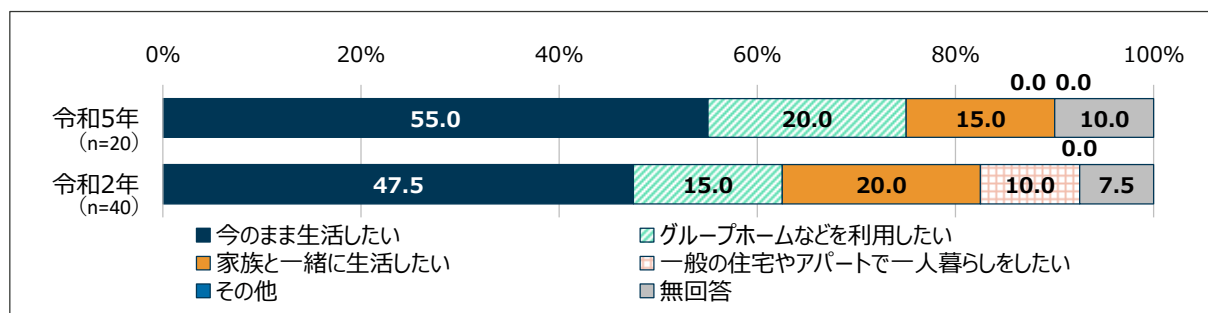


問 14 で「福祉施設」または「病院に入院」と回答した方のみ

問 15 将来の暮らし

将来、地域（施設や病院の外）で生活したいと思いますか

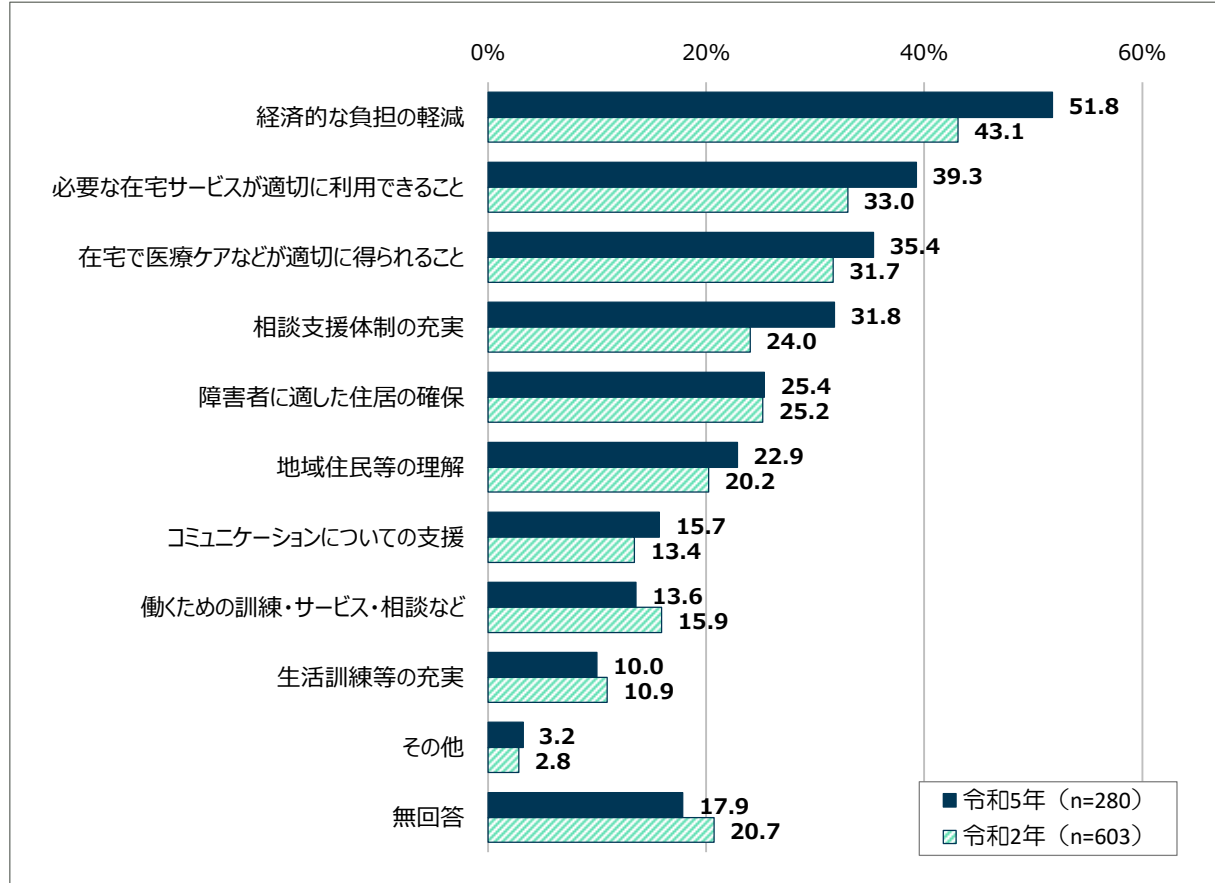
「今のまま生活したい」が55.0%と最も高く、次いで「グループホームなどを利用したい」が20.0%、「家族と一緒に生活したい」が15.0%などとなっています。



問 16 地域生活のための支援

地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか（複数回答）

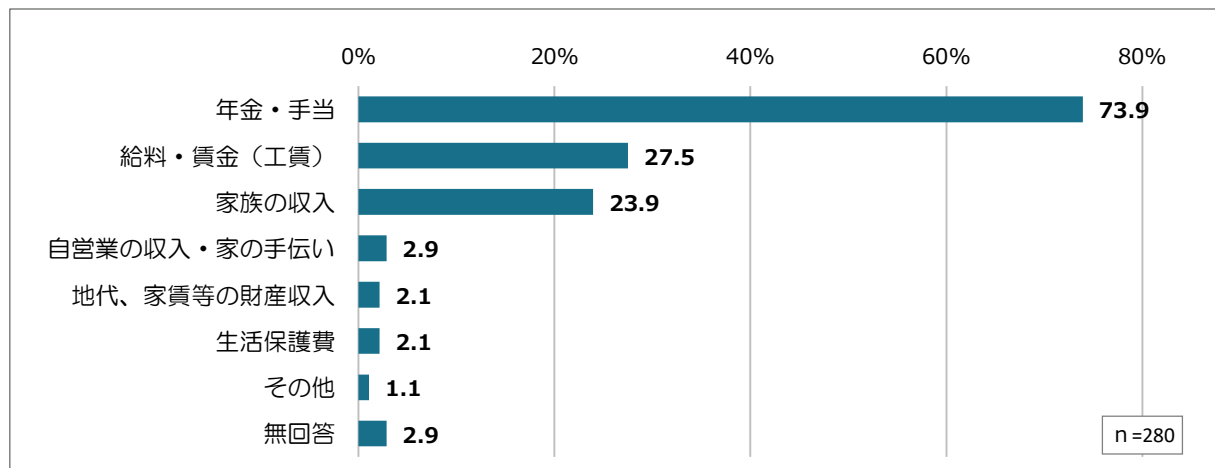
「経済的な負担の軽減」が51.8%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が39.3%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が35.4%などとなっています。



問 17 主な収入

あなたの主な収入について教えてください（複数回答）

「年金・手当」が73.9%と最も高く、次いで「給料・賃金（工賃）」が27.5%、「家族の収入」が23.9%などとなっています。

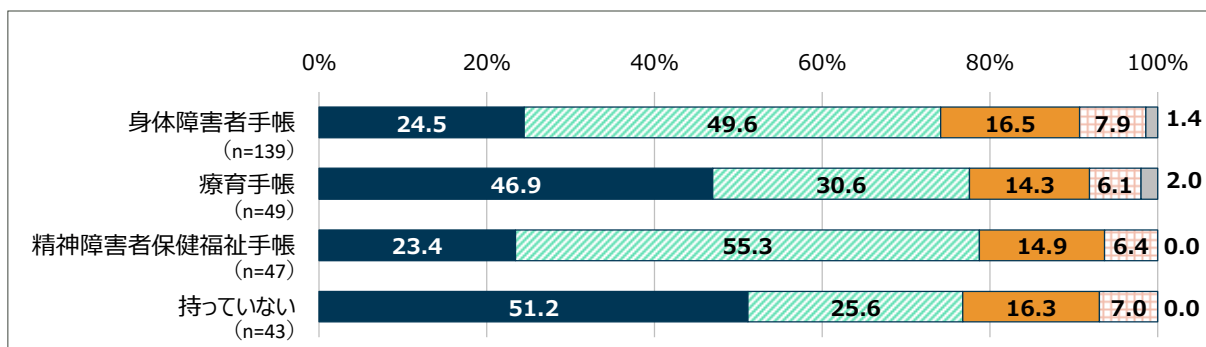
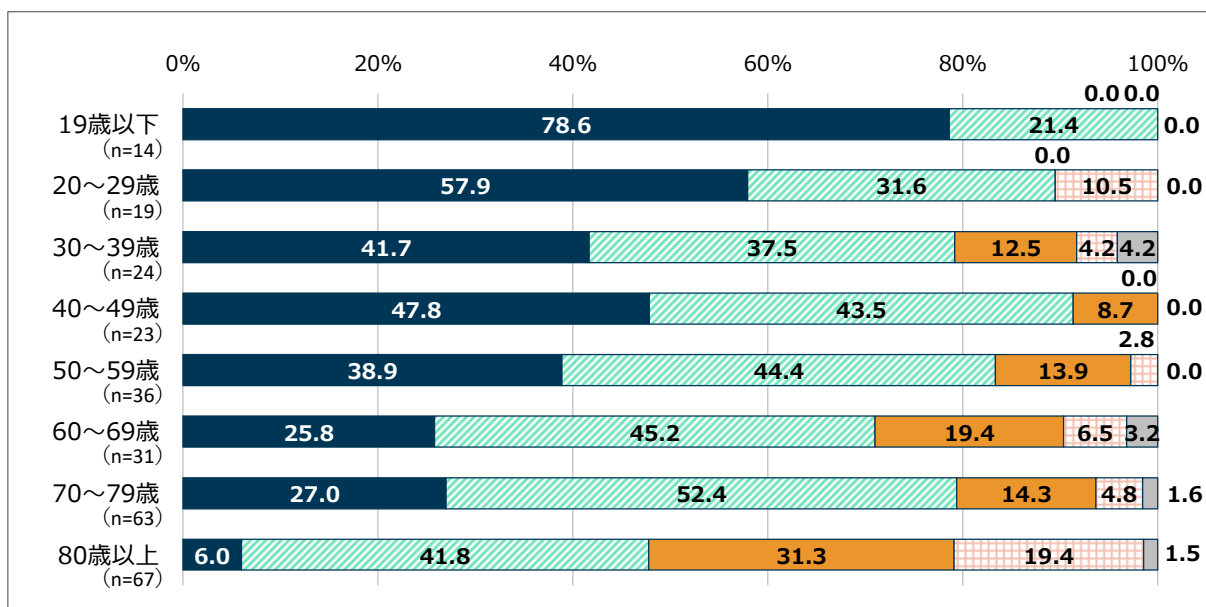
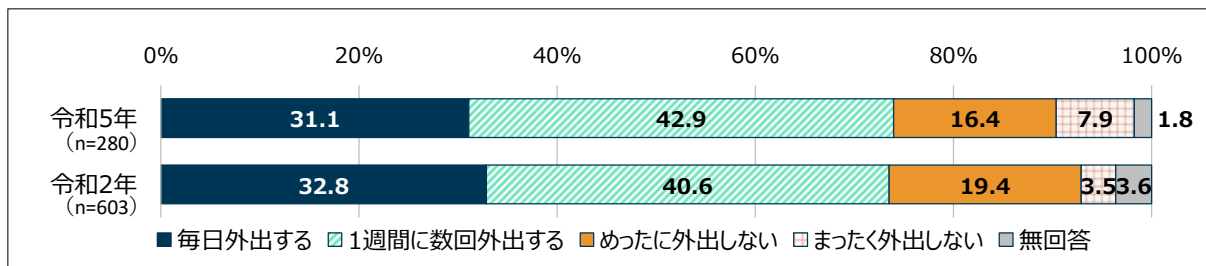


■ 日中活動や就労について

問 18 外出の頻度

1 週間にどの程度外出しますか

「毎日外出する」が31.1%、「1週間に数回外出する」が42.9%となっています。一方で「めったに外出しない」と「まったく外出しない」を合わせると24.3%となっています。

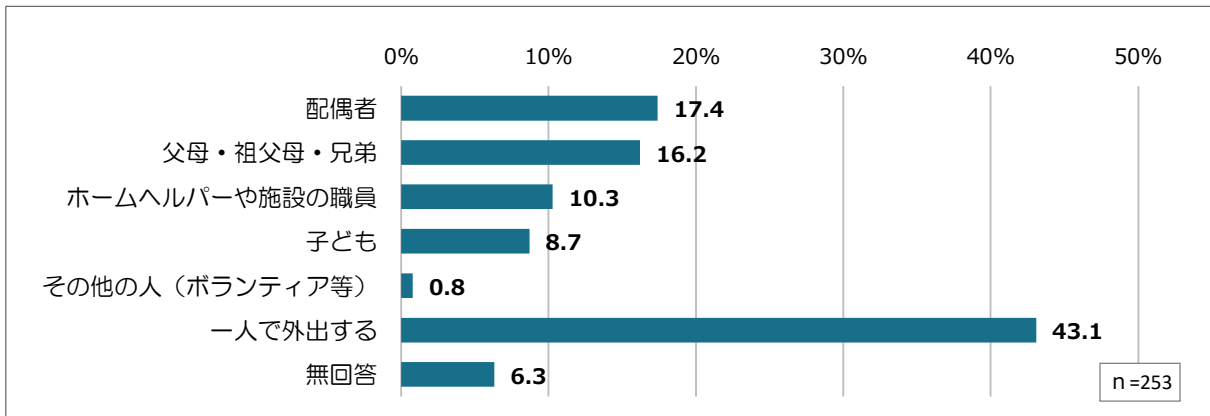


問 18 で「まったく外出しない」以外を選択した方のみ

問 19 外出時の同伴者

外出する時の主な同伴者は誰ですか（複数回答）

主な同伴者は「配偶者」が 17.4%、「父母・祖父母・兄弟」が 16.2%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 10.3%などとなっていますが、「一人で外出する」が 43.1%と最も高くなっています。

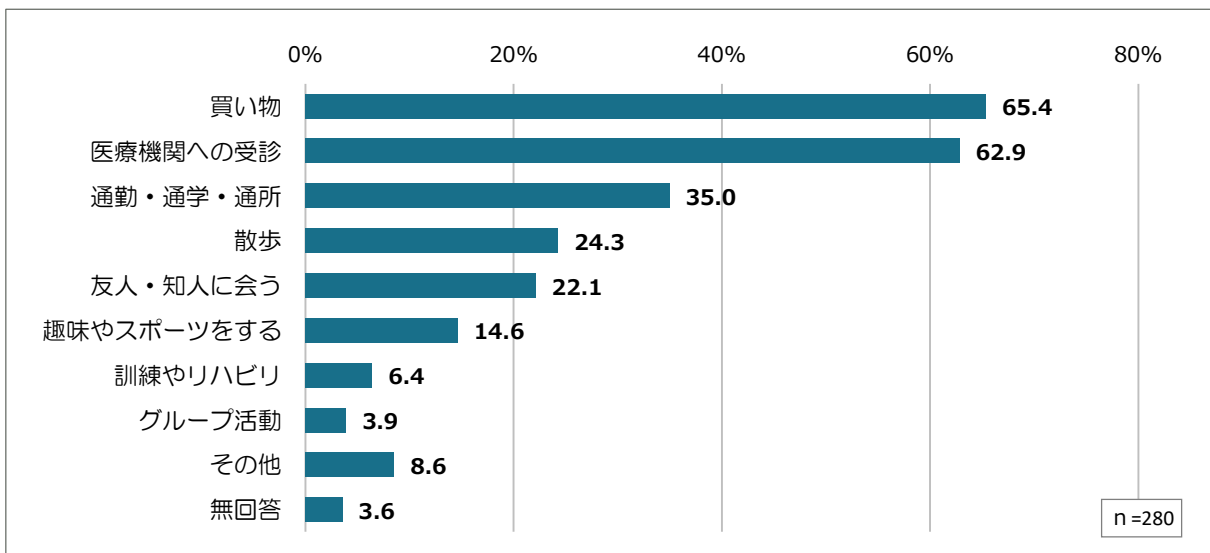


※ 調査票では「〇は1つだけ」となっていますが、複数回答が多かったため、「複数回答」で集計しました。

問 20 外出の目的

どのような目的で外出することが多いですか（複数回答）

「買い物」が 65.4%、「医療機関への受診」が 62.9%などとなっています。

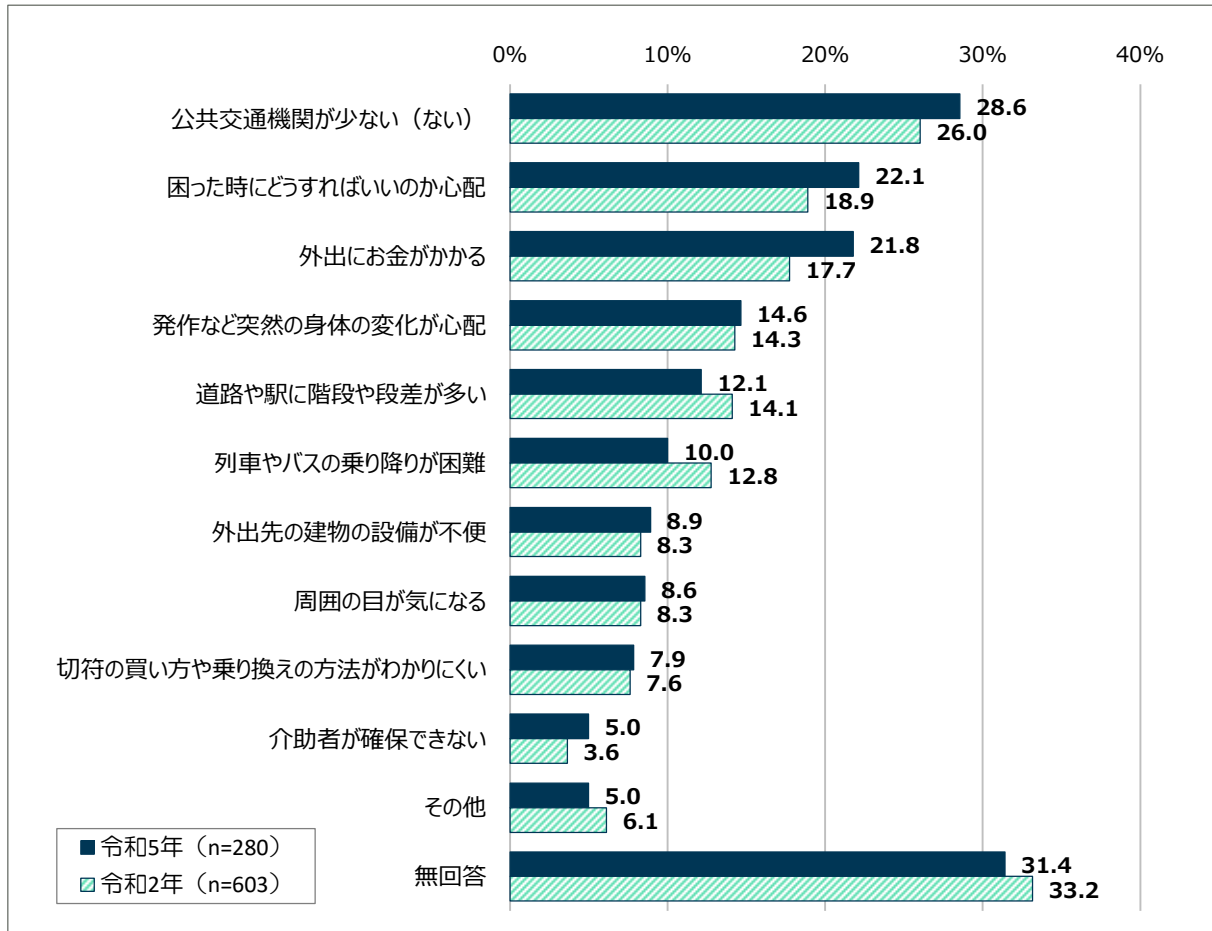


※ その他は、農作業、外食などとなっています。

問 21 外出時に困ること

外出する時に困ることは何ですか（複数回答）

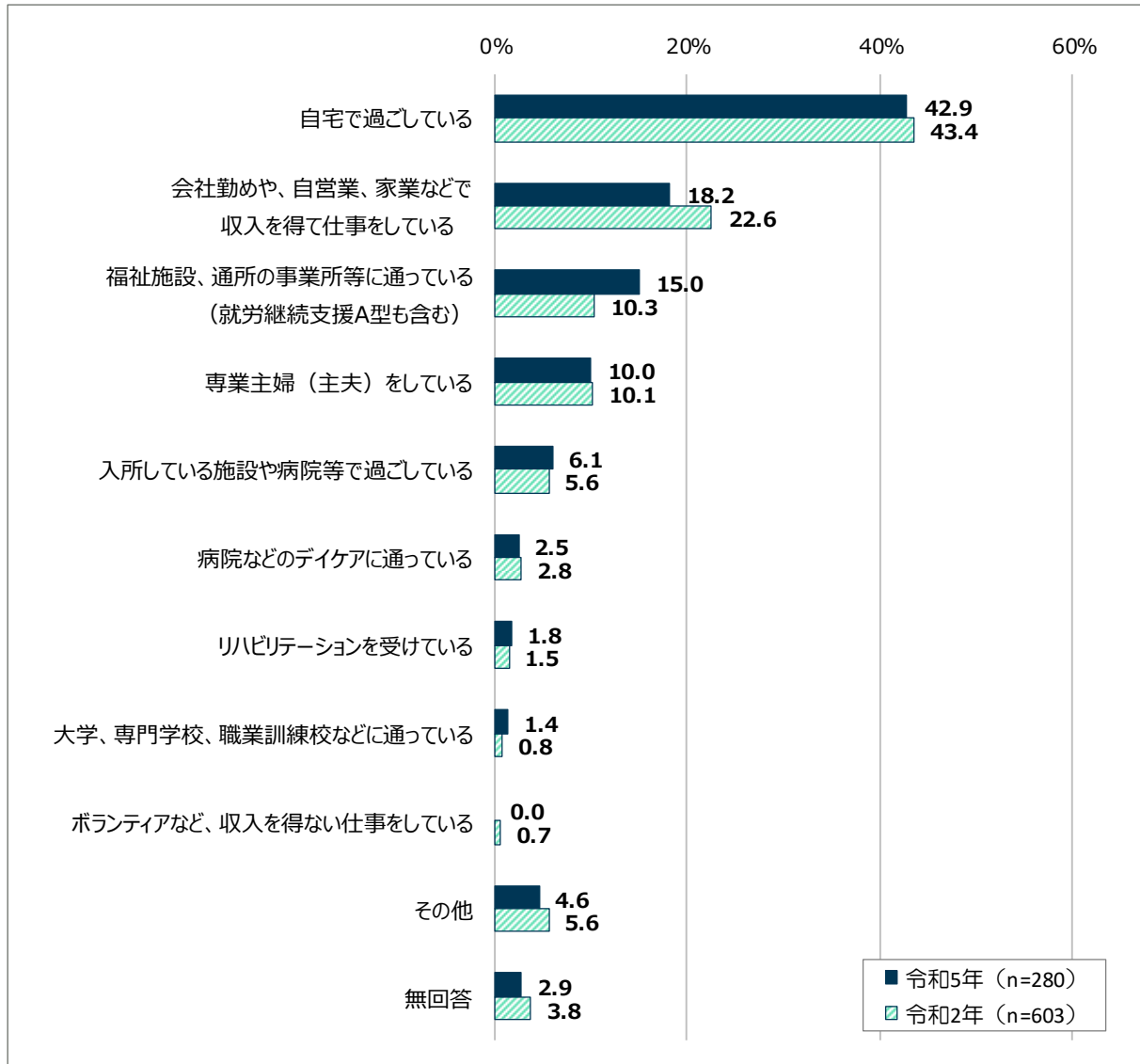
「公共交通機関が少ない（ない）」が28.6%と最も高く、次いで「困った時にどうすればいいの心配」が22.1%、「外出にお金がかかる」が21.8%などとなっています。



問 22 日中の過ごし方

平日の日中をどのように過ごしていますか（複数回答）

「自宅で過ごしている」が42.9%と最も高く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が18.2%、「福祉施設、通所の事業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」が15.0%などとなっています。



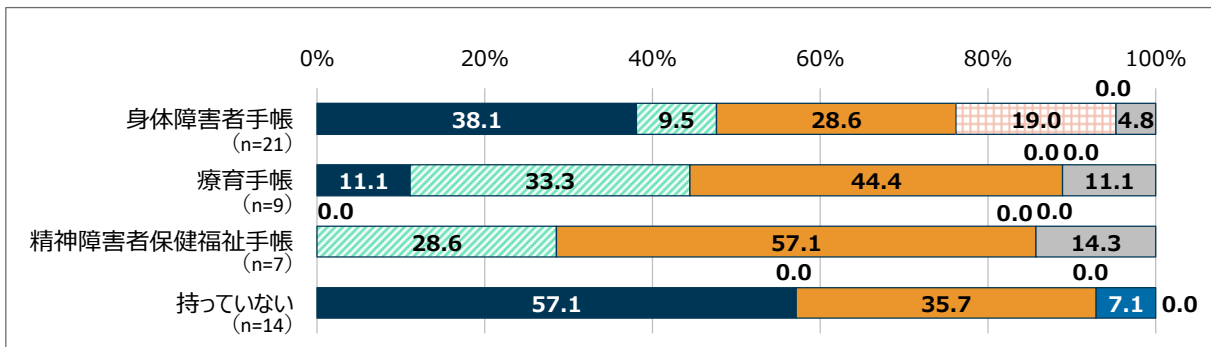
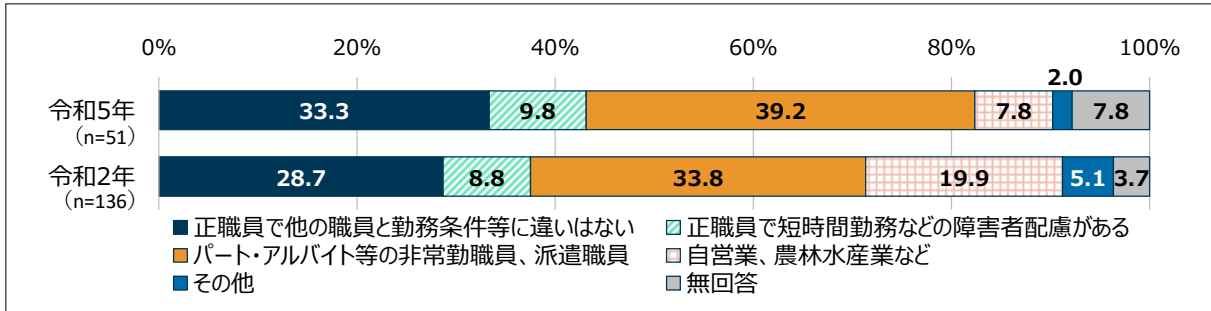
※ 調査票では「〇は1つだけ」となっていますが、複数回答が多かったため、「複数回答」で集計しました。

問 22 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」を選択した方のみ

問 23 勤務形態

どのような勤務形態で働いていますか

「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 39.2%と最も高く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 33.3%などとなっています。

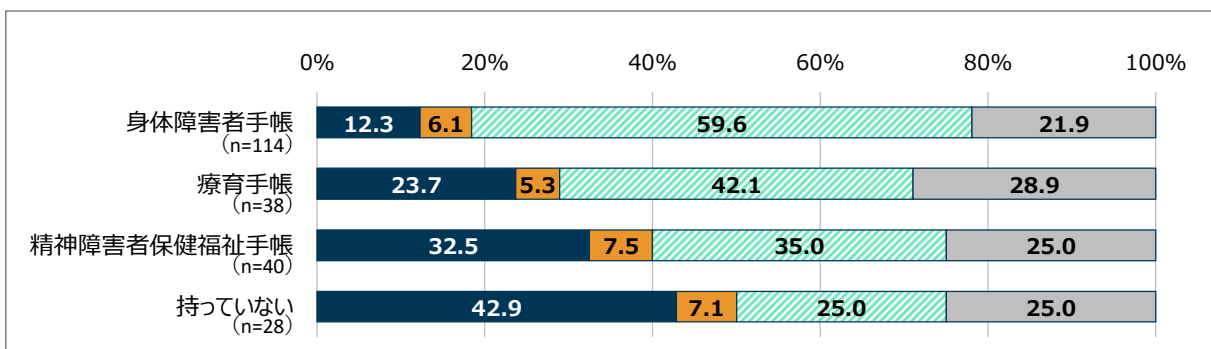
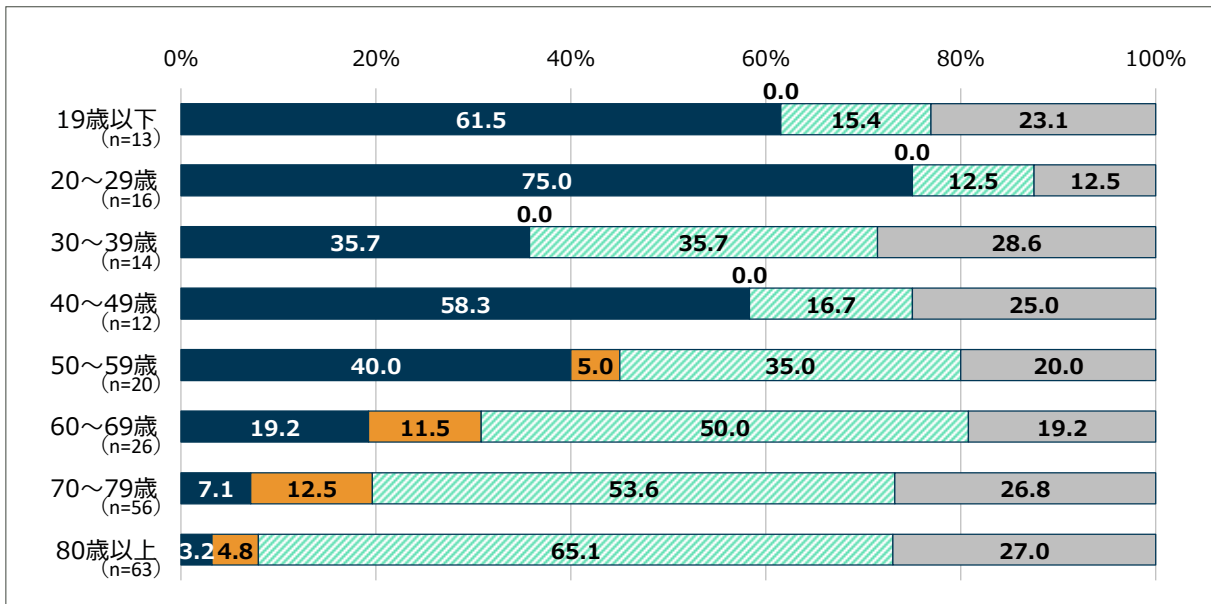
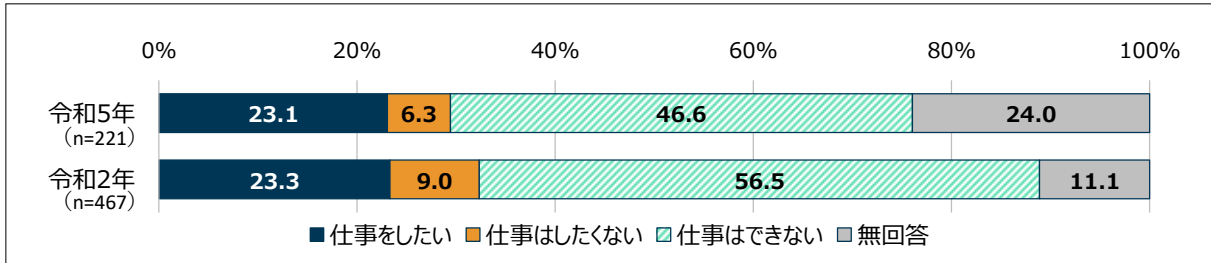


問 22 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外を選択した方のみ

問 24 就労希望

今後、収入を得る仕事をしたいと思えますか

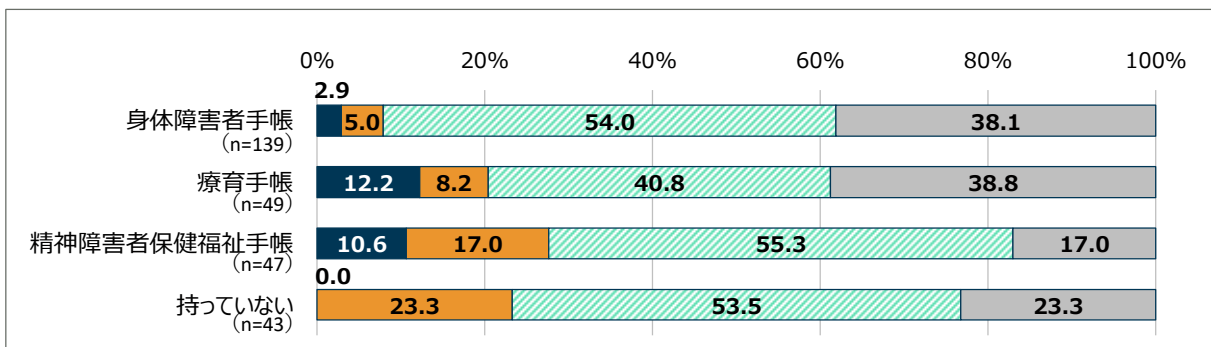
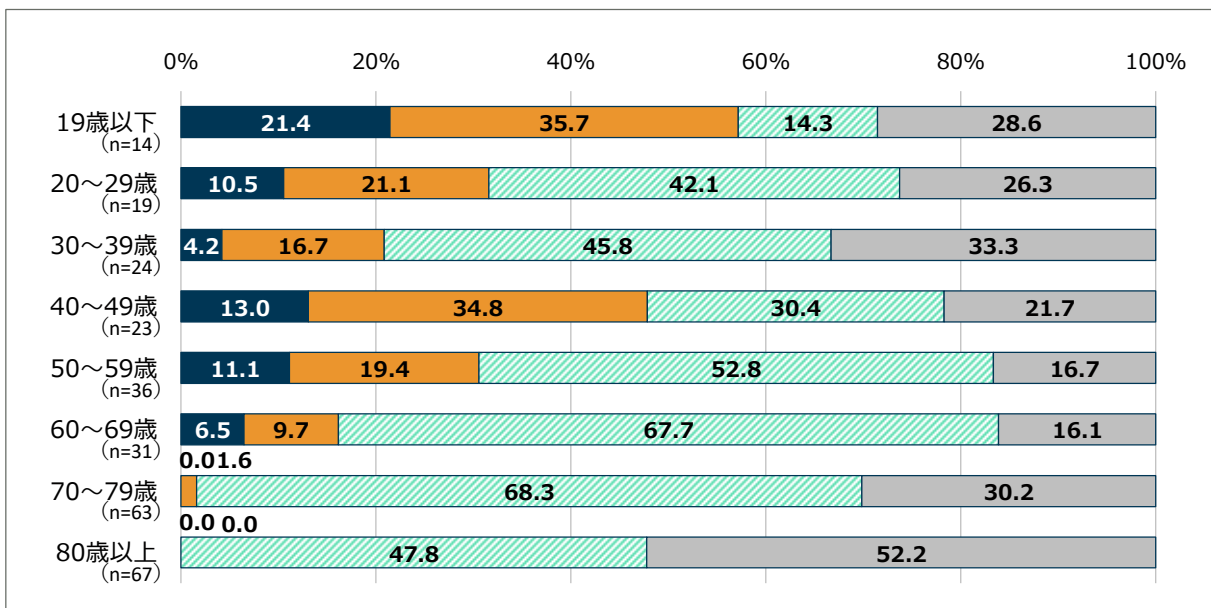
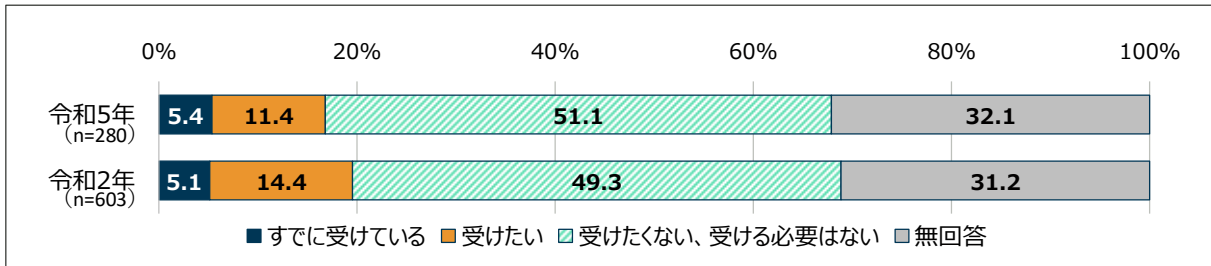
「仕事をしたい」は 23.1%、「仕事はしたくない」は 6.3%で、「仕事はできない」が 46.6%となっています。



問 25 職業訓練

収入を得る仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いますか

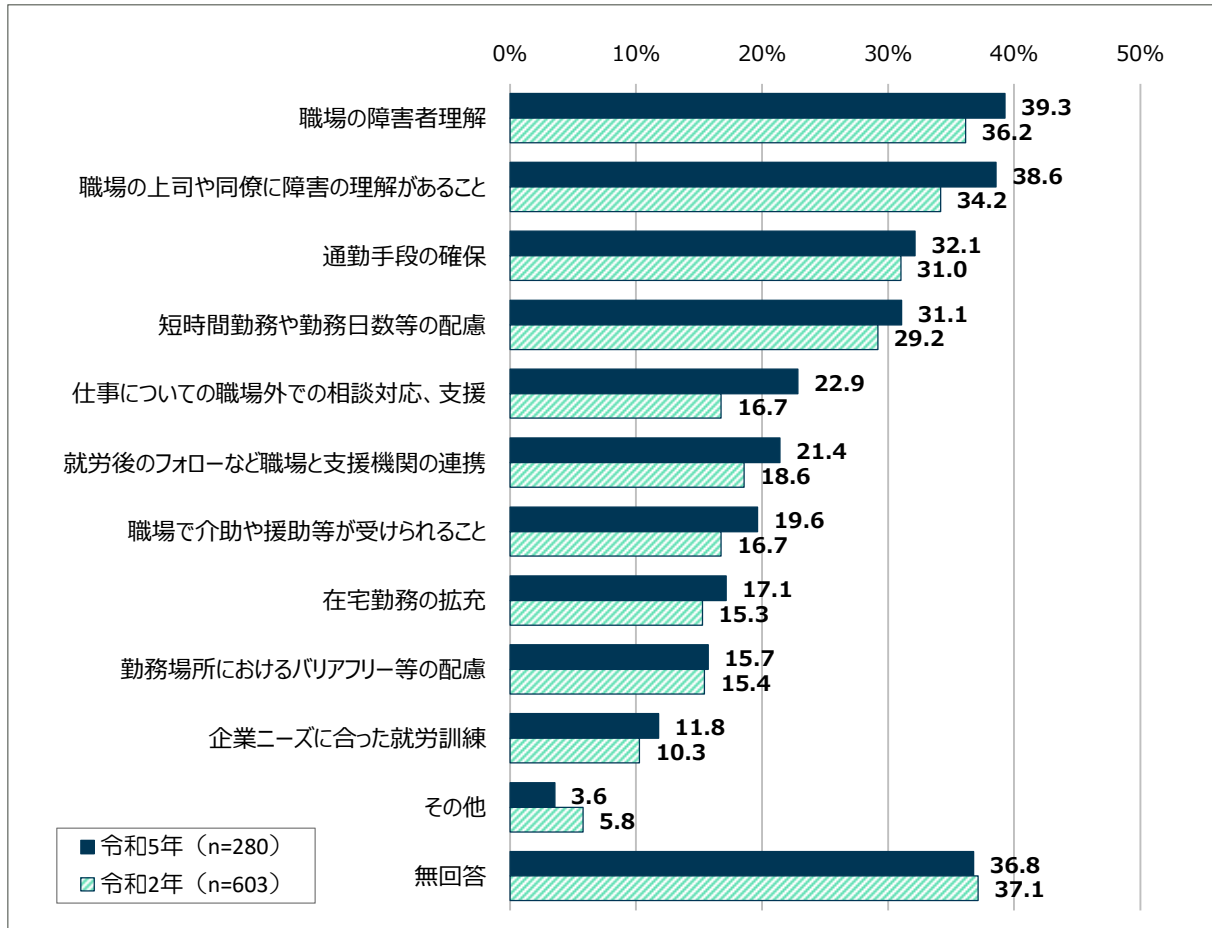
「すでに受けている」は5.4%、「受けたい」は11.4%で、「受けたくない、受ける必要はない」が51.1%となっています。



問 26 就労支援について

障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか（複数回答）

「職場の障害者理解」が39.3%と最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が38.6%、「通勤手段の確保」が32.1%、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が31.1%などとなっています。

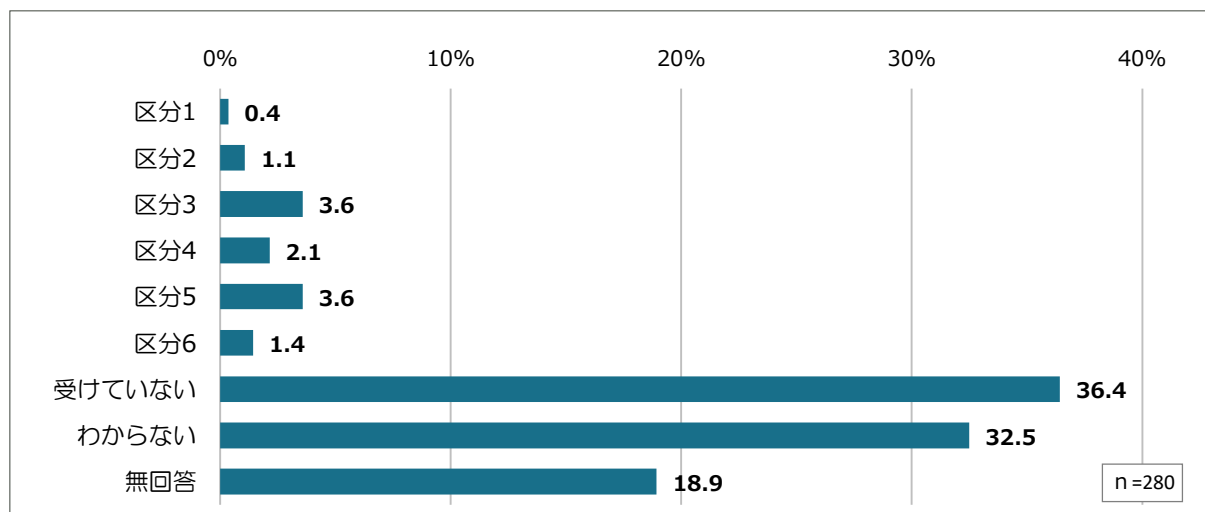


■ 障害福祉サービス等の利用について

問 27 障害支援区分

障害支援区分の認定を受けていますか

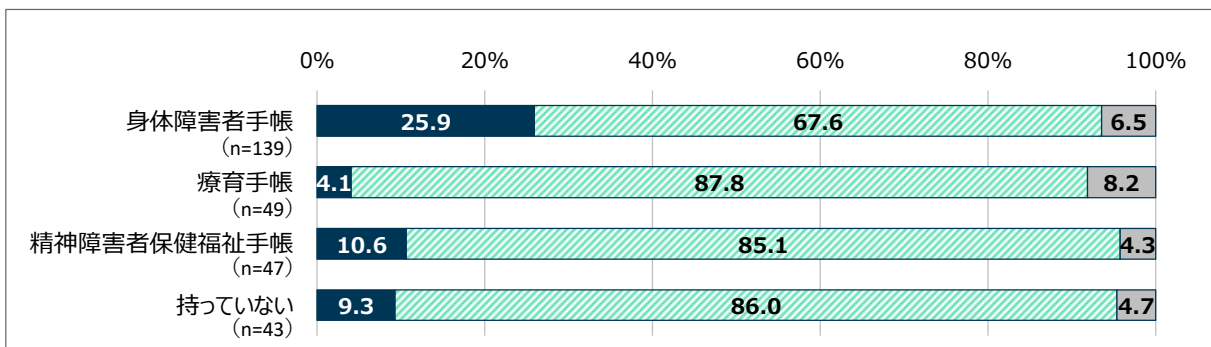
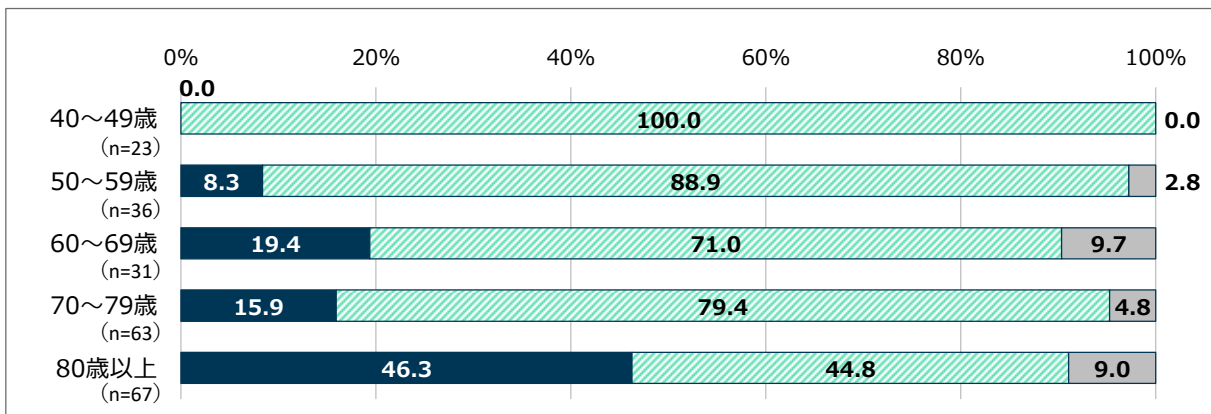
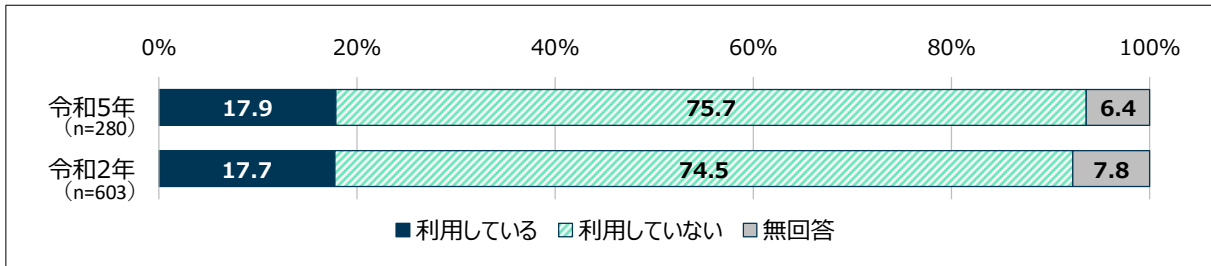
支援「区分3」と「区分5」が3.6%となっています。一方で「受けていない」が36.4%、「わからない」が32.5%などとなっています。



問 28 介護保険サービスの利用

介護保険によるサービスを利用していますか

「利用している」が17.9%、「利用していない」が75.7%となっています。

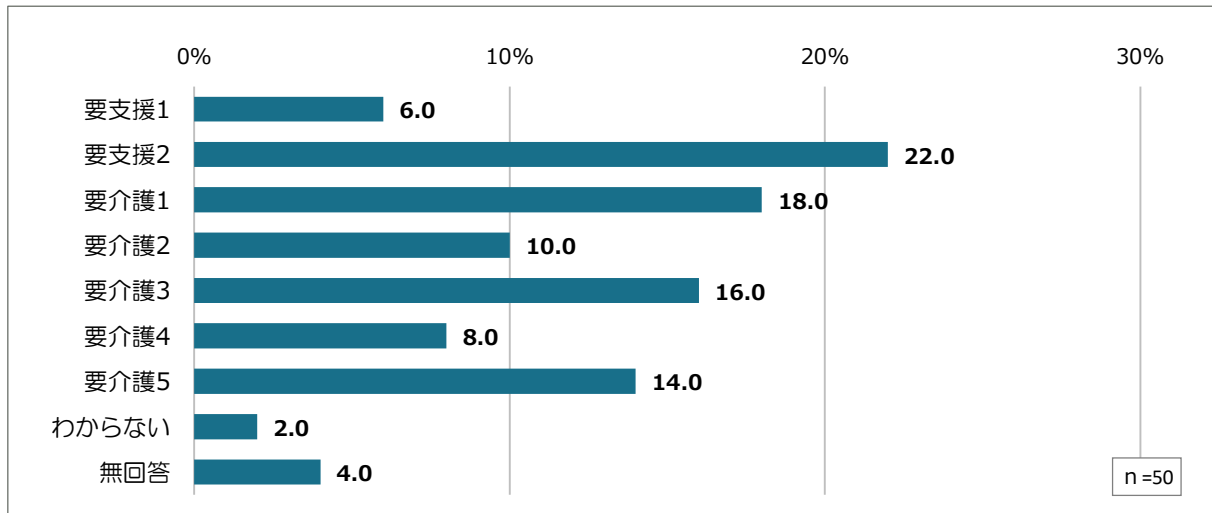


問 28 で「利用している」と回答した方のみ

問 29 要介護度

該当する要介護度はどれですか

「要支援 2」が 22.0%、「要介護 1」が 18.0%などとなっています。



問 30 サービスの利用状況と利用意向

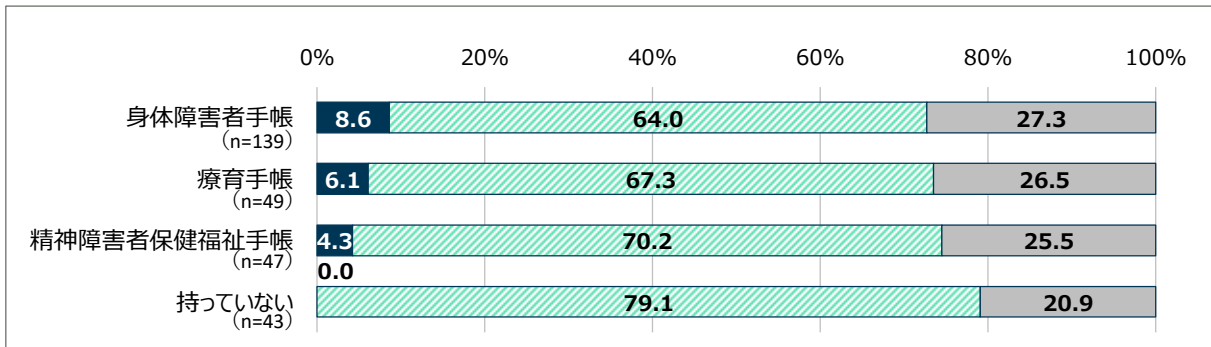
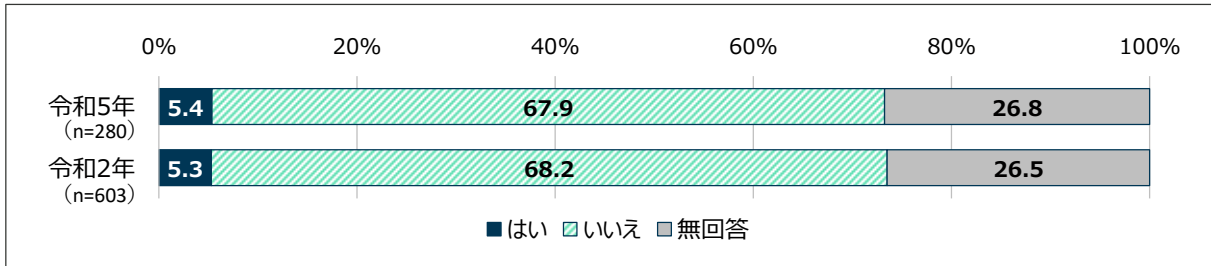
次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか

● 障害福祉サービス

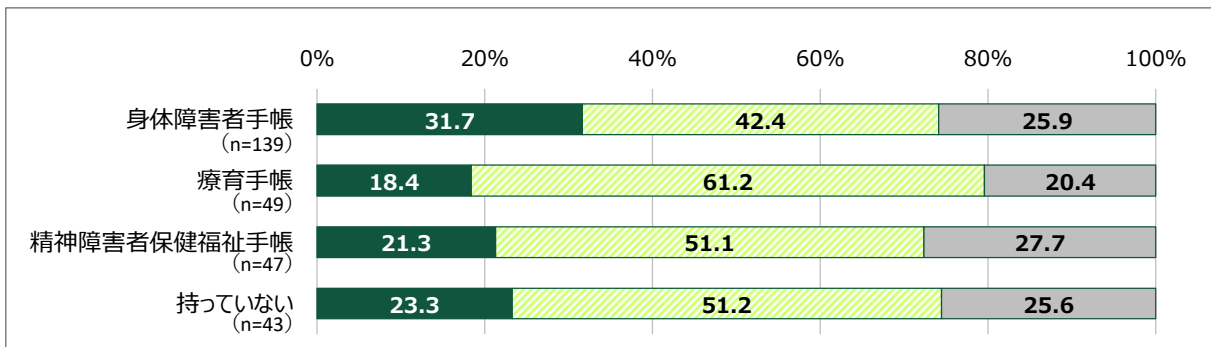
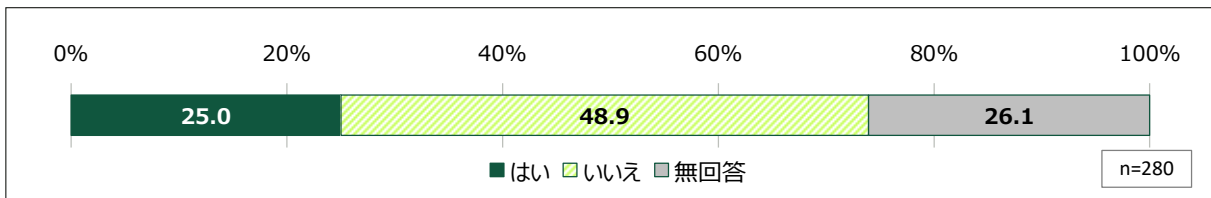
① 居宅介護（ホームヘルパー）

自宅で入浴や排泄、食事などの介助を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



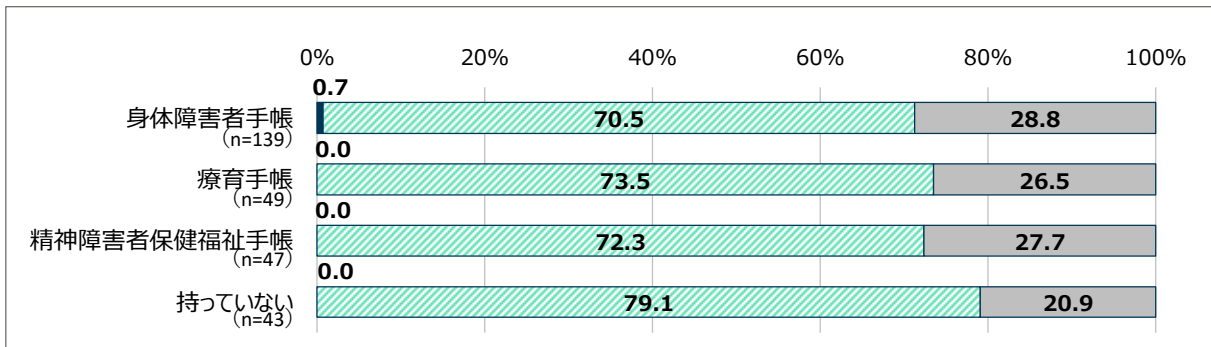
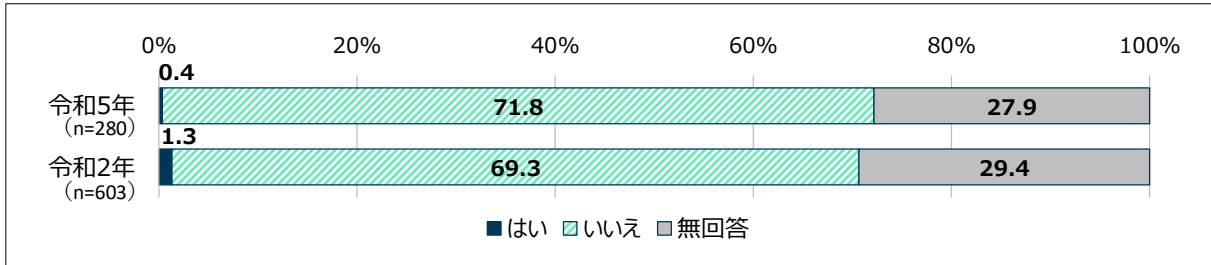
■ 今後利用したいか



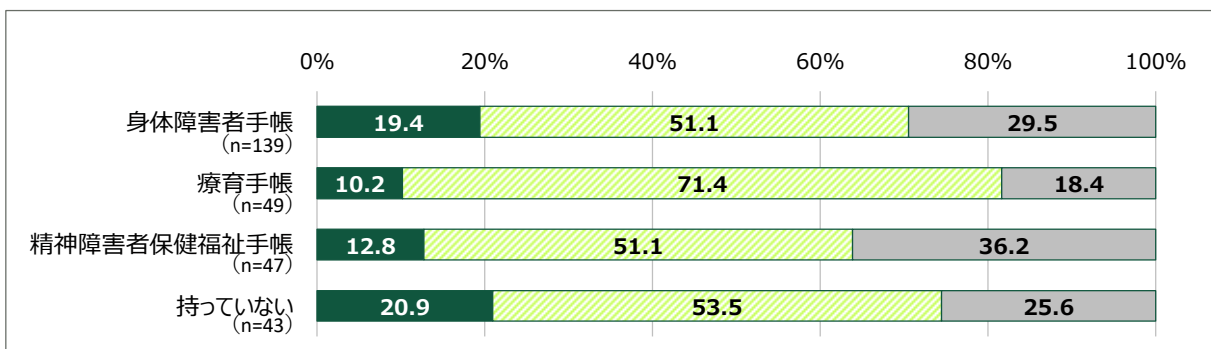
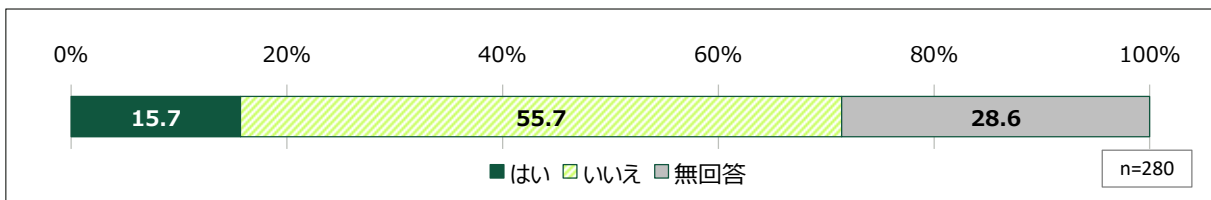
② 重度訪問介護

重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排泄、食事等の介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。

■現在利用しているか



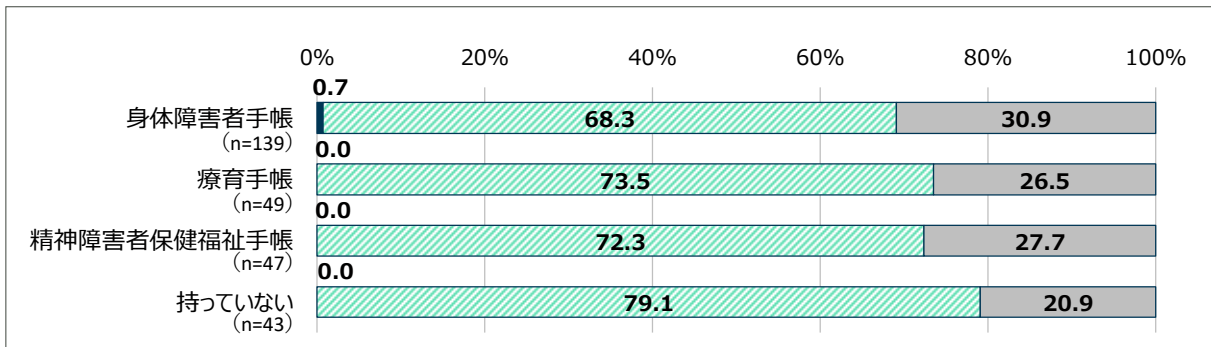
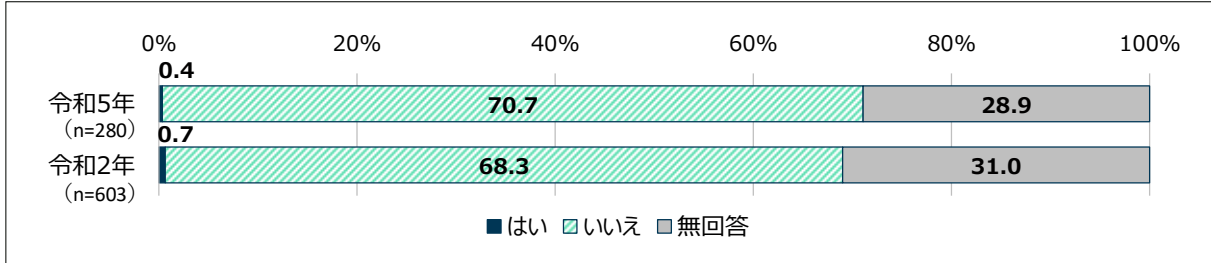
■今後利用したいか



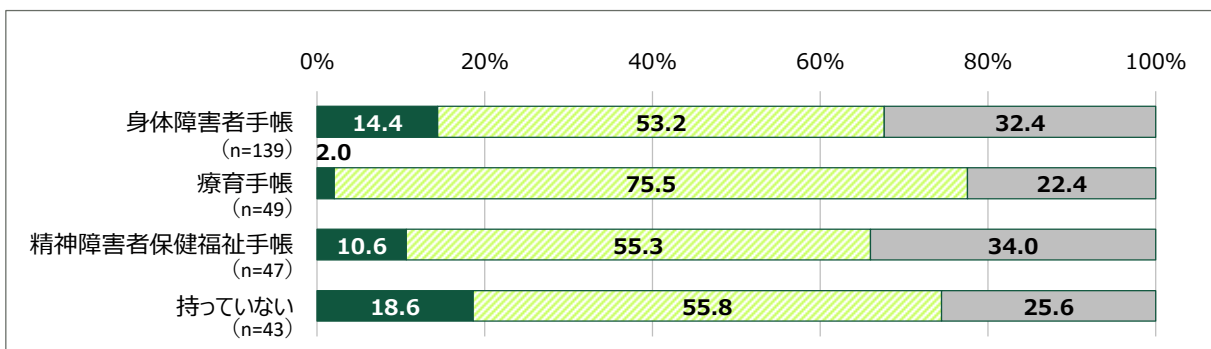
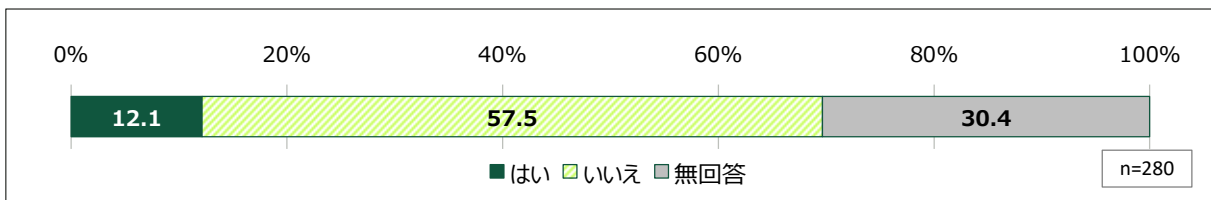
③ 同行援護

視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。

■現在利用しているか



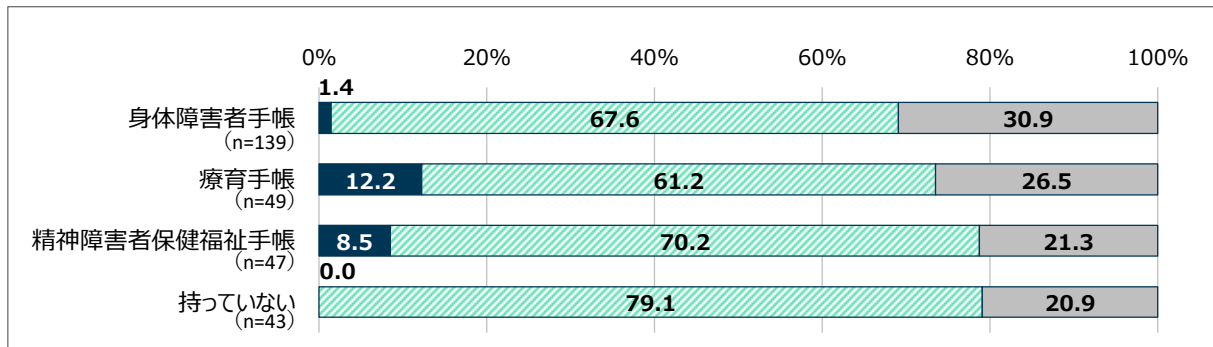
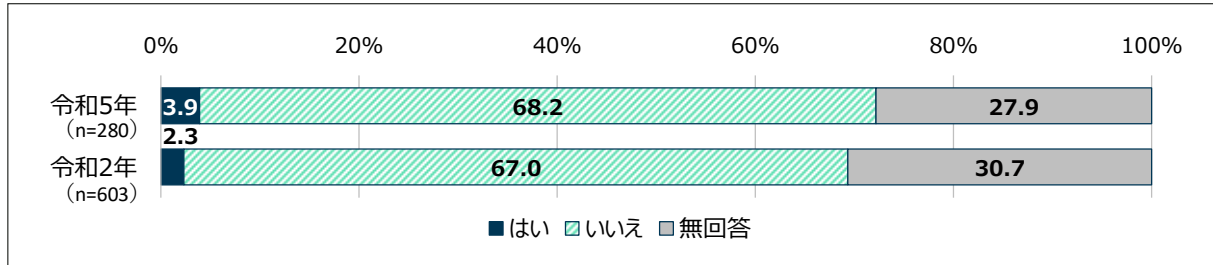
■今後利用したいか



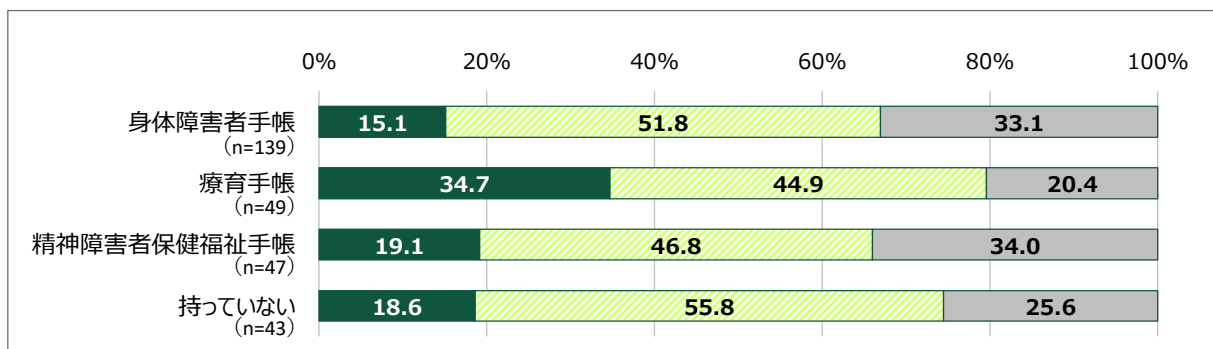
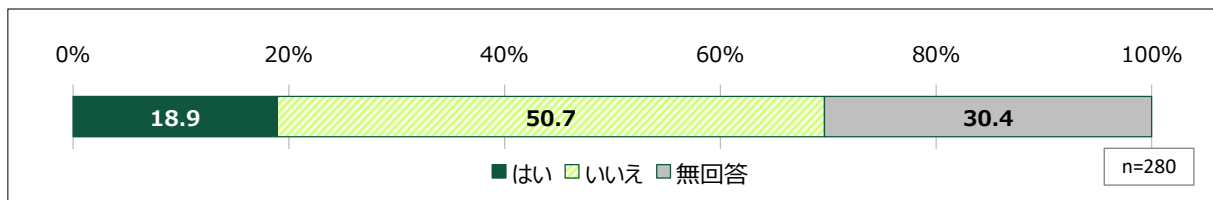
④ 行動援護

知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するときに必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。

■現在利用しているか



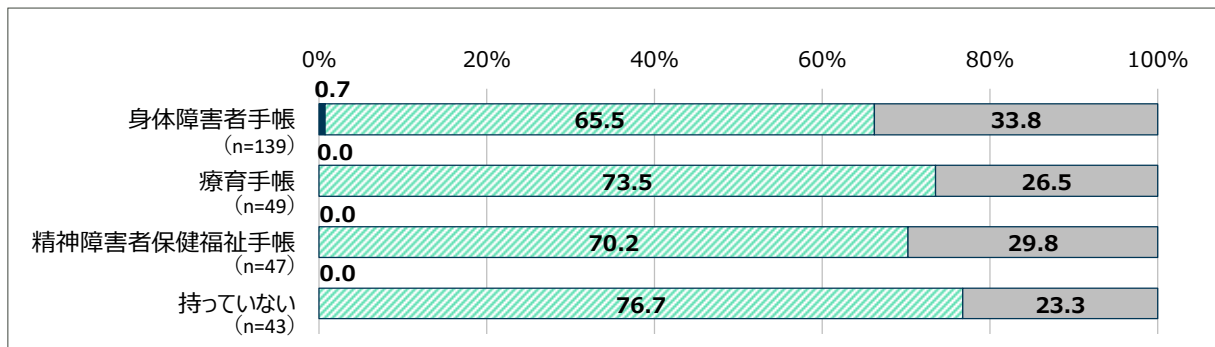
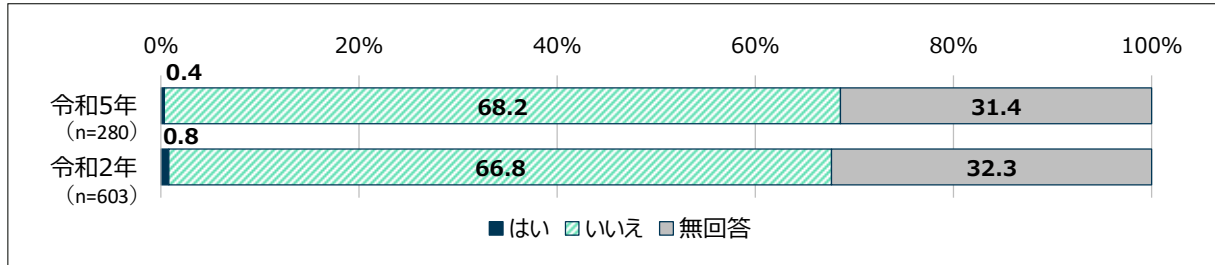
■今後利用したいか



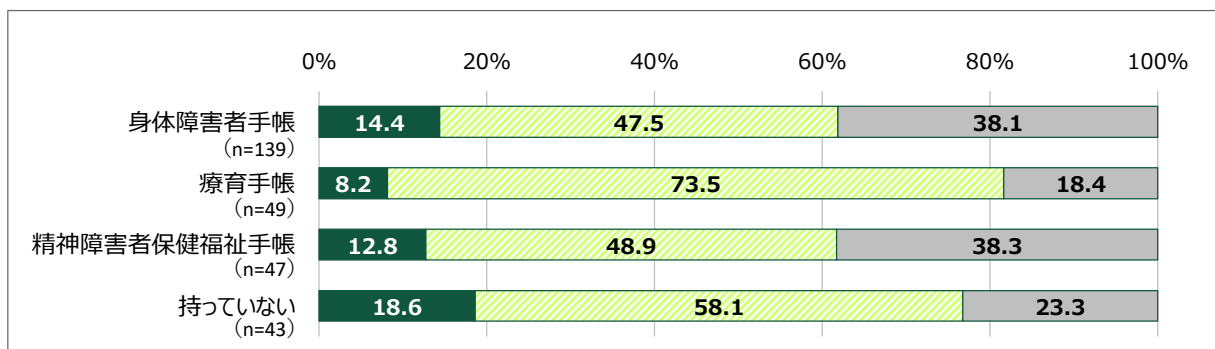
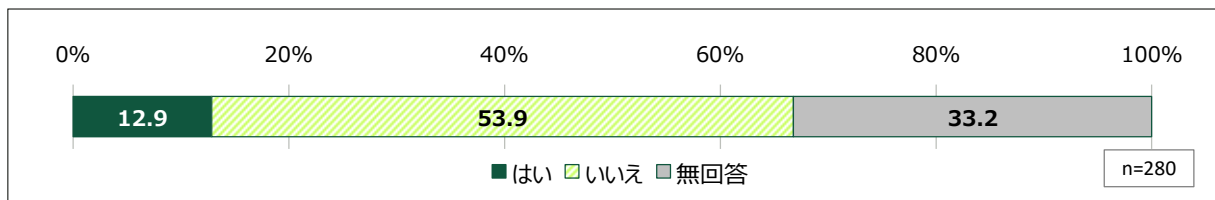
⑤ 重度障害者等包括支援

常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。

■現在利用しているか



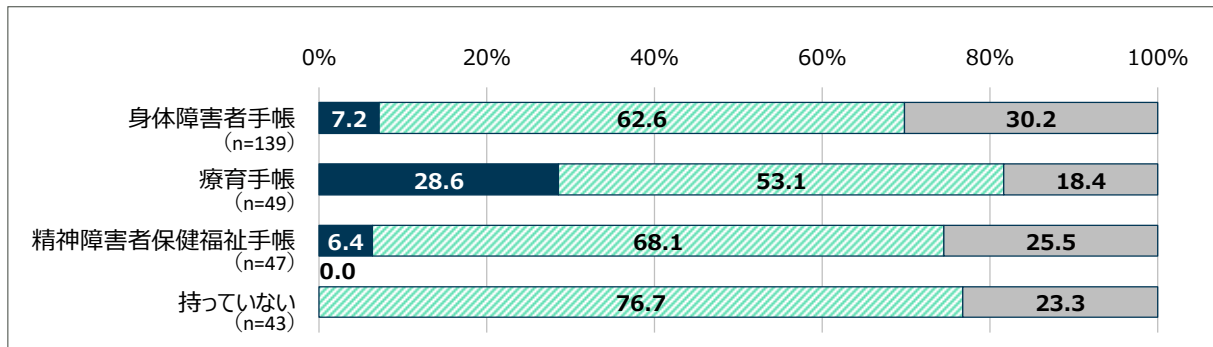
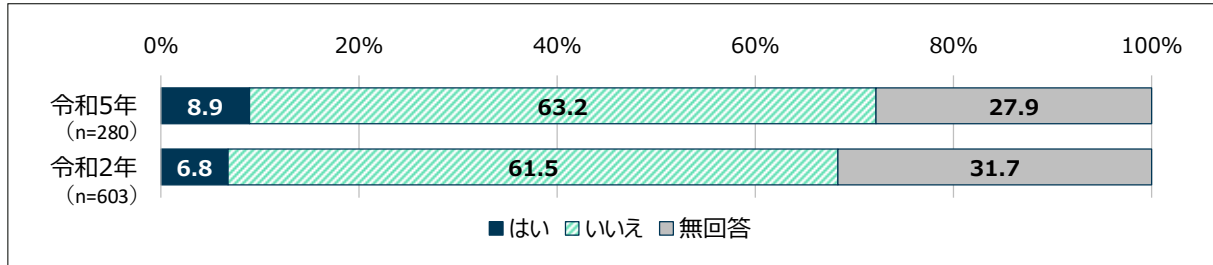
■今後利用したいか



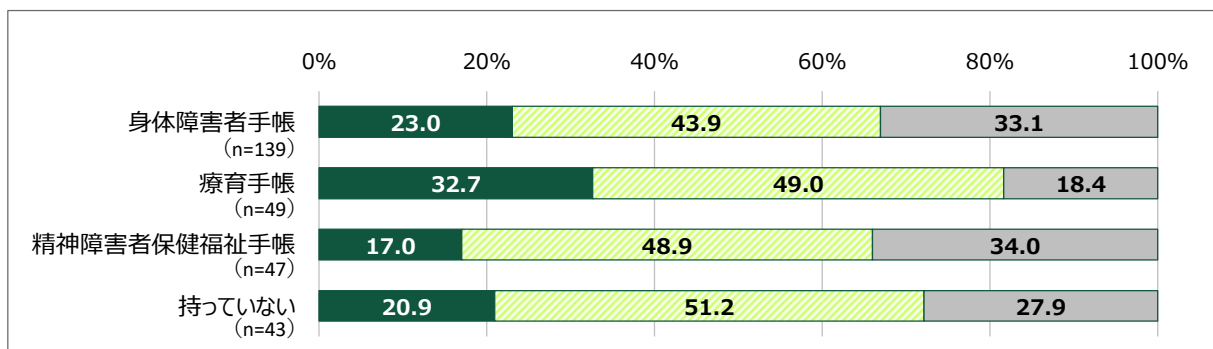
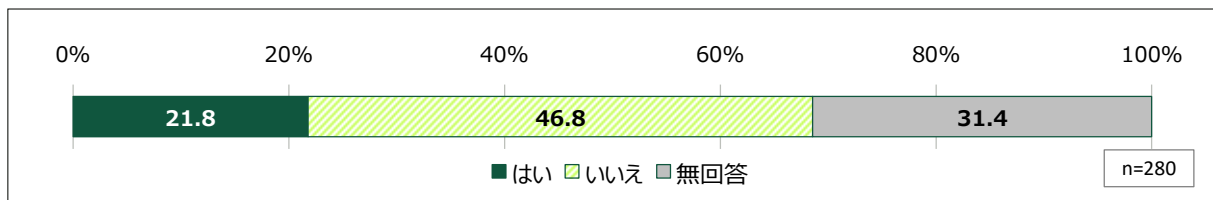
⑥ 生活介護

常に介護が必要な方に、施設で入浴や排泄、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。

■現在利用しているか



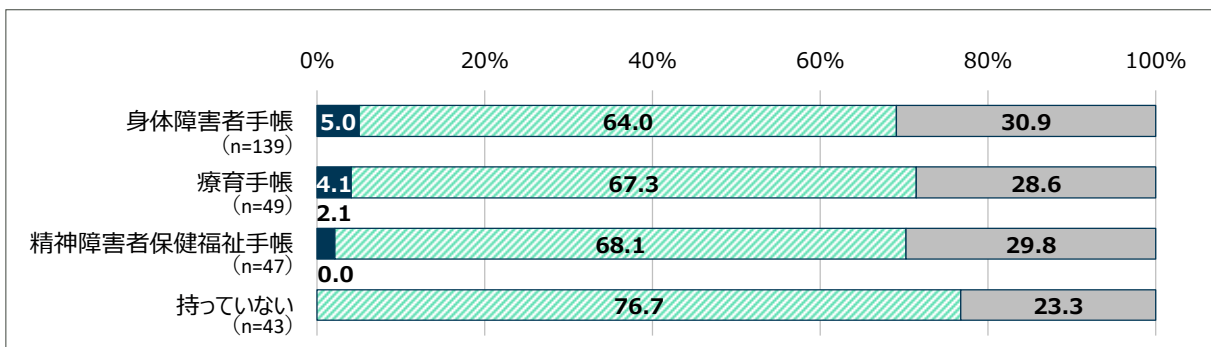
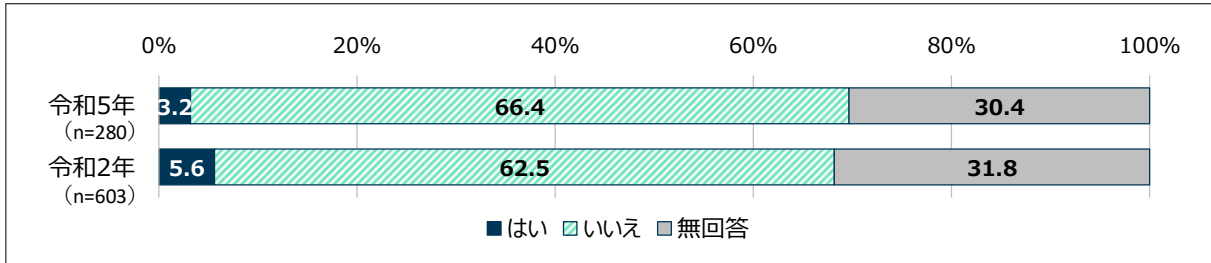
■今後利用したいか



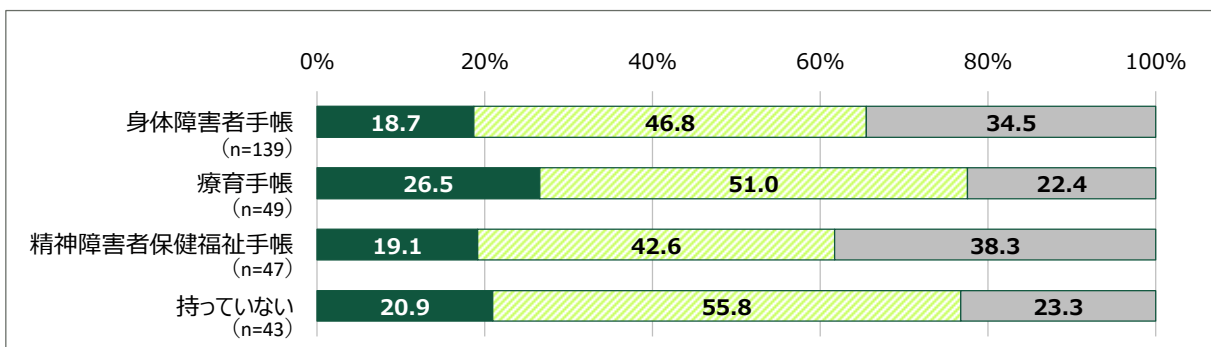
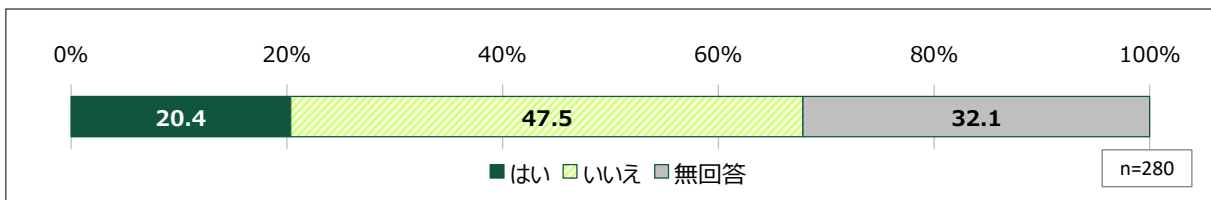
⑦ 自立訓練（機能訓練、生活訓練）

自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。

■現在利用しているか



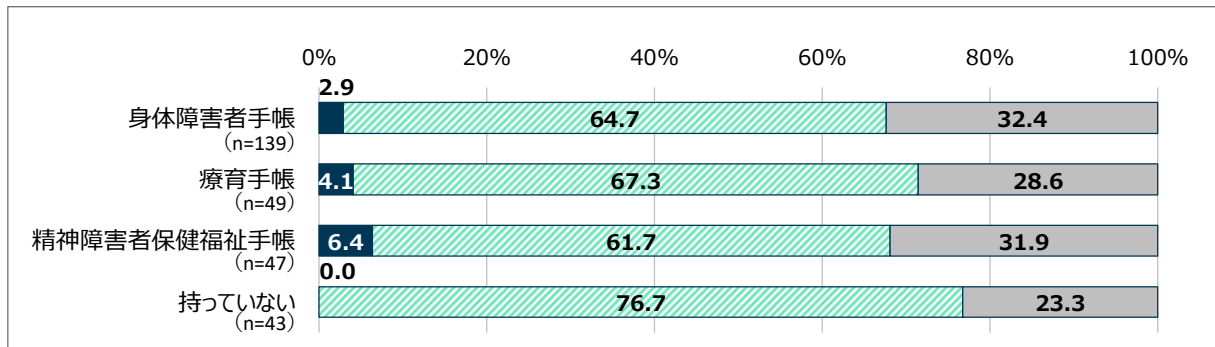
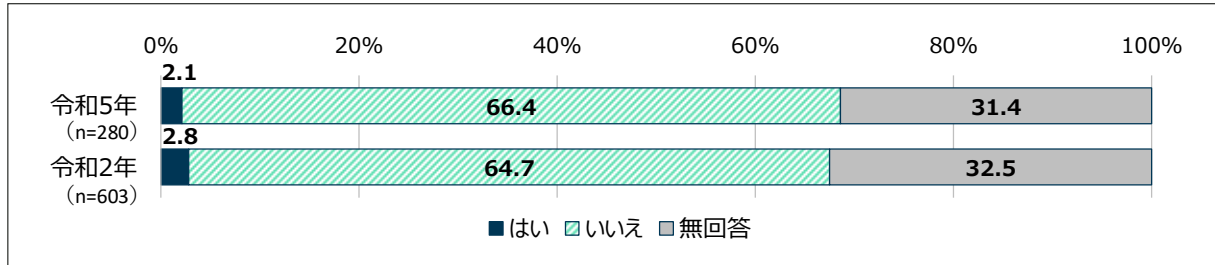
■今後利用したいか



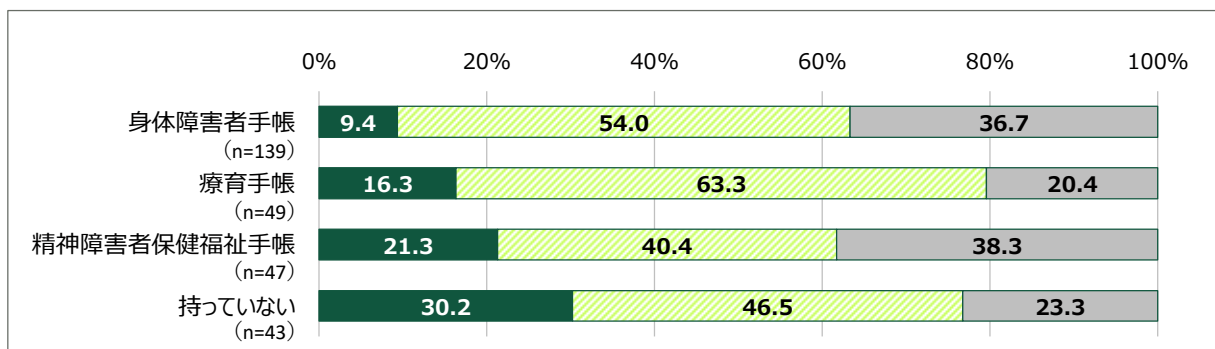
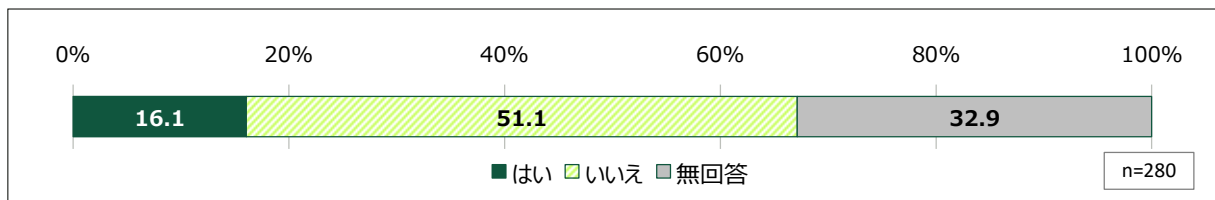
⑧ 就労移行支援

通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識および能力の向上のための訓練を行うサービスです。

■現在利用しているか



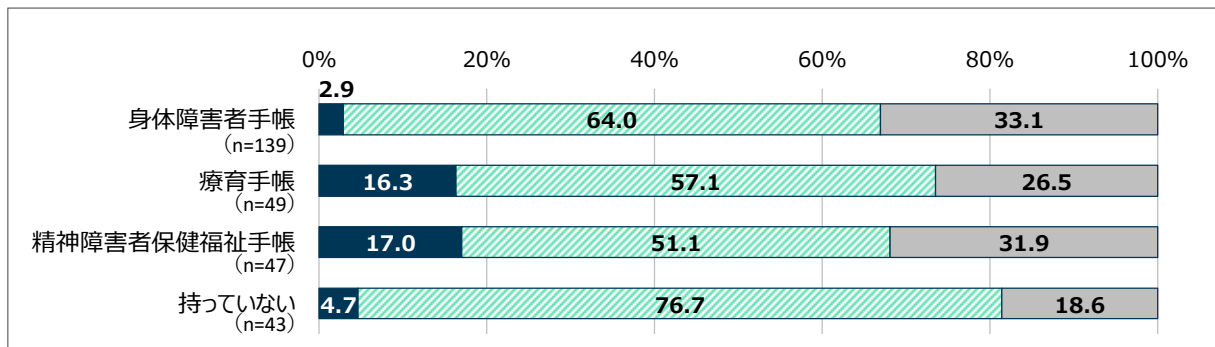
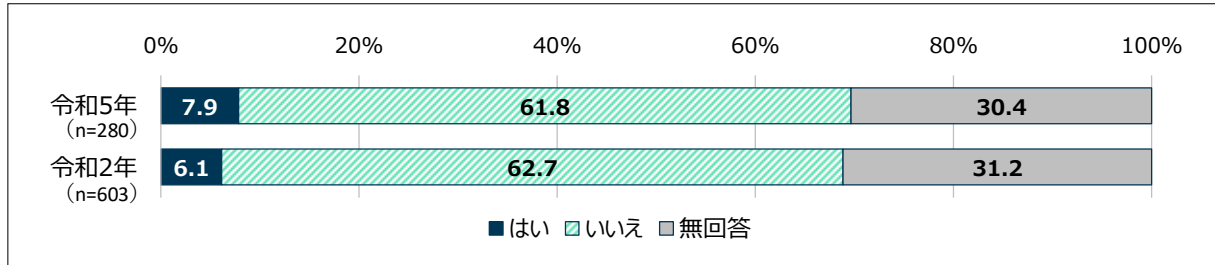
■今後利用したいか



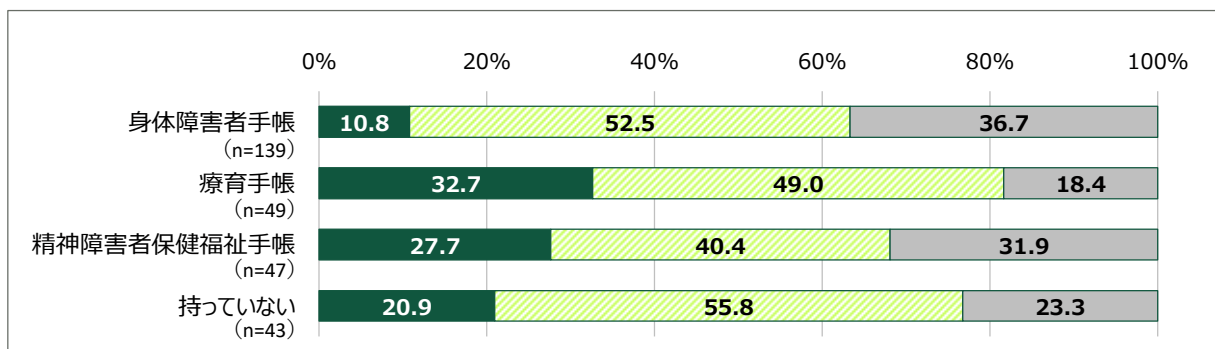
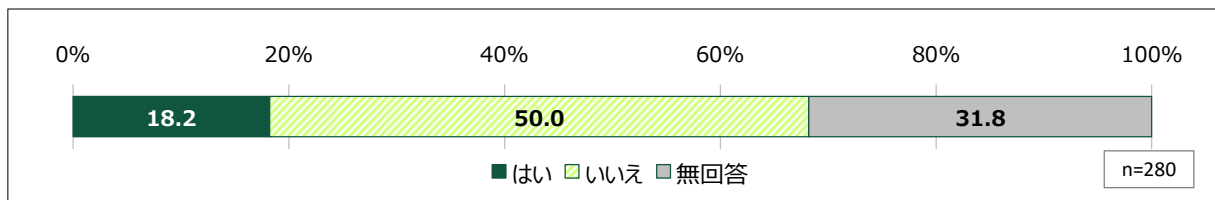
⑨ 就労継続支援（A型、B型）

通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動、その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。

■現在利用しているか



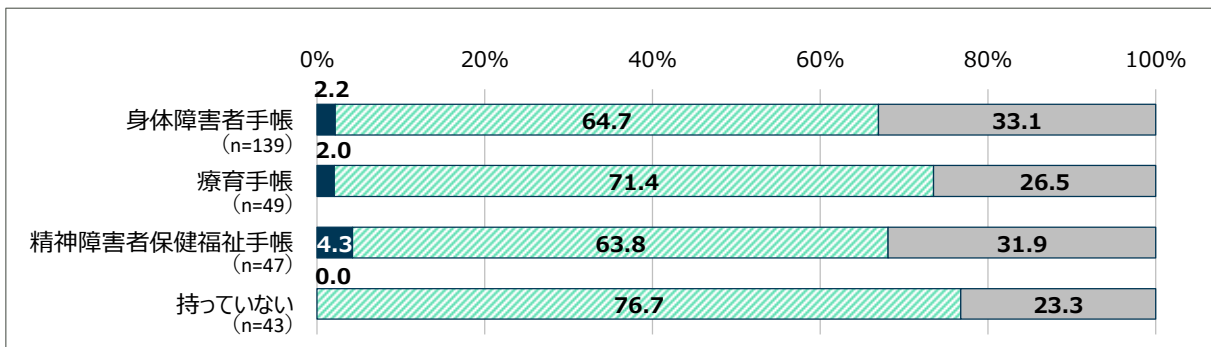
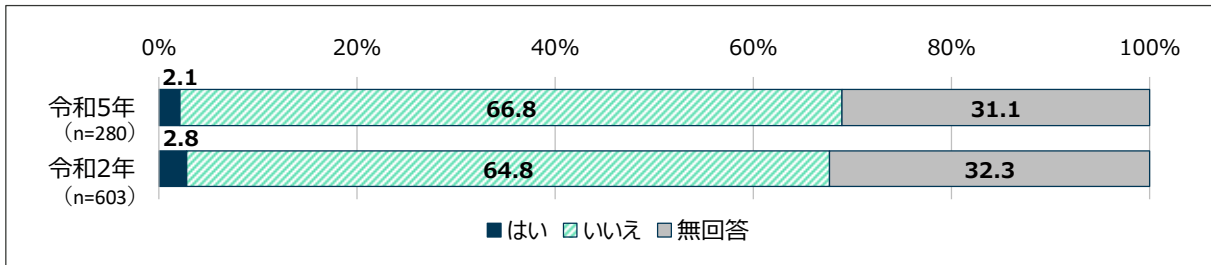
■今後利用したいか



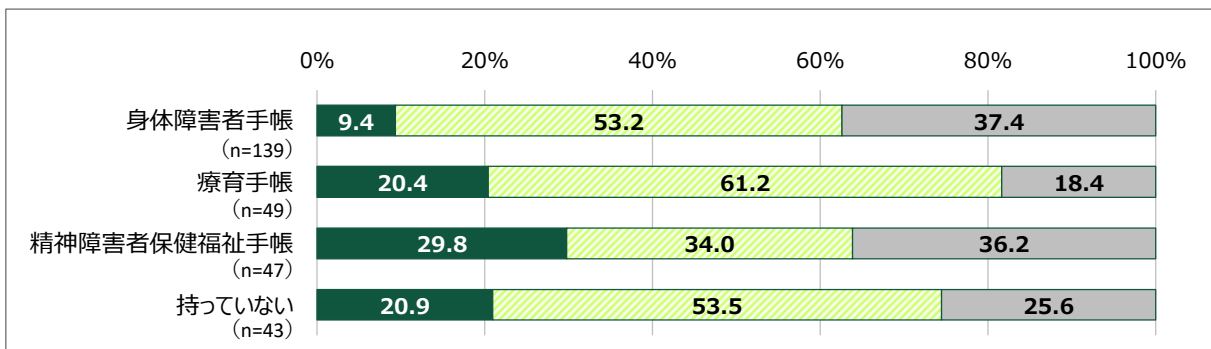
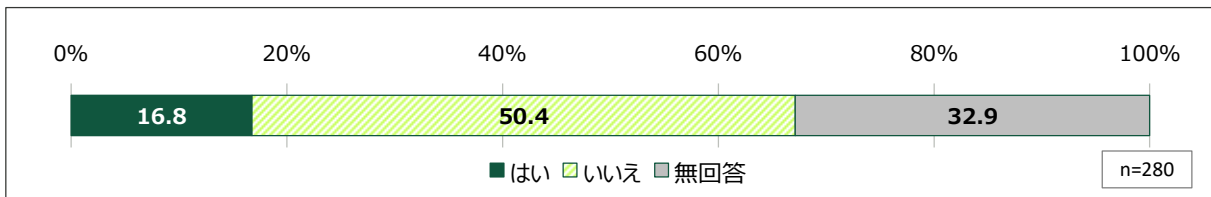
⑩ 就労定着支援

障害者の就労や就労に伴って生じている生活面での課題を解決し、長く働き続けられるようサポートする支援です。

■現在利用しているか



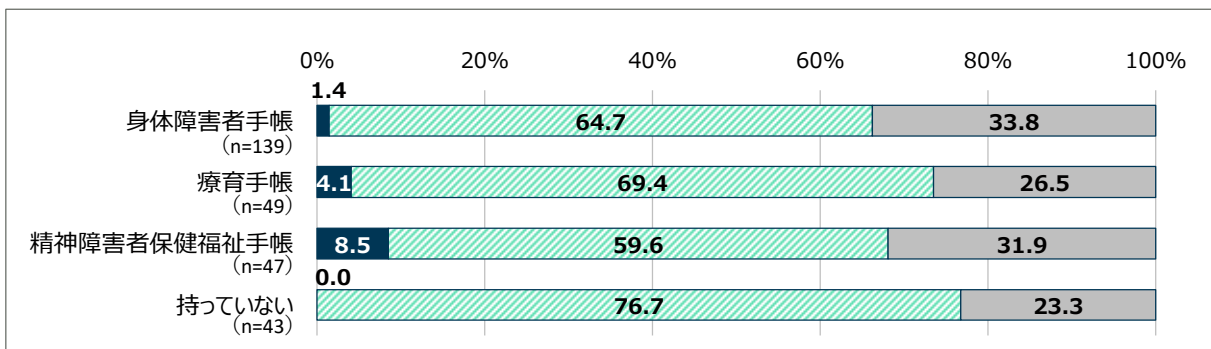
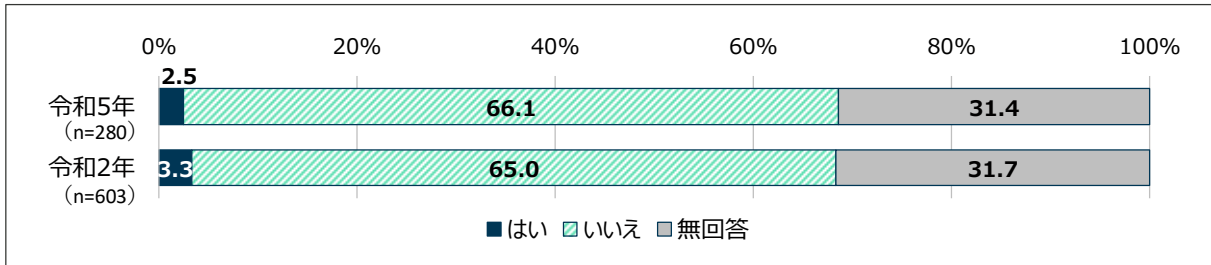
■今後利用したいか



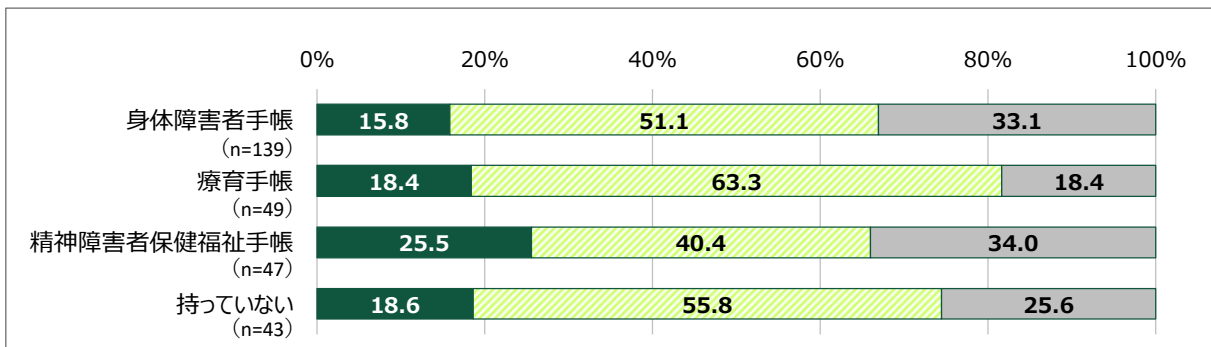
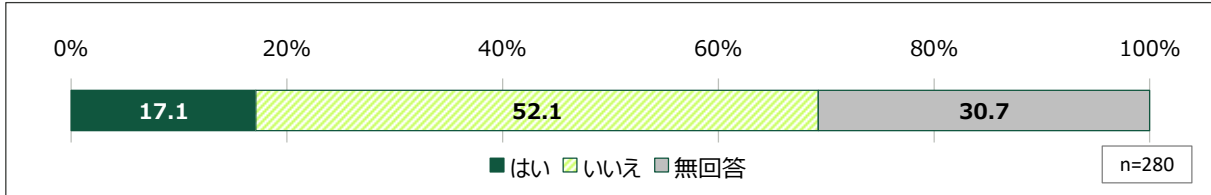
⑪ 自立生活援助

施設またはグループホームを利用していた障害者で、地域での一人暮らしを希望する人に、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、定期的な巡回訪問や相談対応に必要な情報の提供や助言等の援助を行うサービスです。

■現在利用しているか



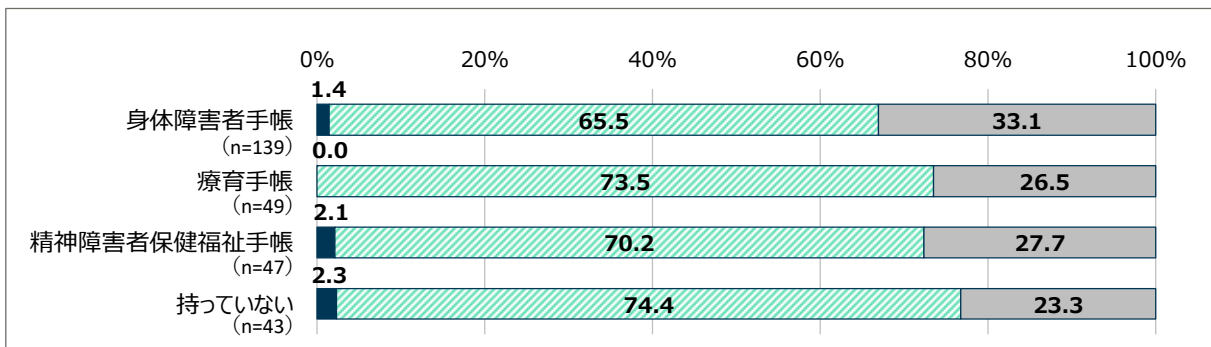
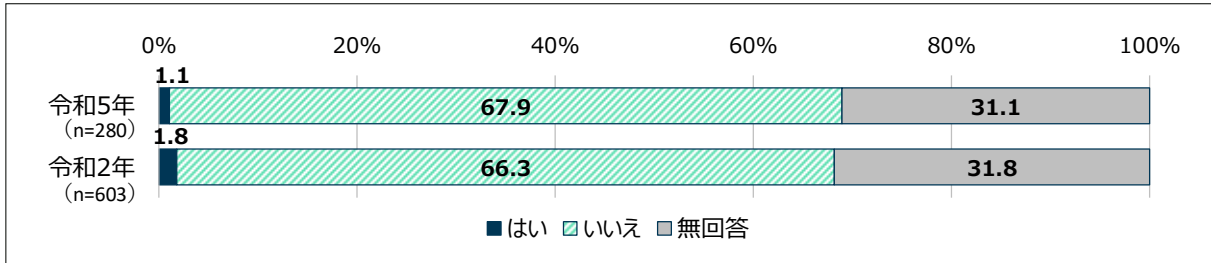
■今後利用したいか



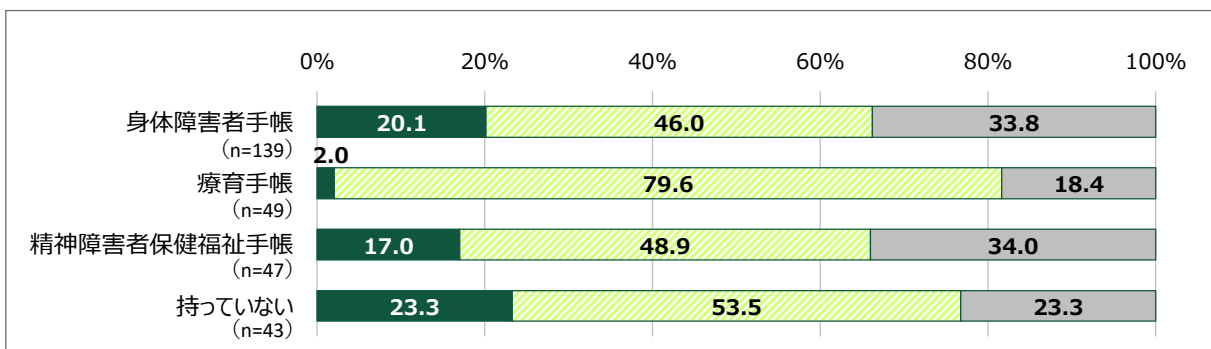
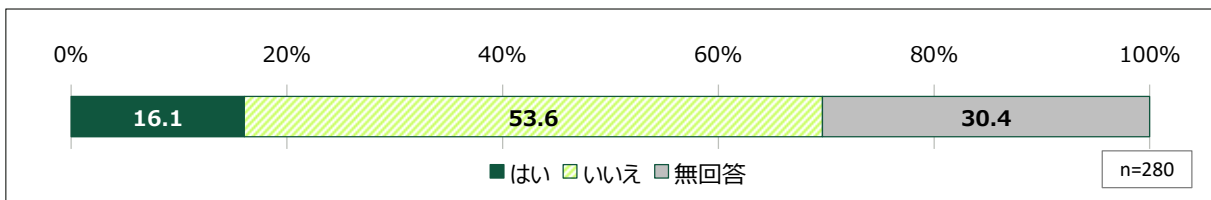
⑫ 療養介護

医療が必要な方で、常に介護が必要な方に、主に昼間に病院等で機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。

■現在利用しているか



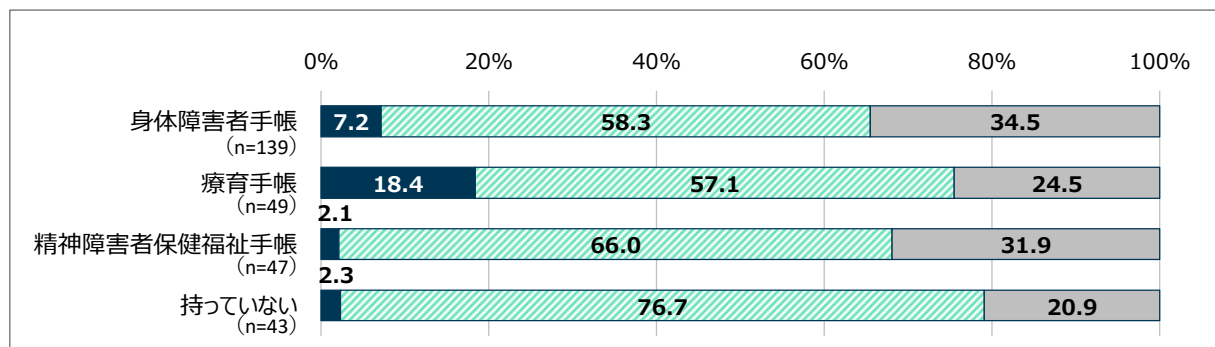
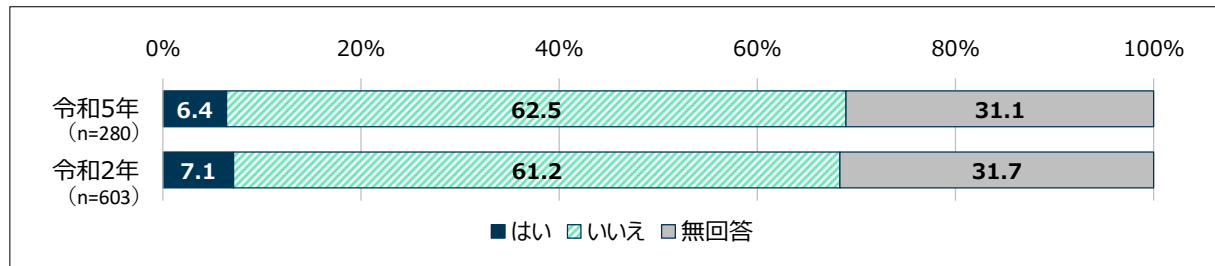
■今後利用したいか



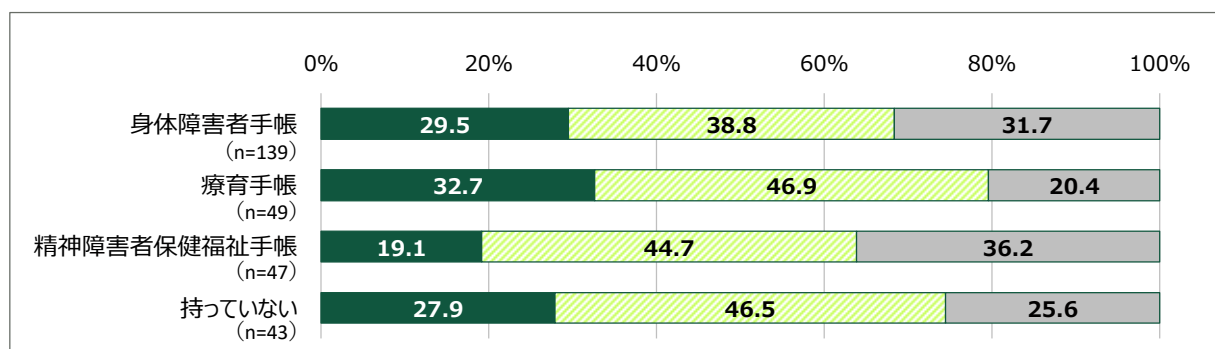
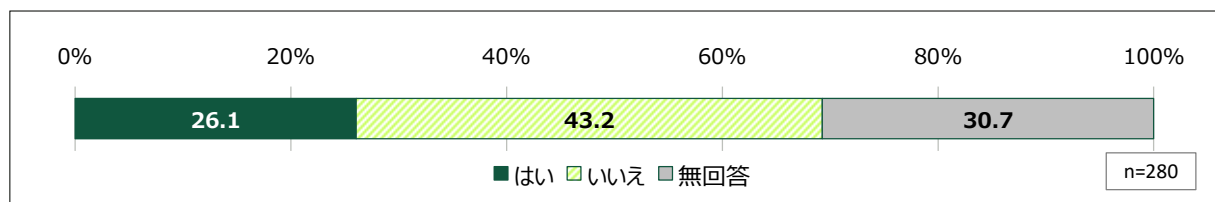
⑬ 短期入所（ショートステイ）

在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合などに、障害者（児）が施設に短期入所し、入浴、排泄、食事の介助などを行うサービスです。

■現在利用しているか



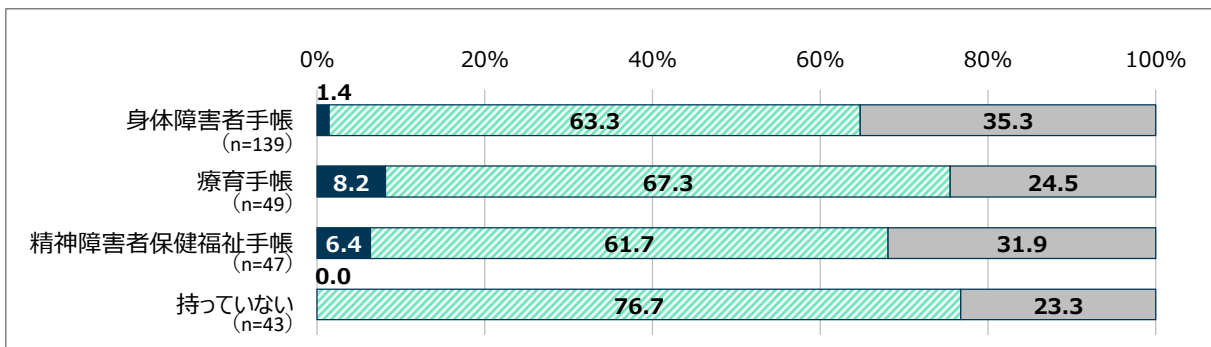
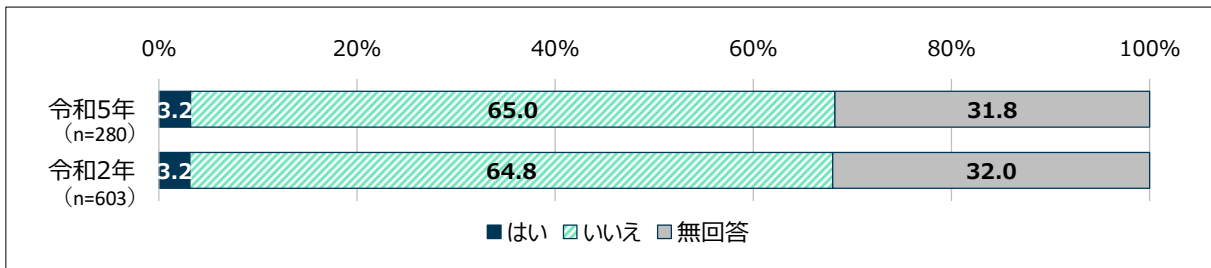
■今後利用したいか



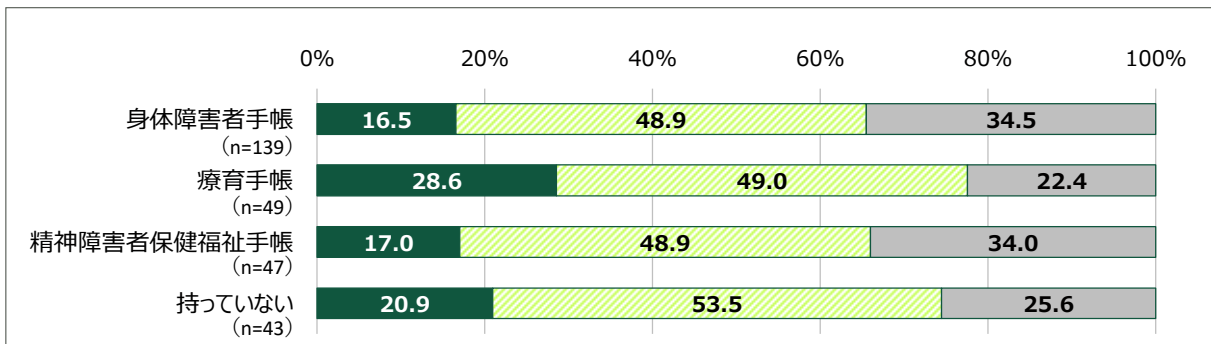
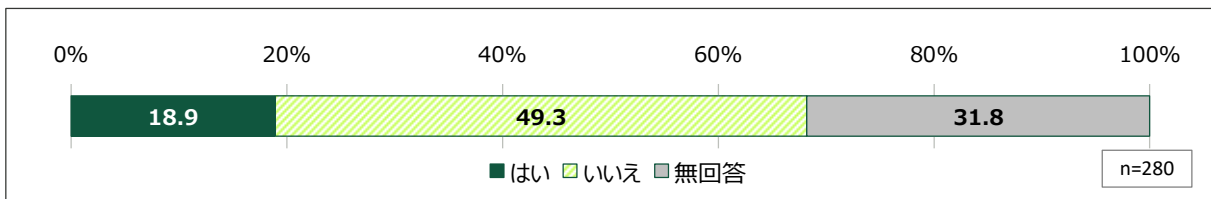
⑭ 共同生活援助（グループホーム）

夜間や休日に共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



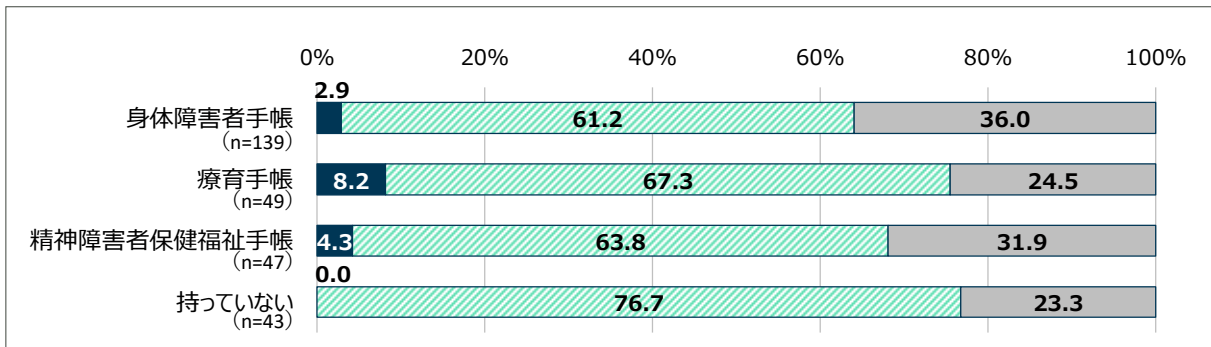
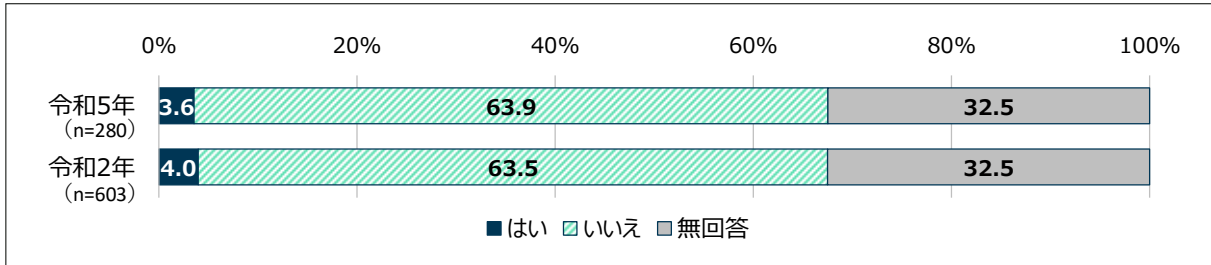
■ 今後利用したいか



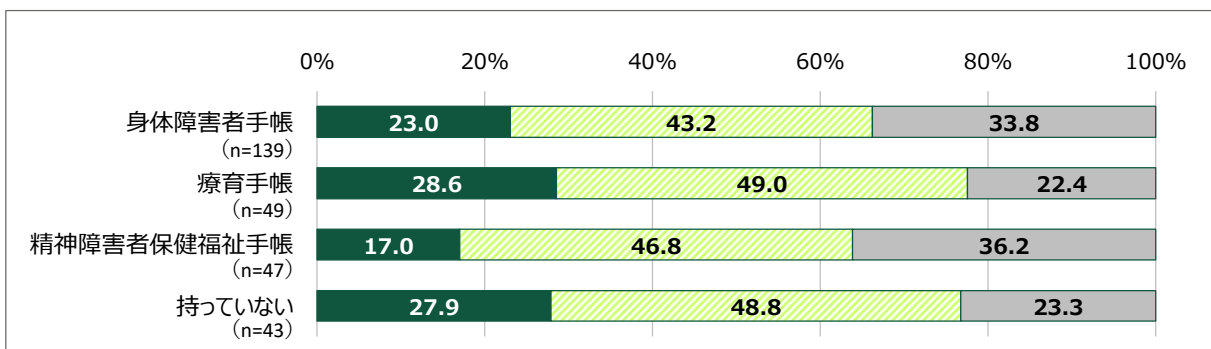
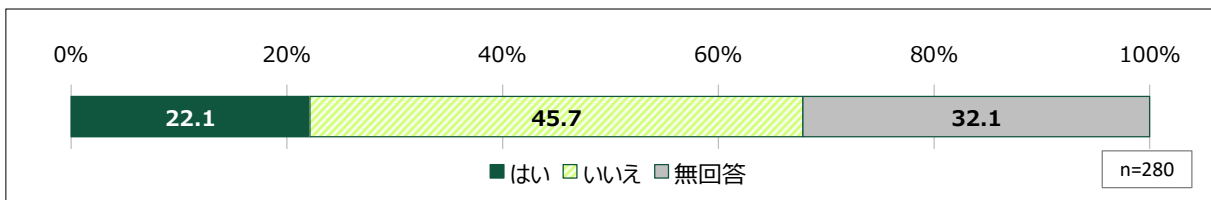
⑮ 施設入所支援

主として夜間、施設に入所する障害者（児）に対し、入浴、排泄、食事の介助などの支援を行うサービスです。

■現在利用しているか



■今後利用したいか



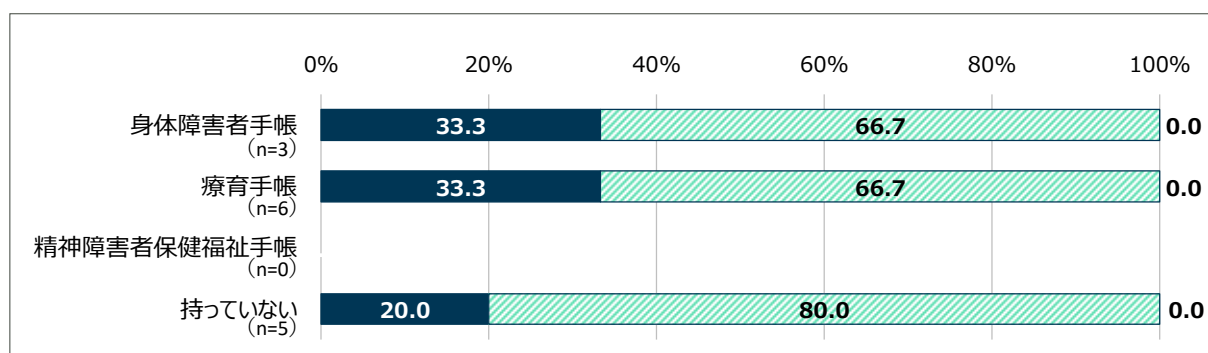
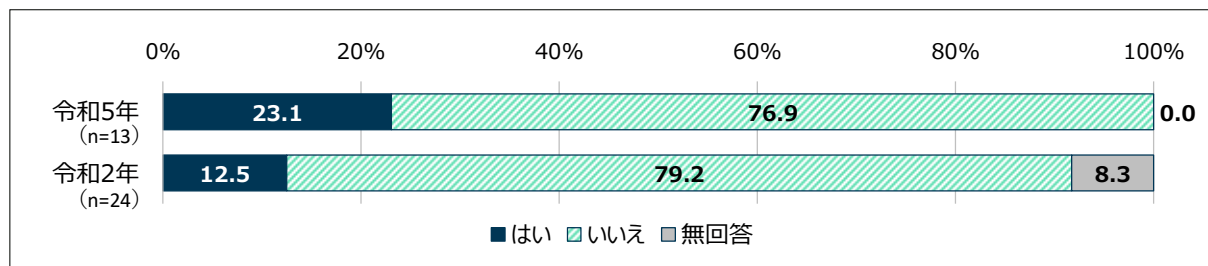
● 障害児福祉サービスなど

17歳以下の方のみ

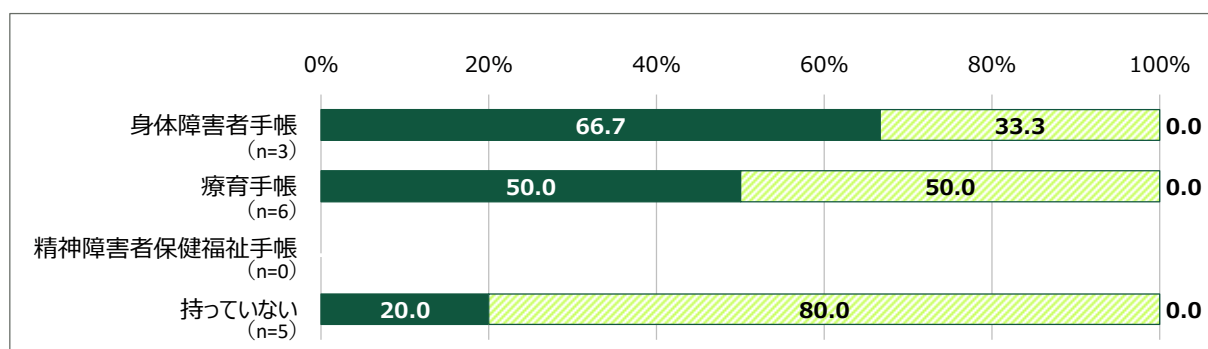
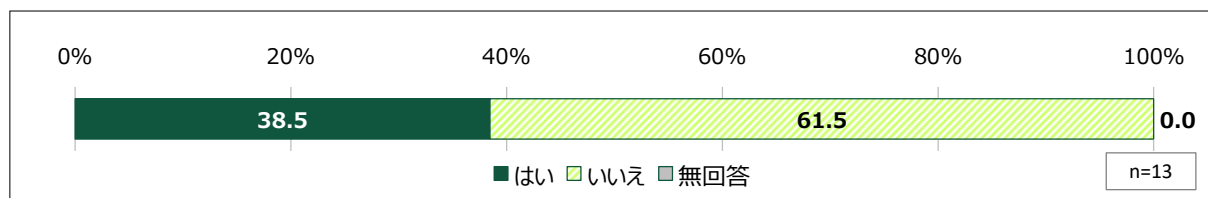
⑩ 児童発達支援（通所型）

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



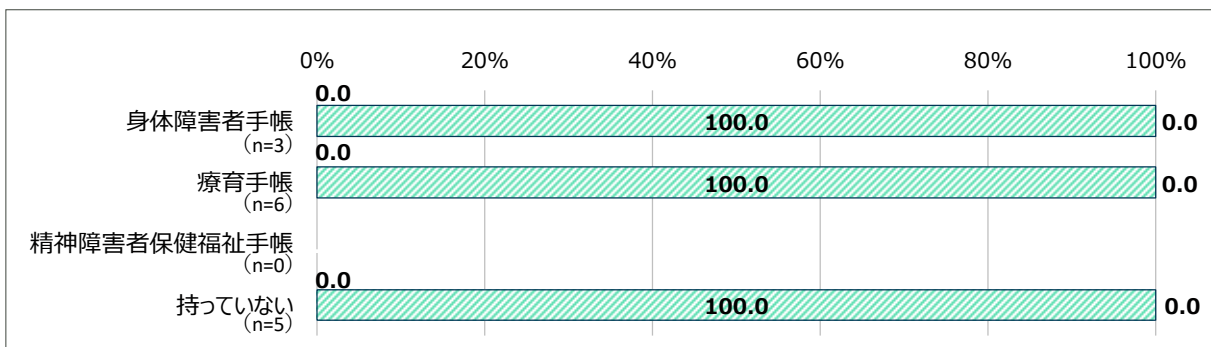
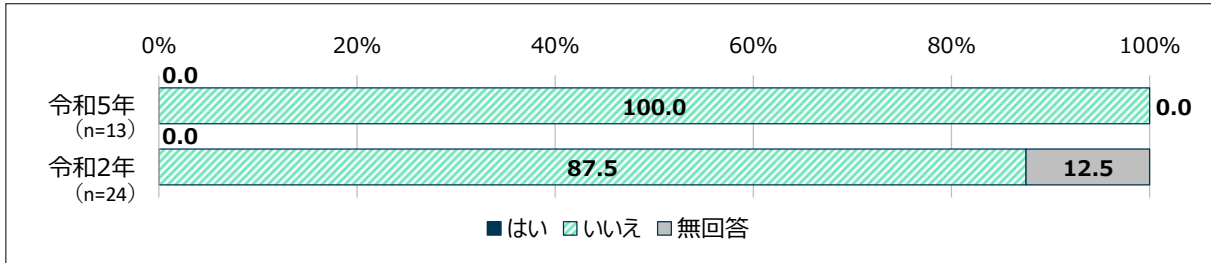
■ 今後利用したいか



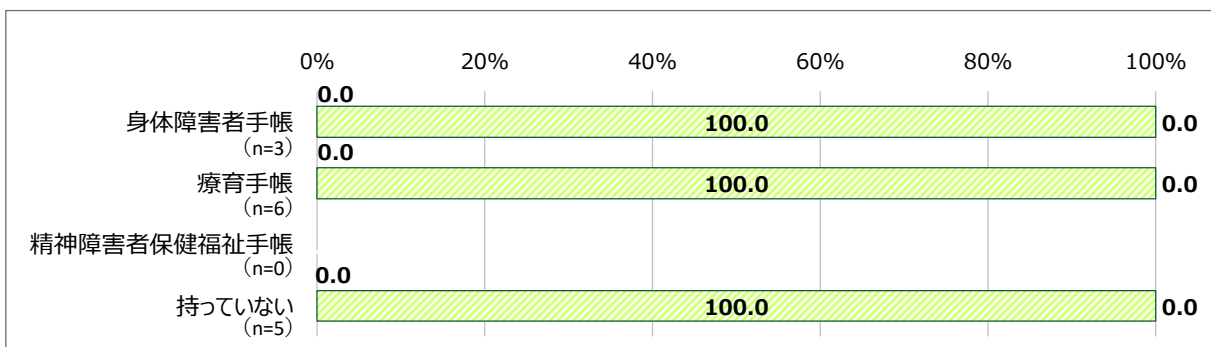
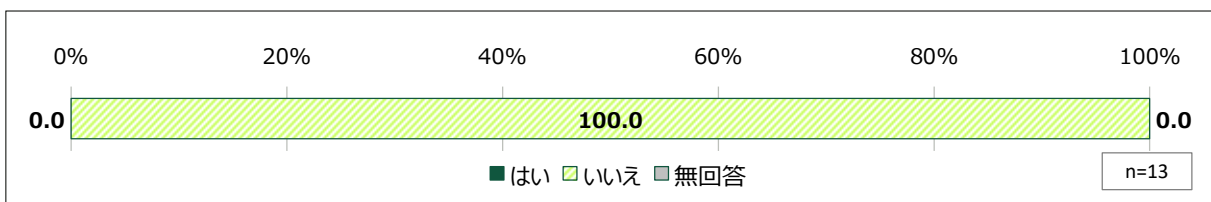
⑰ 居宅訪問型児童発達支援

外出することが著しく困難な障害児に対して、発達支援が提供できるよう、障害児の居宅を訪問して日常生活での基本的な動作の指導、知識技能の付与などの支援を行うサービスです。

■現在利用しているか



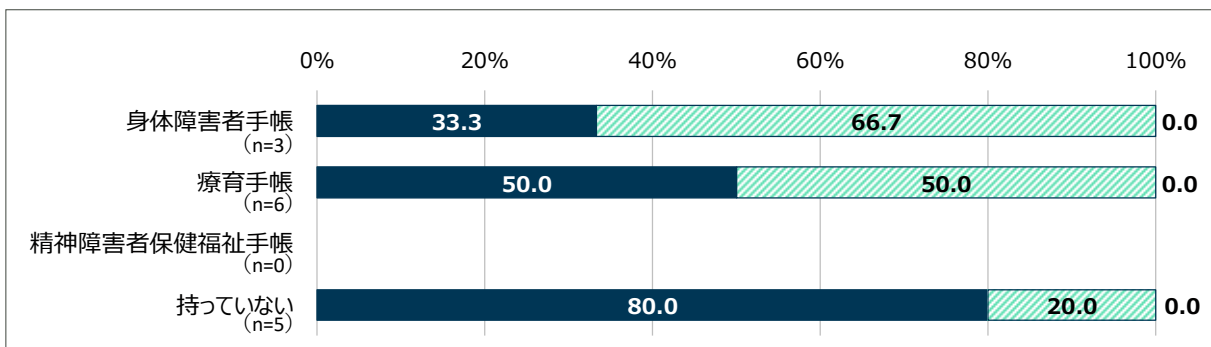
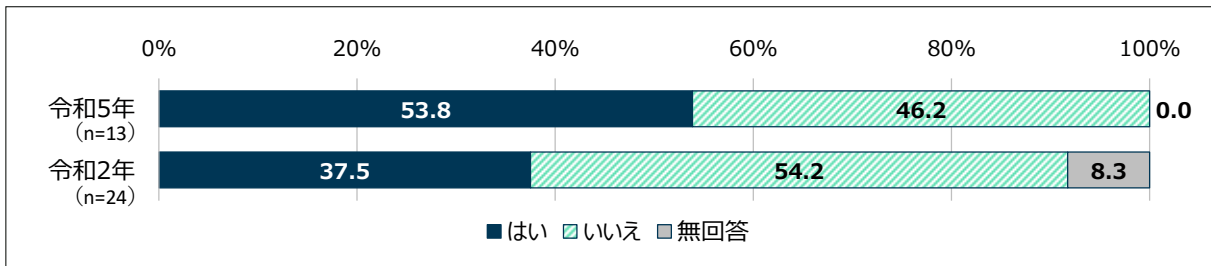
■今後利用したいか



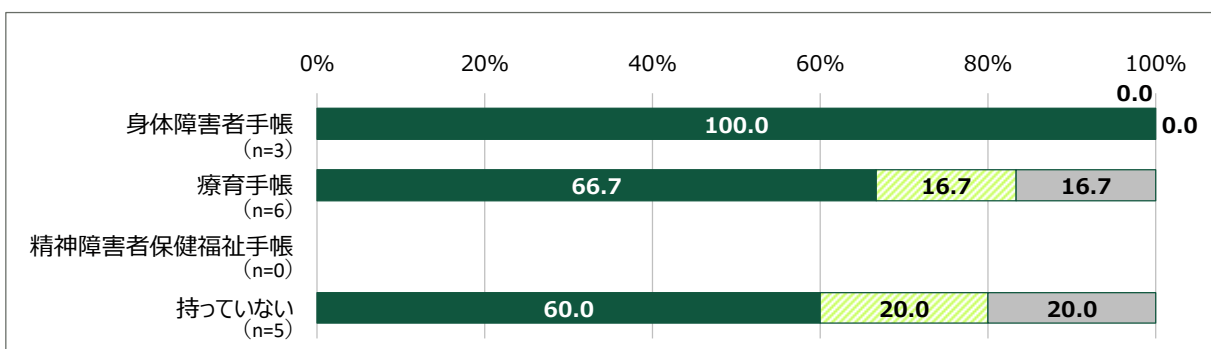
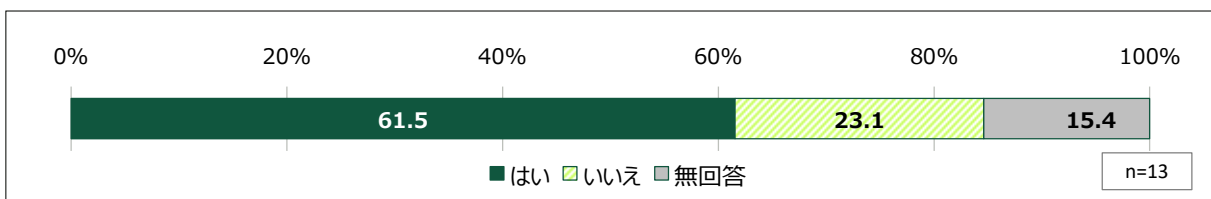
⑱ 放課後等デイサービス

学校の授業終了後や学校の休校日に通所等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。

■現在利用しているか



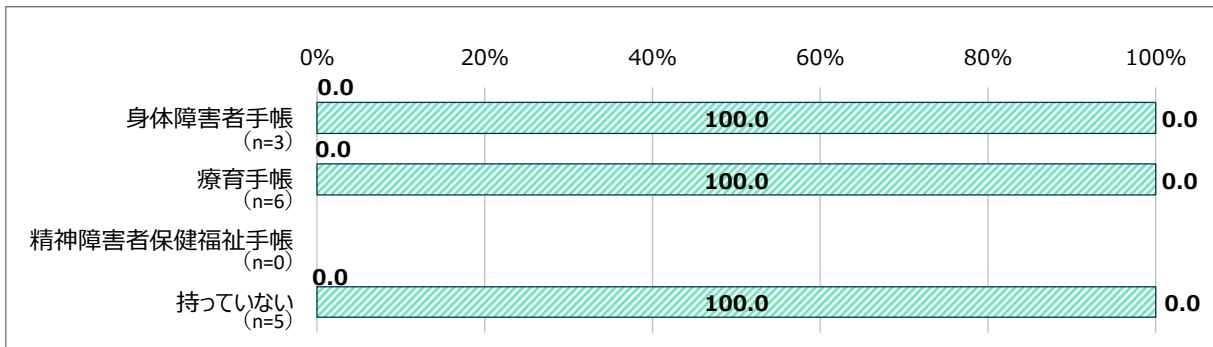
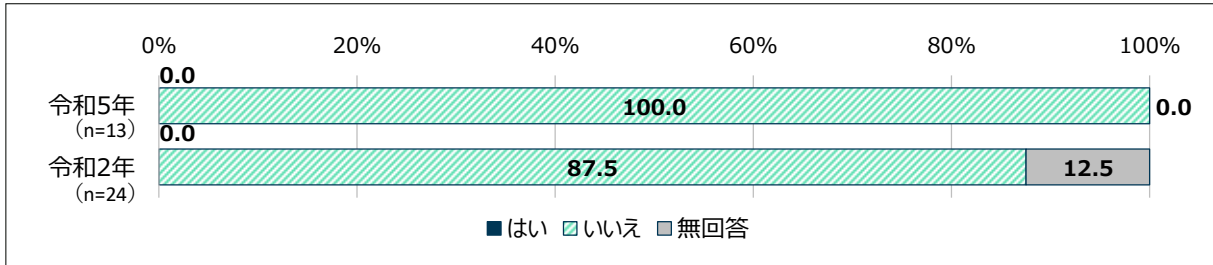
■今後利用したいか



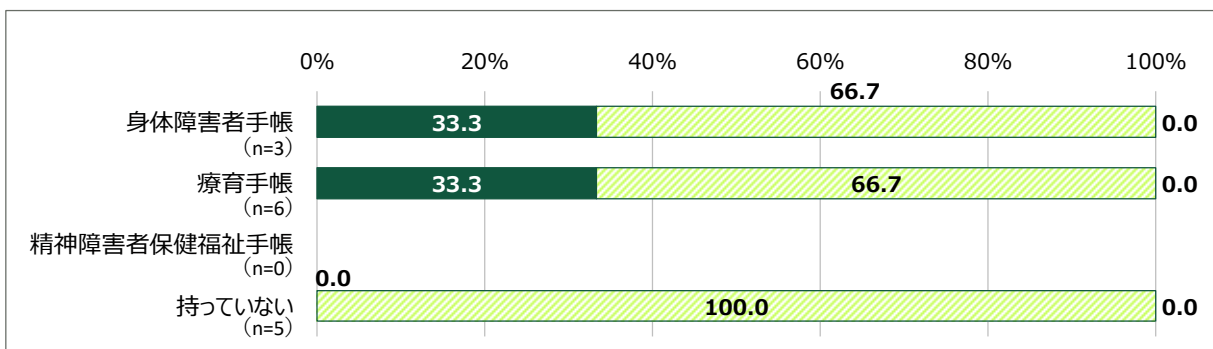
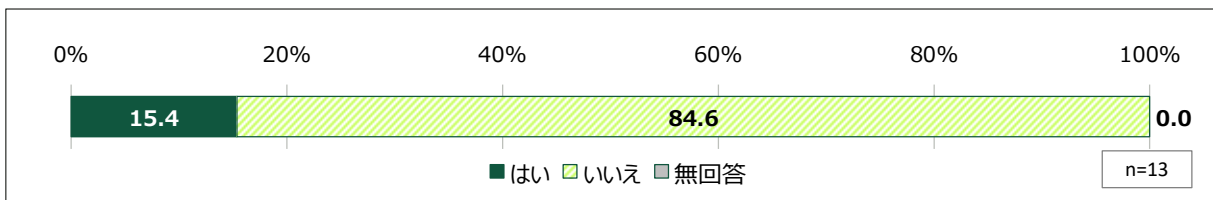
⑱ 保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行います。

■現在利用しているか



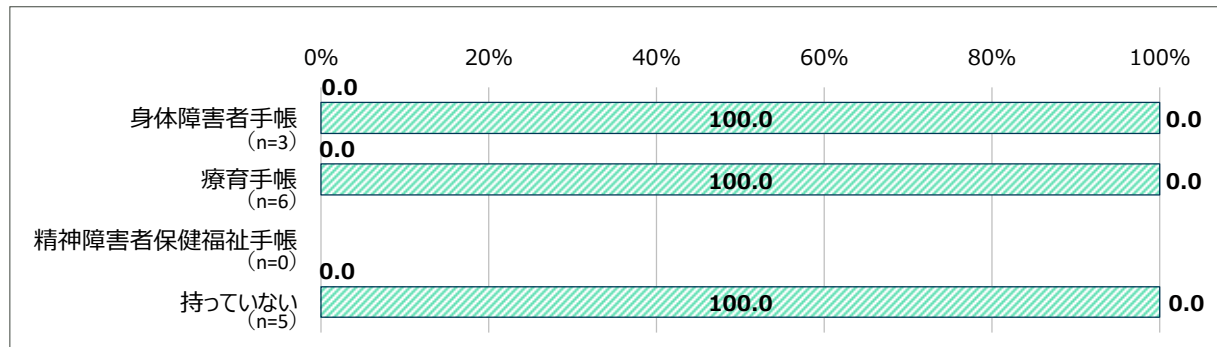
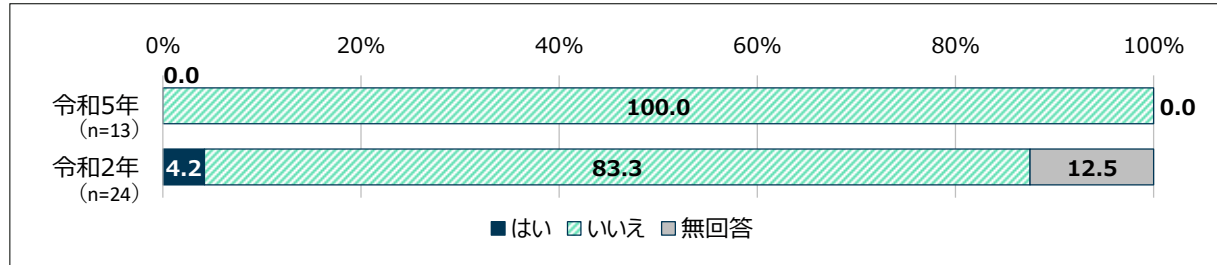
■今後利用したいか



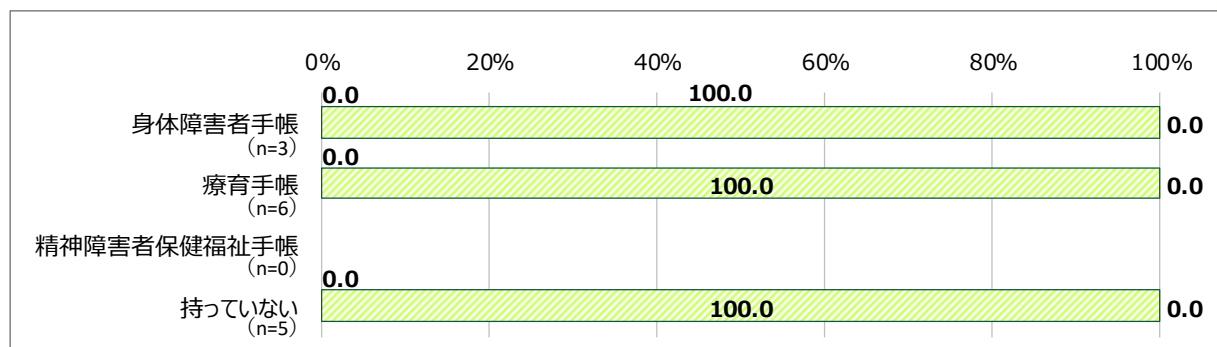
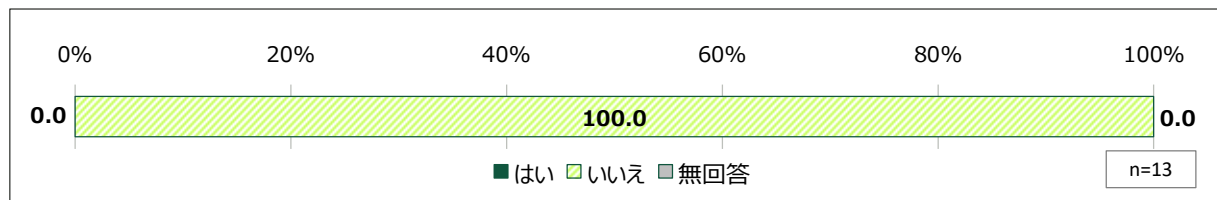
⑳ 軽・中等度聴覚障害支援

身体障害者手帳の交付対象とならない、軽・中等度難聴児のコミュニケーション能力の向上や言語の発達を目的に補聴器購入費の助成を行います。

■現在利用しているか



■今後利用したいか

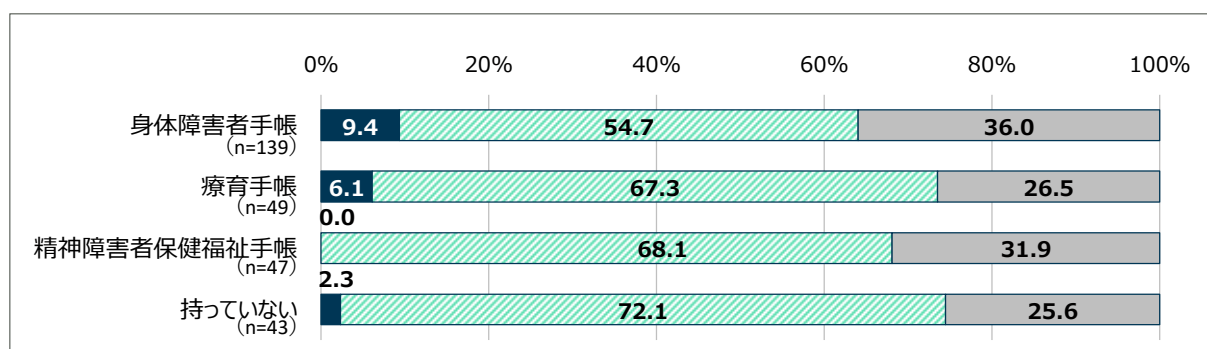
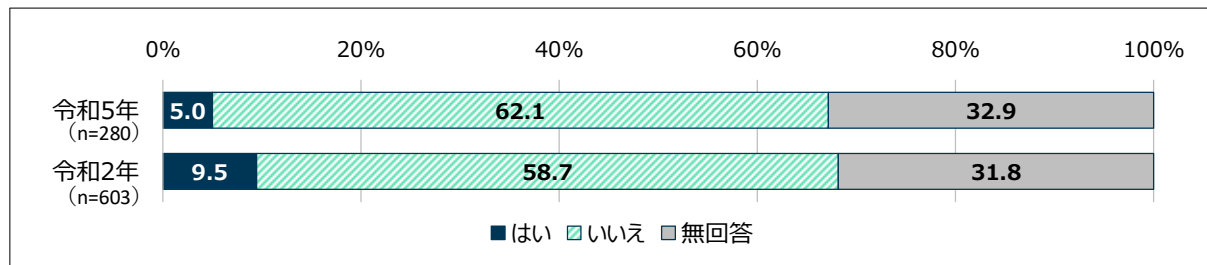


● 地域生活支援事業など

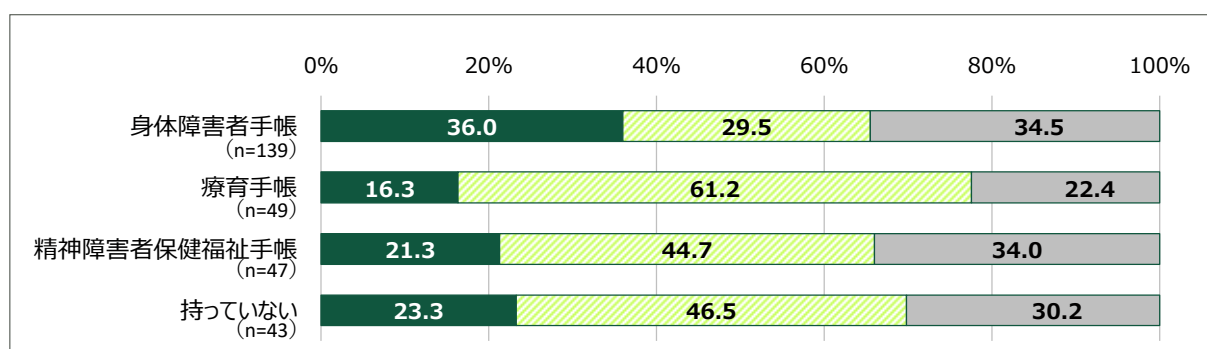
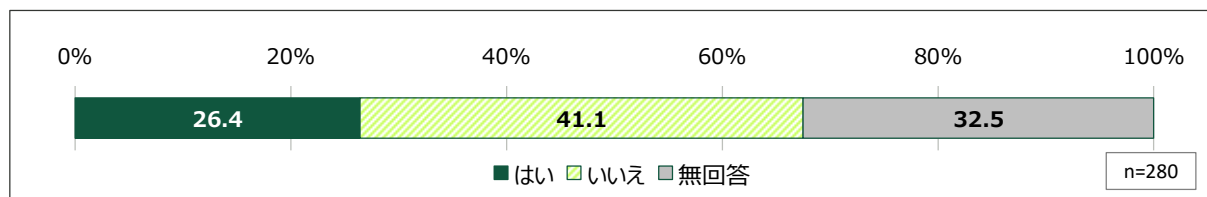
② 補装具

車いすや補聴器等の補装具を支給します。

■ 現在利用しているか



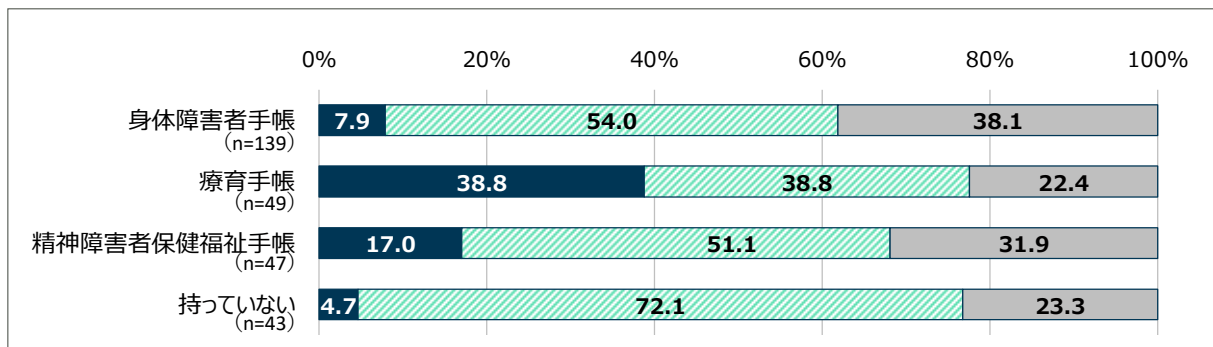
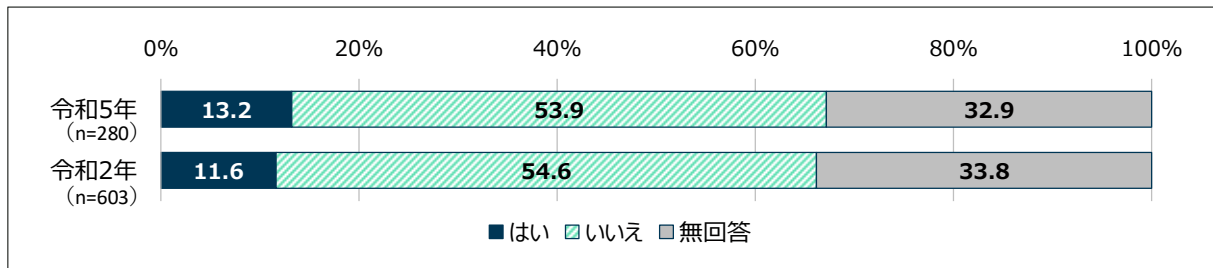
■ 今後利用したいか



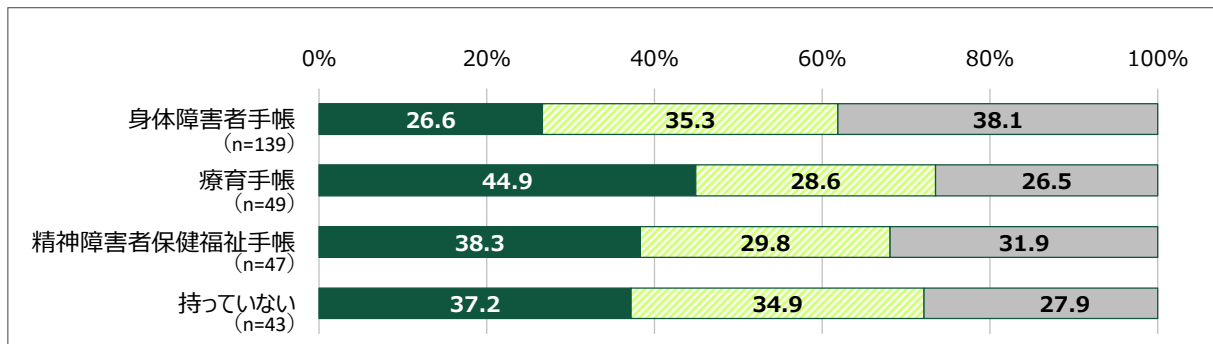
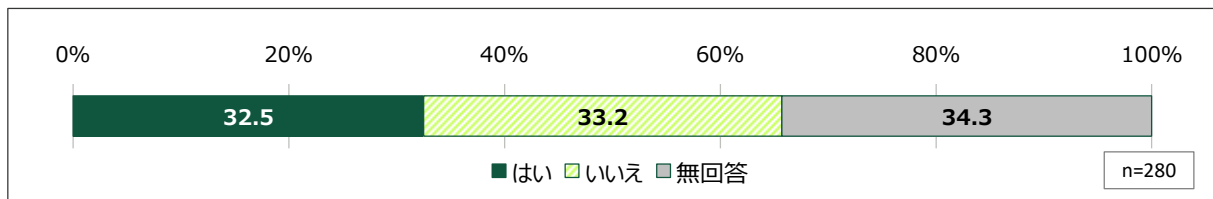
② 相談支援

障害者（児）等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。

■ 現在利用しているか



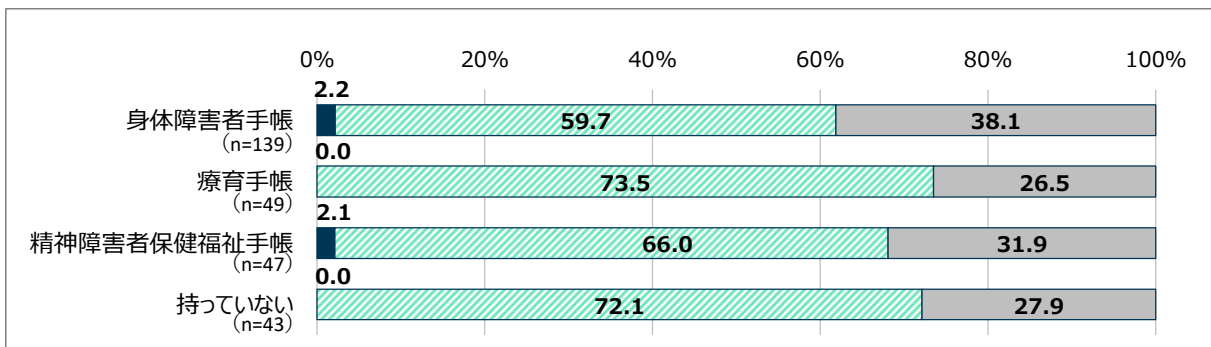
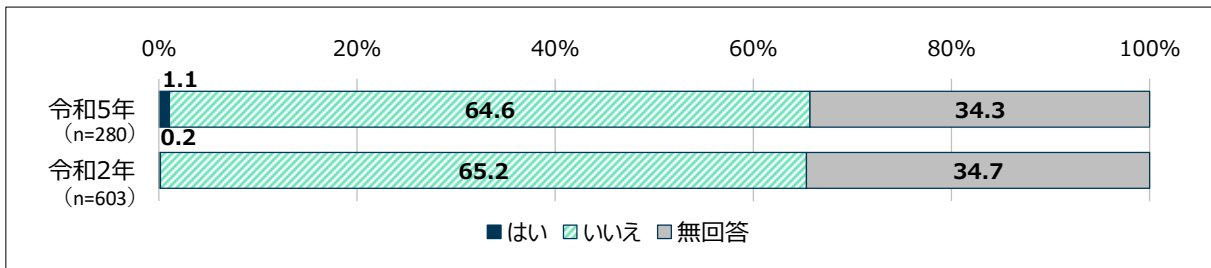
■ 今後利用したいか



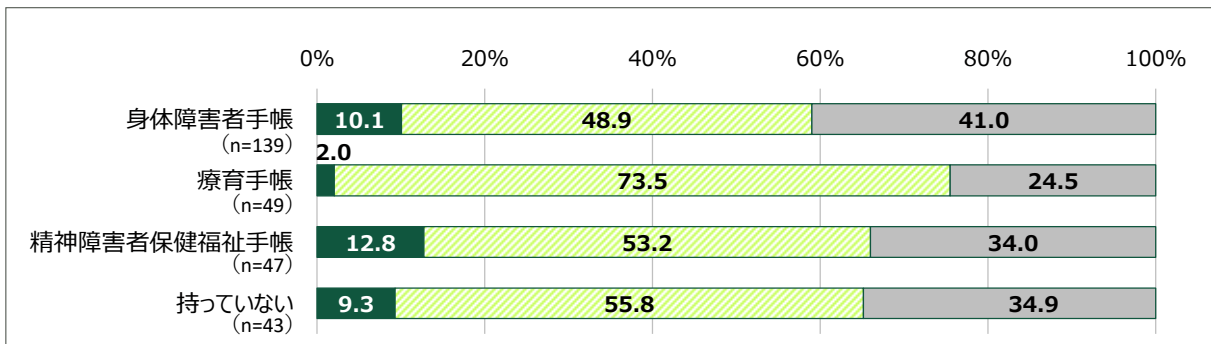
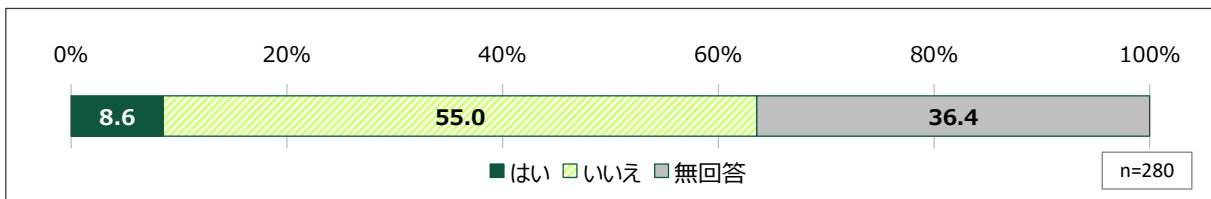
② コミュニケーション支援

意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。

■ 現在利用しているか



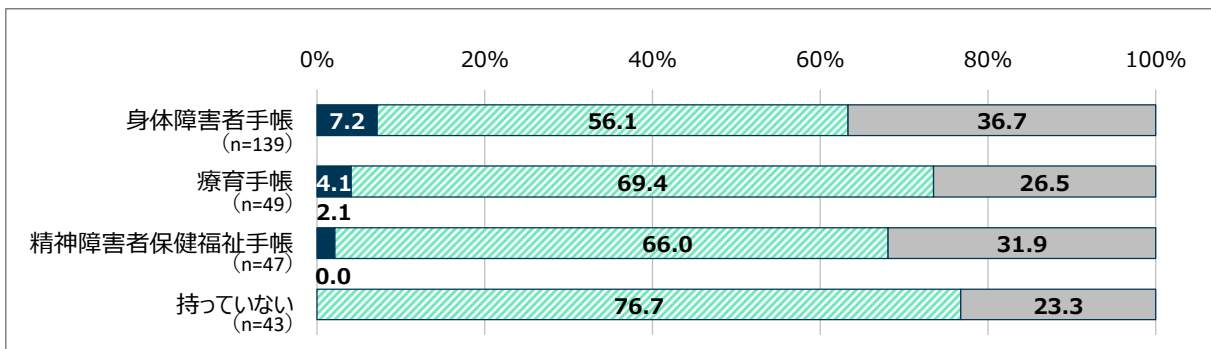
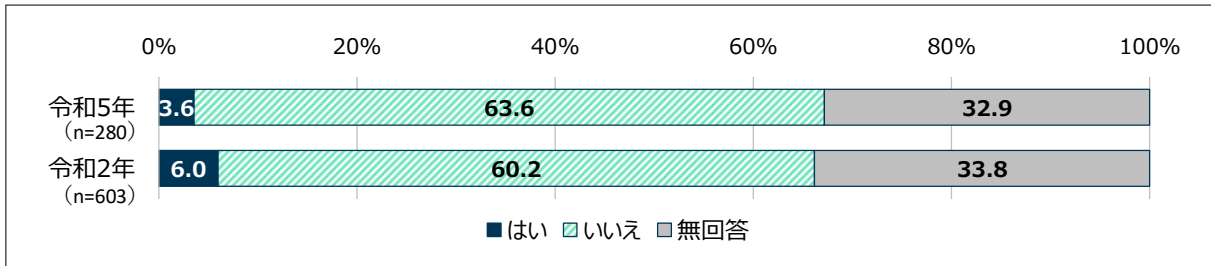
■ 今後利用したいか



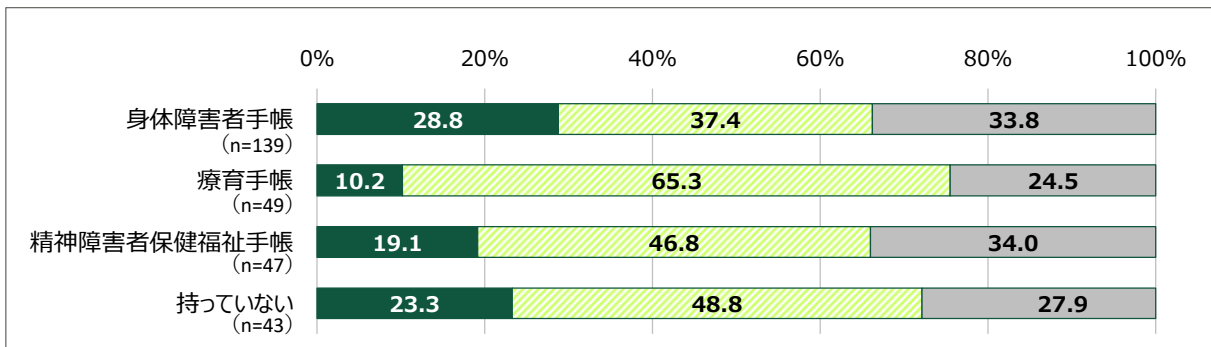
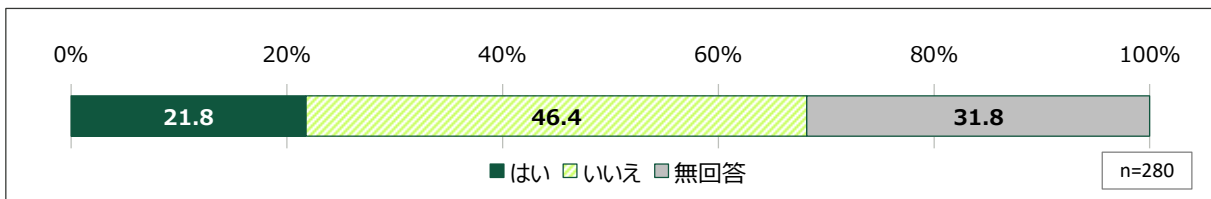
⑭ 日常生活用具給付または貸与

重度障害者に対し、自立支援用具の給付・貸与を行います。

■ 現在利用しているか



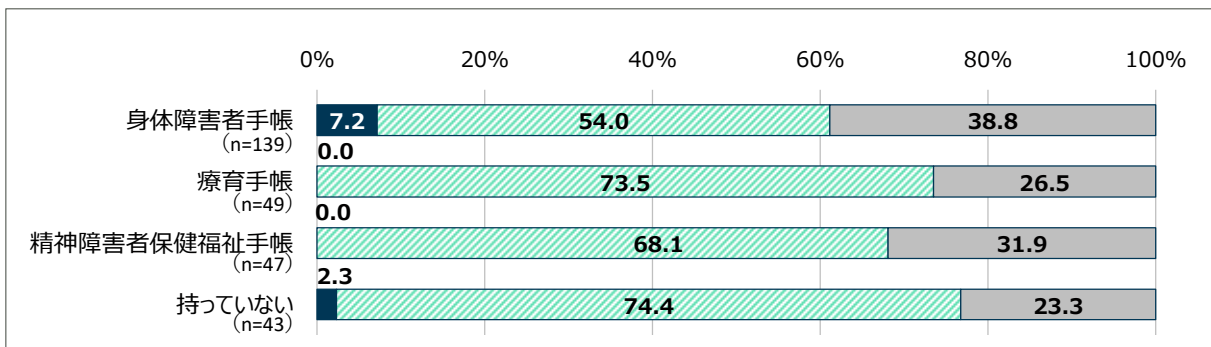
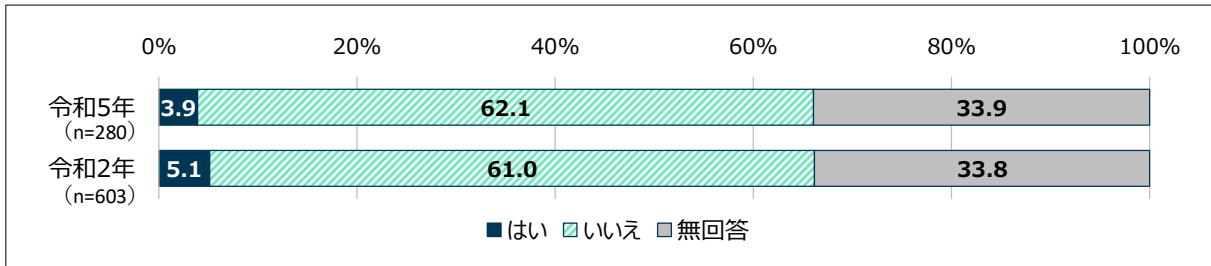
■ 今後利用したいか



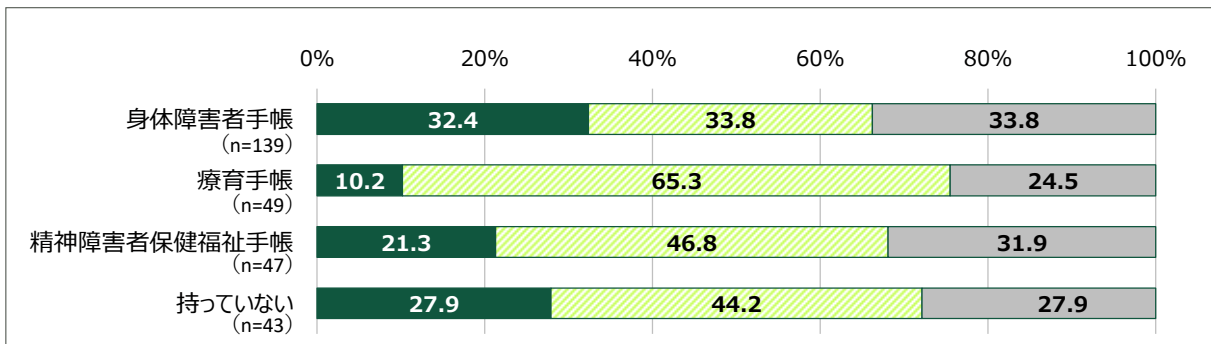
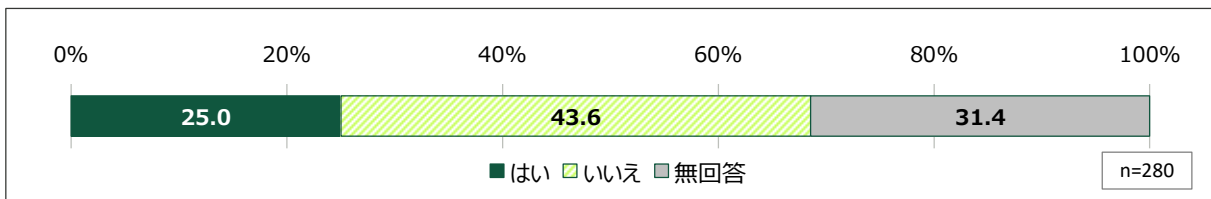
㊸ 住宅改修費給付

在宅の重度身体障害者等が段差解消など住宅改修する際の工事費を給付します。

■ 現在利用しているか



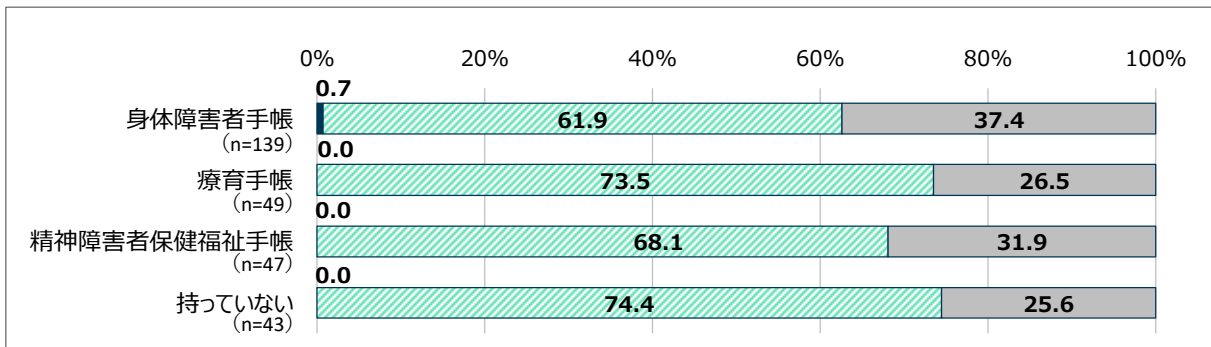
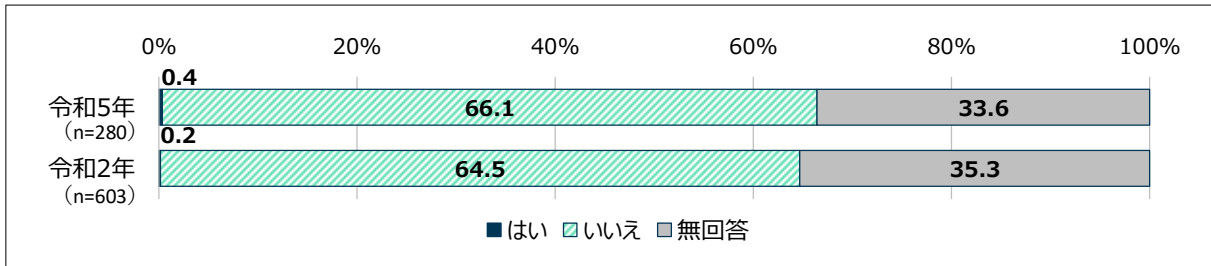
■ 今後利用したいか



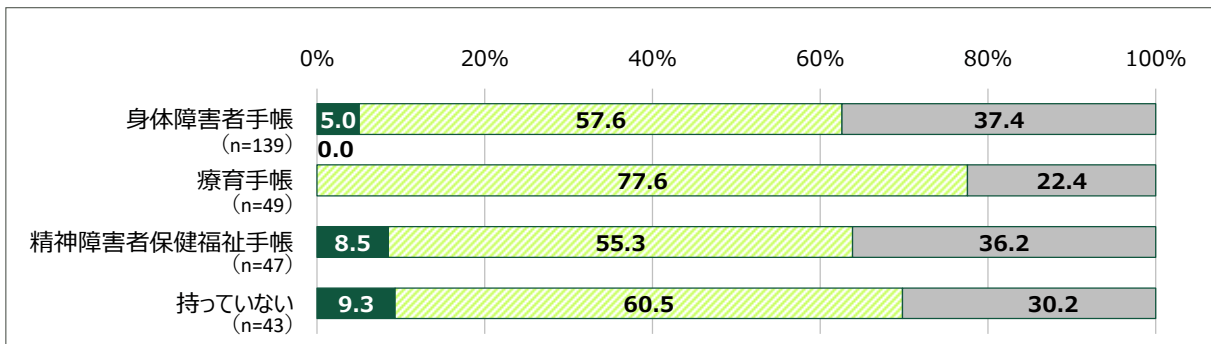
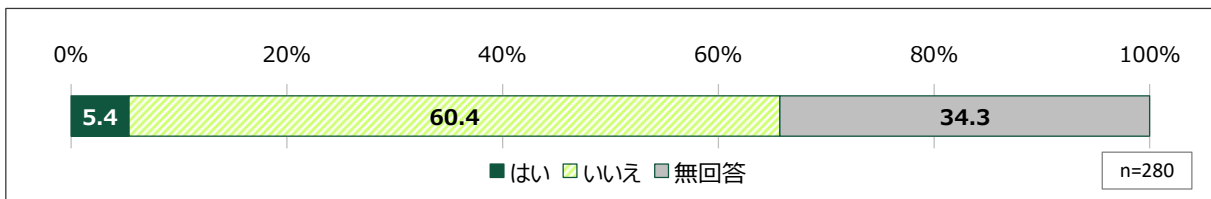
㊦ 点字図書給付

情報入手を容易にするため、視覚障害者に点字図書を給付します。

■現在利用しているか



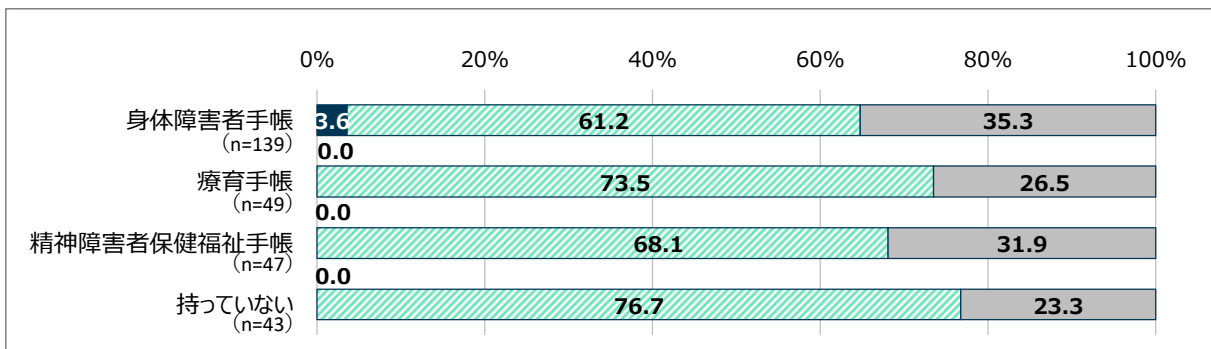
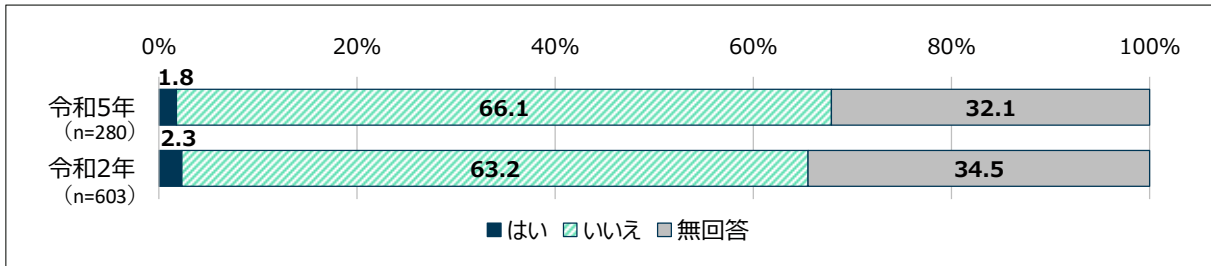
■今後利用したいか



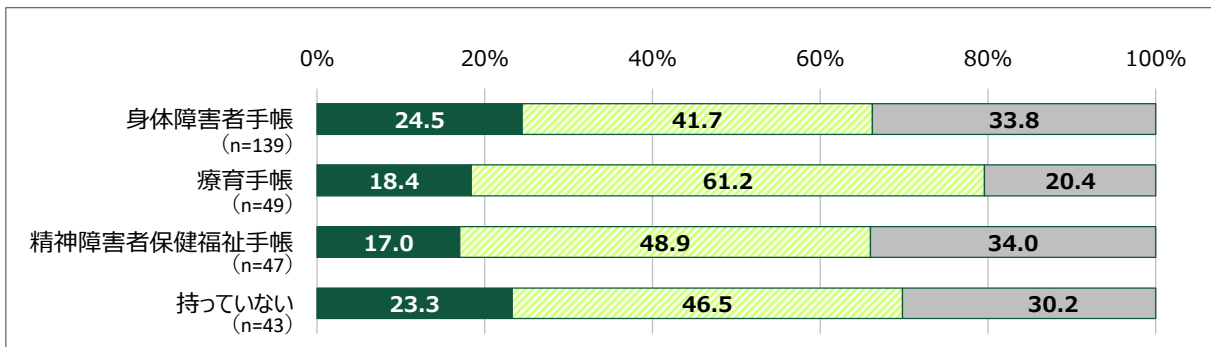
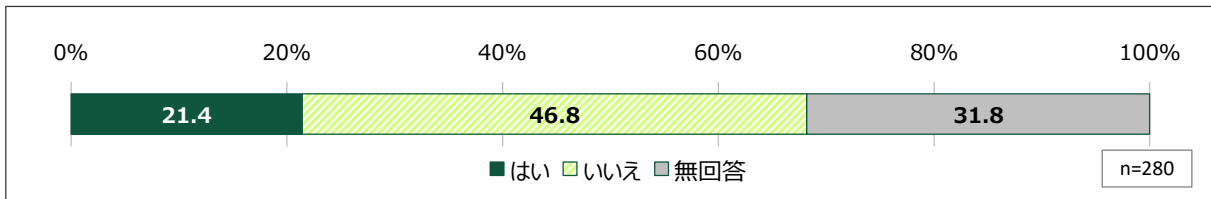
㉗ 移動支援

移動が困難な障害者に対し、ガイドヘルパーが行う外出の支援サービスです。

■現在利用しているか



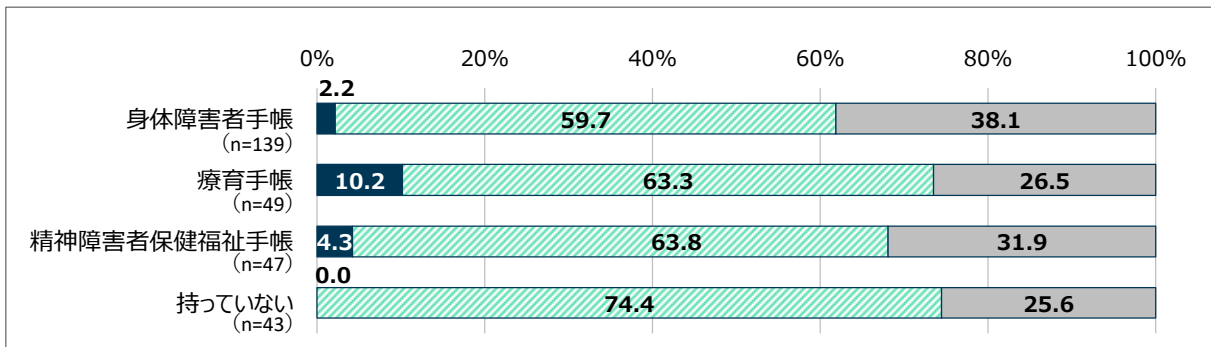
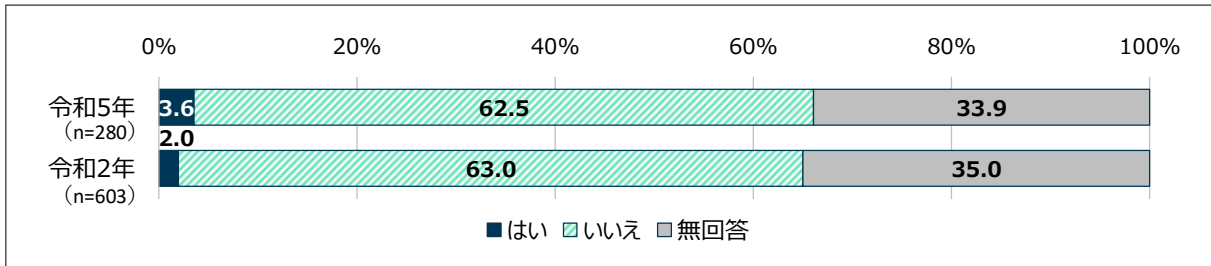
■今後利用したいか



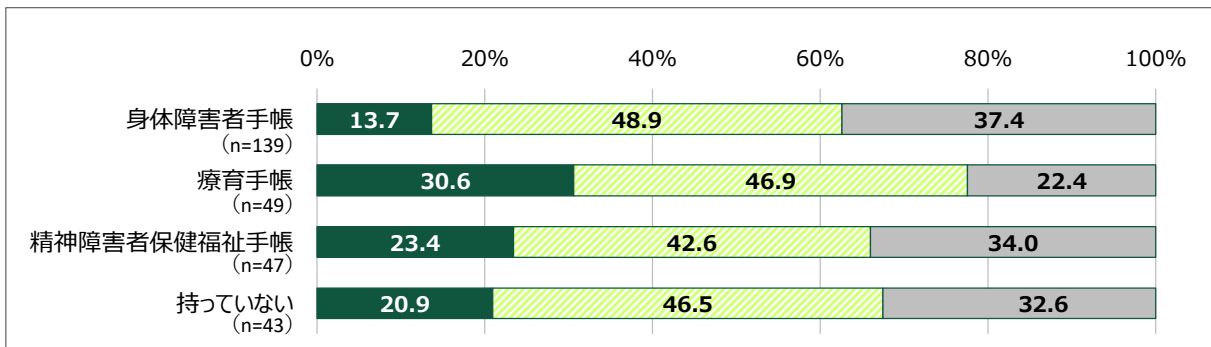
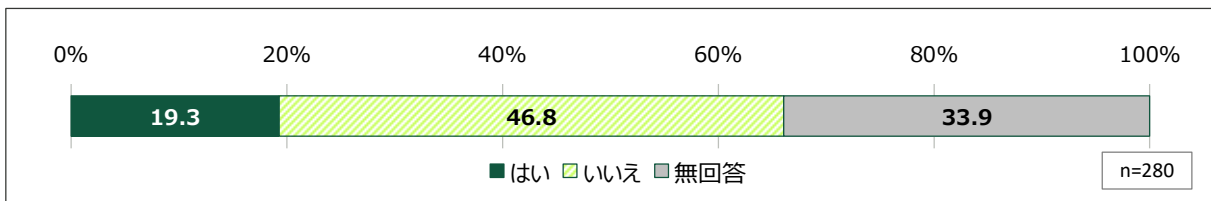
㊸ 地域活動支援センター

障害者に、創作活動や生産活動の機会の提供や、社会との交流を促進します。

■ 現在利用しているか



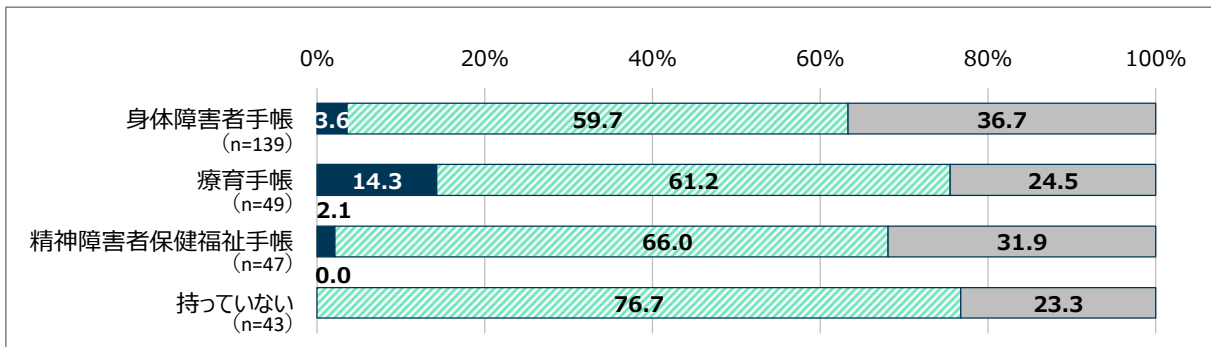
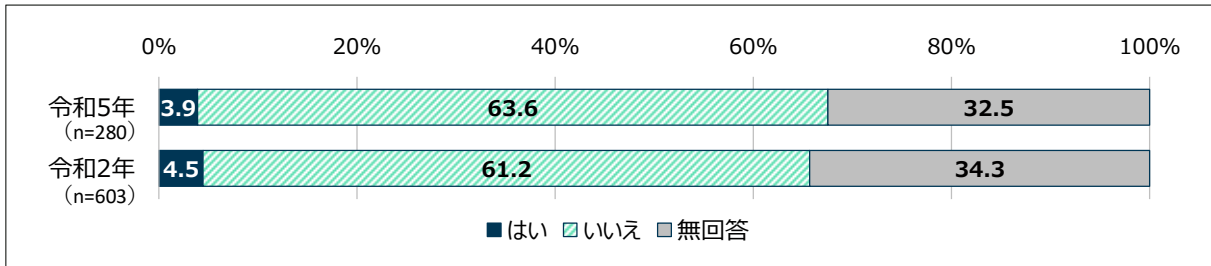
■ 今後利用したいか



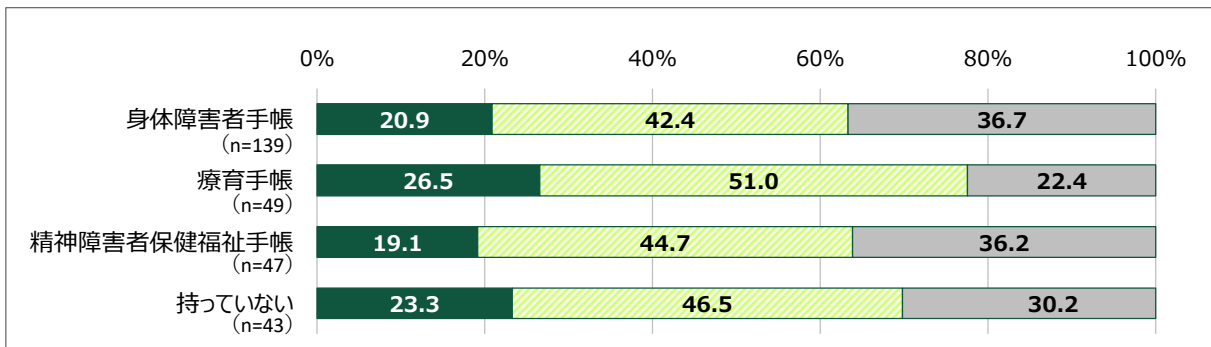
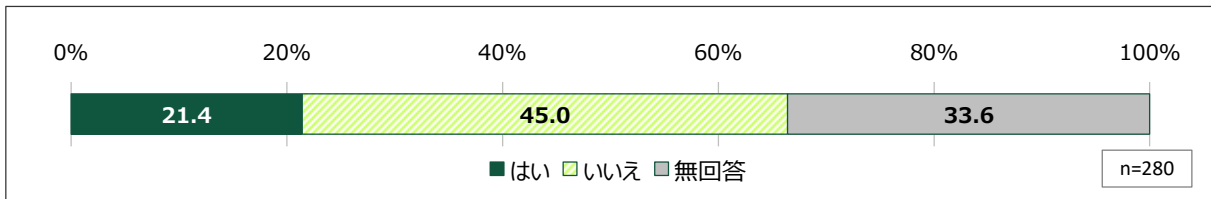
⑳ 日中一時支援

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。

■ 現在利用しているか



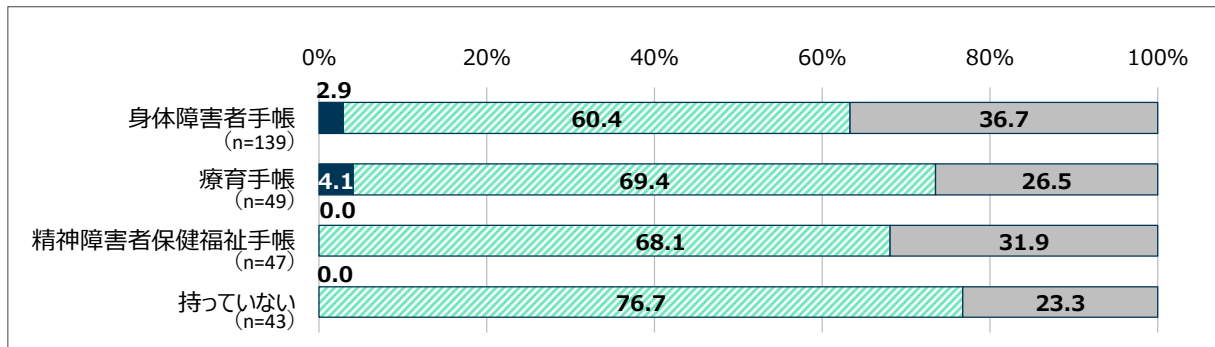
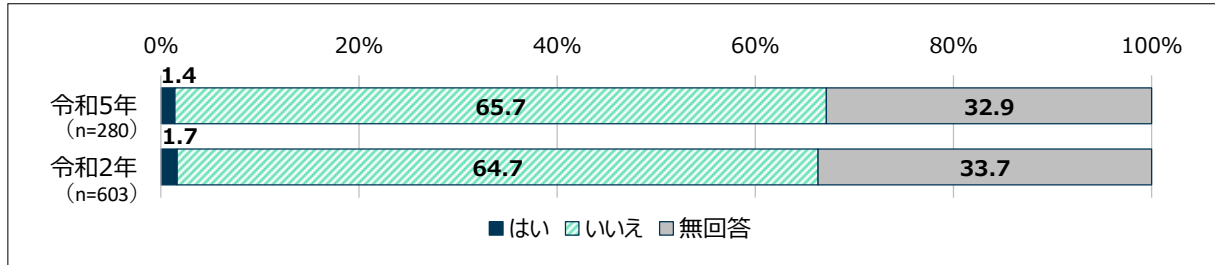
■ 今後利用したいか



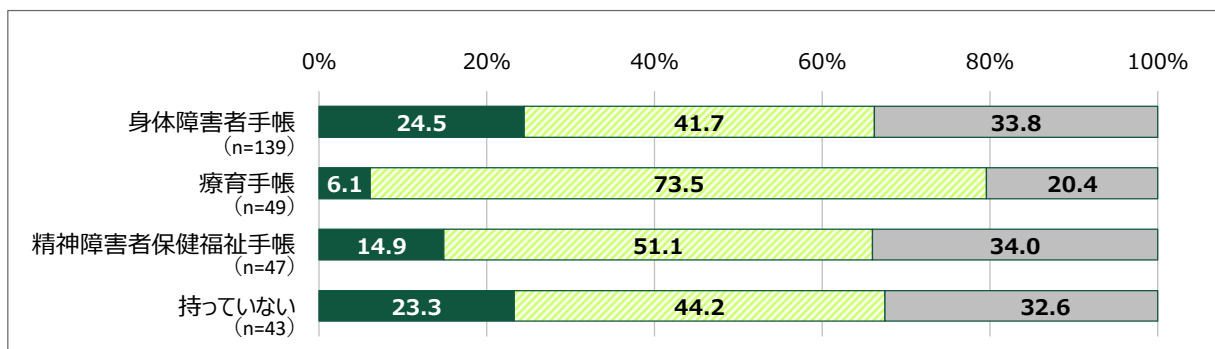
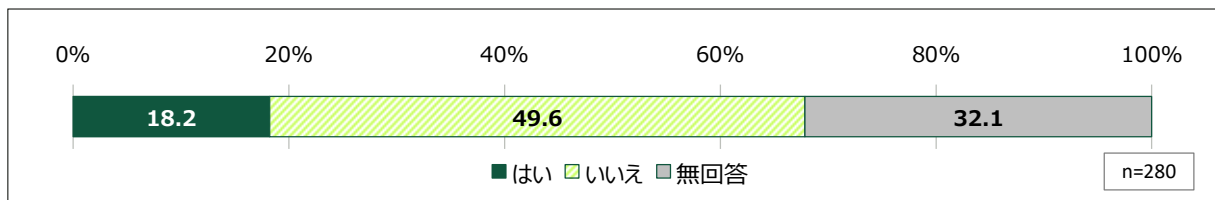
③⑩ 訪問入浴

重度心身障害者へ、訪問による入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図るサービスです。

■現在利用しているか



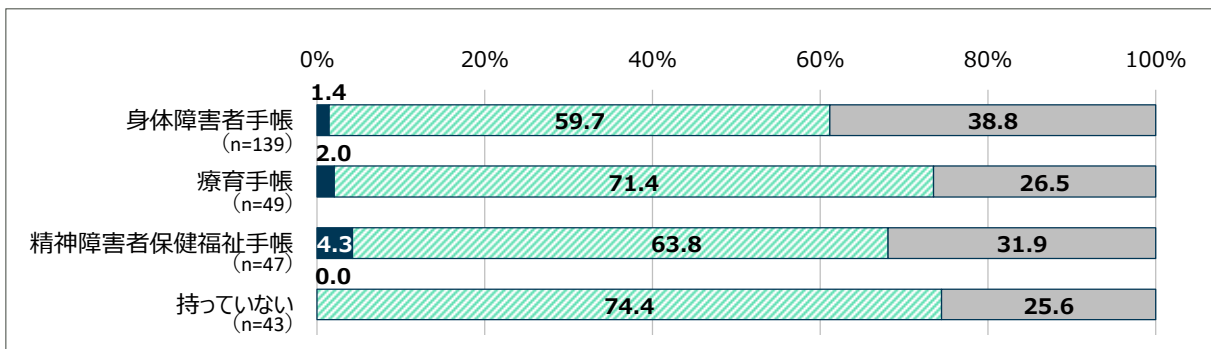
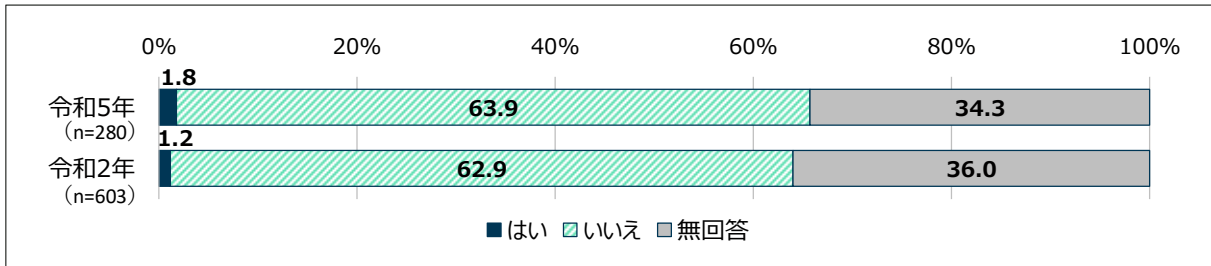
■今後利用したいか



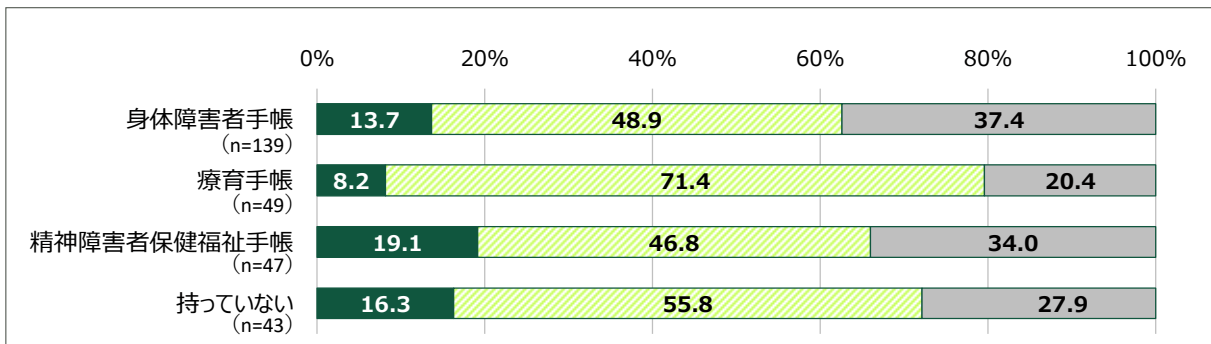
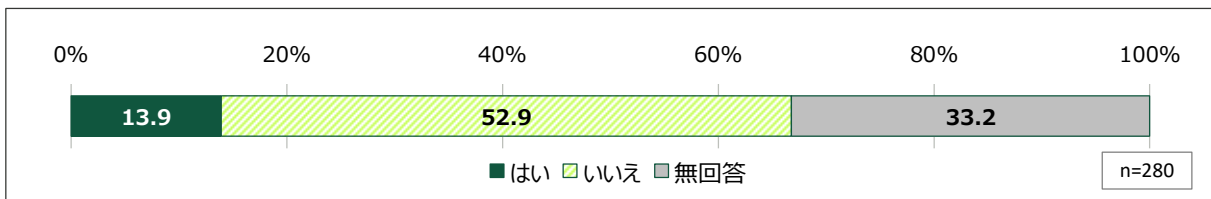
③ 自動車運転免許取得助成

運転免許証の取得に要する費用を助成します。

■ 現在利用しているか



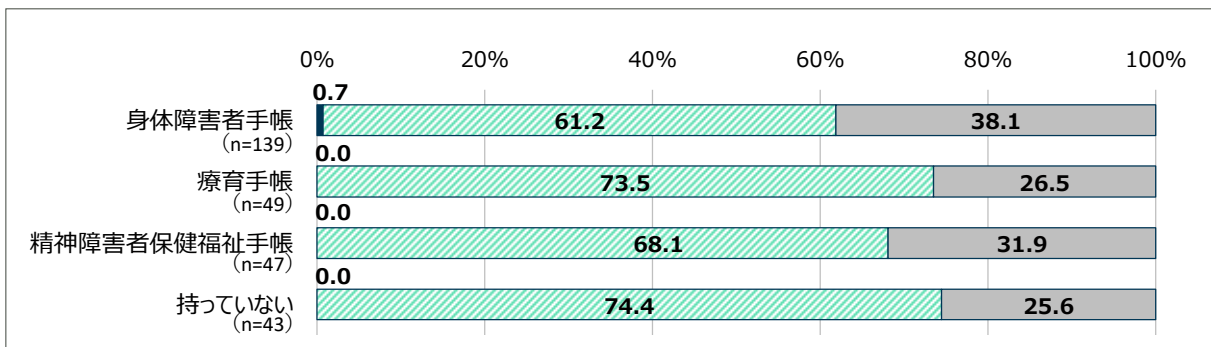
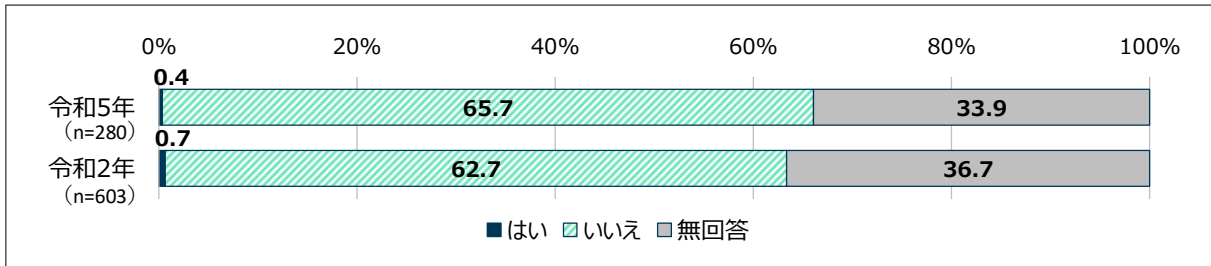
■ 今後利用したいか



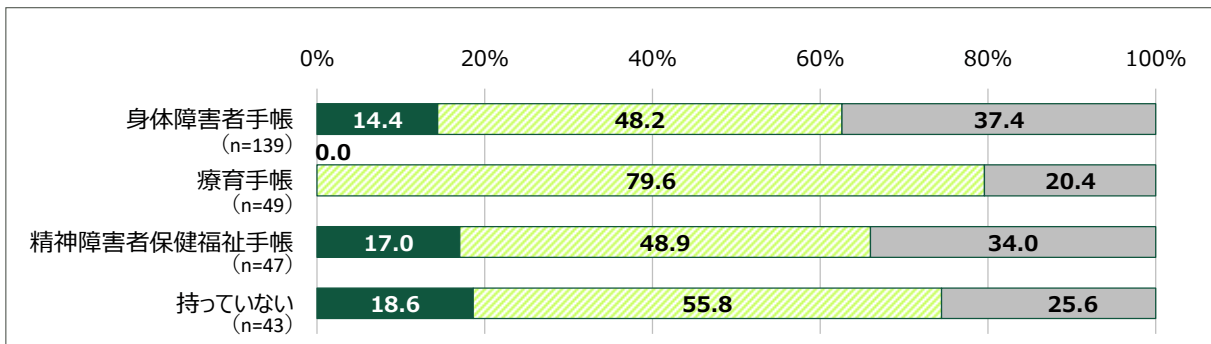
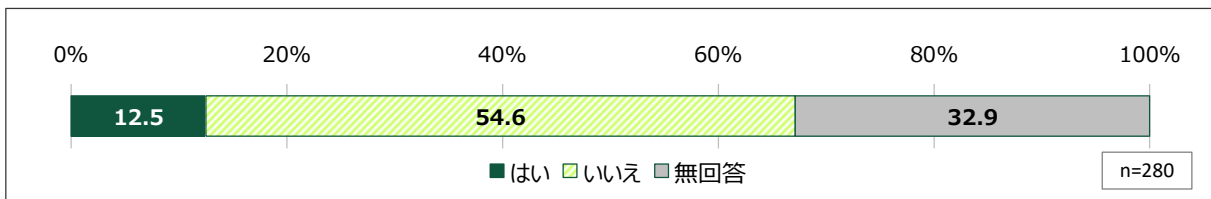
③ 身体障害者用自動車改造費助成

自らが所有し運転する自動車を改造する費用を助成します。

■ 現在利用しているか



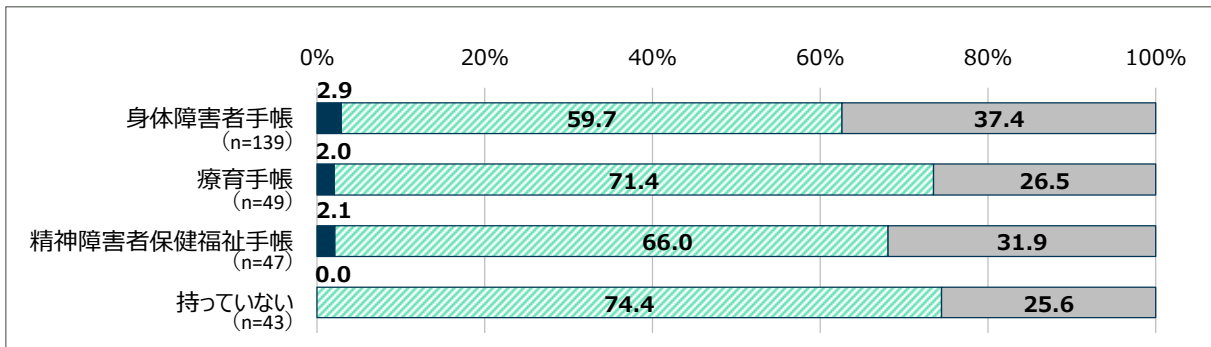
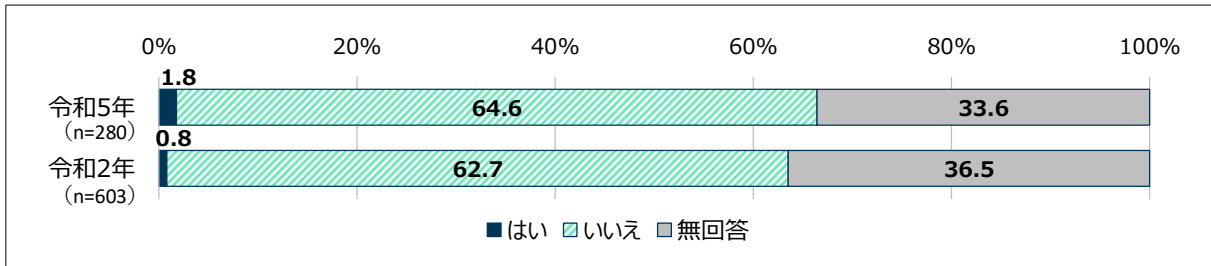
■ 今後利用したいか



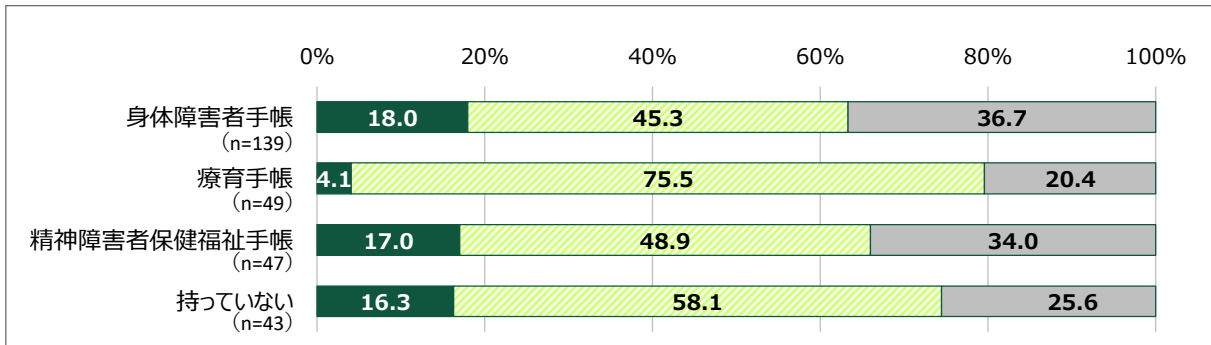
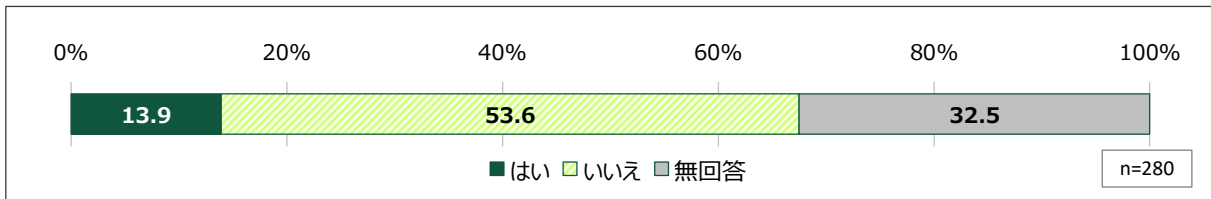
③ 身体障害者介助用自動車改造費助成

障害者の外出を容易にするために、自動車を改造する費用を助成します。

■ 現在利用しているか



■ 今後利用したいか

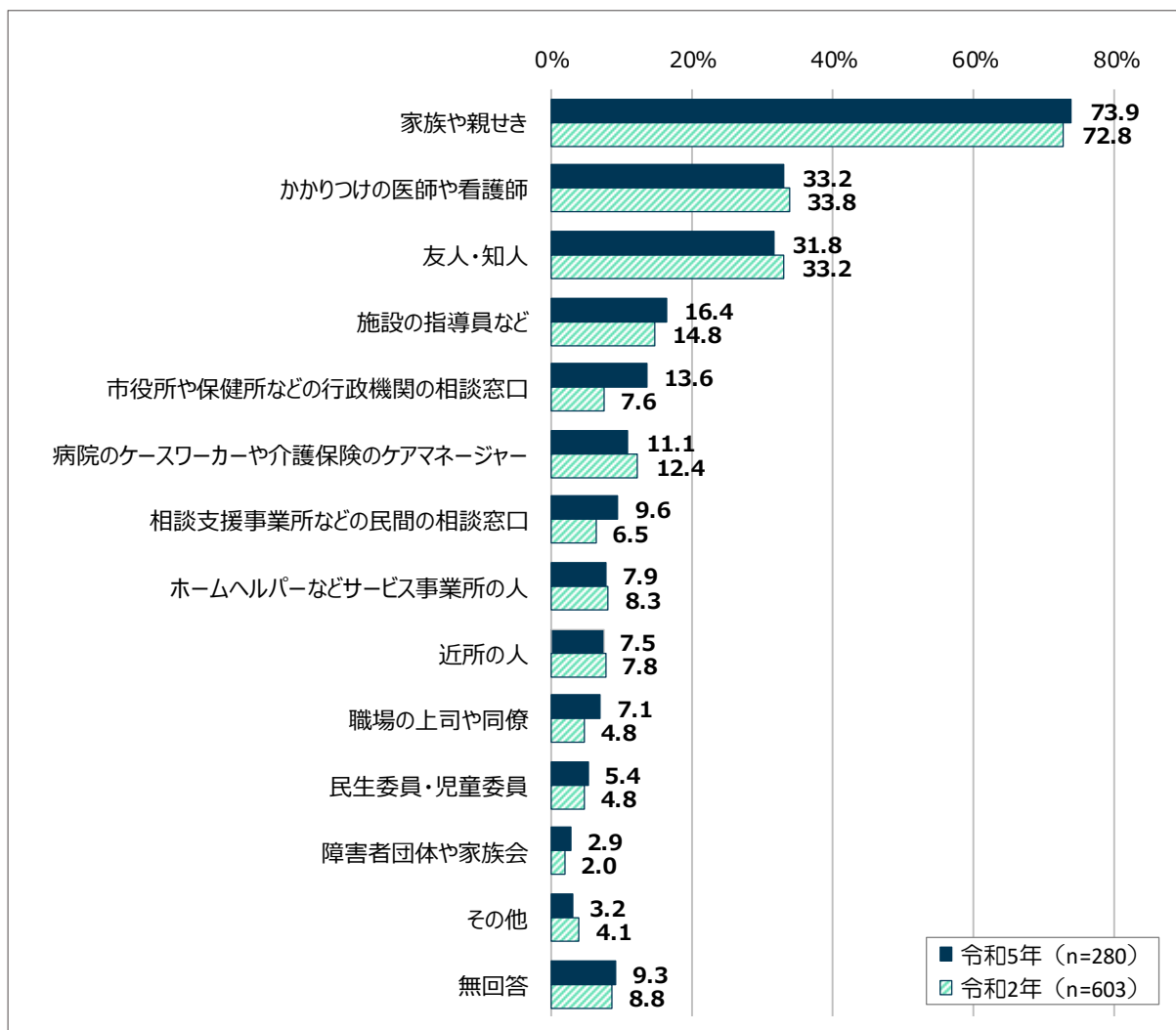


■相談相手について

問 31 相談相手

悩みや困ったことをどなたに相談しますか（複数回答）

「家族や親せき」が73.9%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が33.2%、「友人・知人が」31.8%などとなっています。

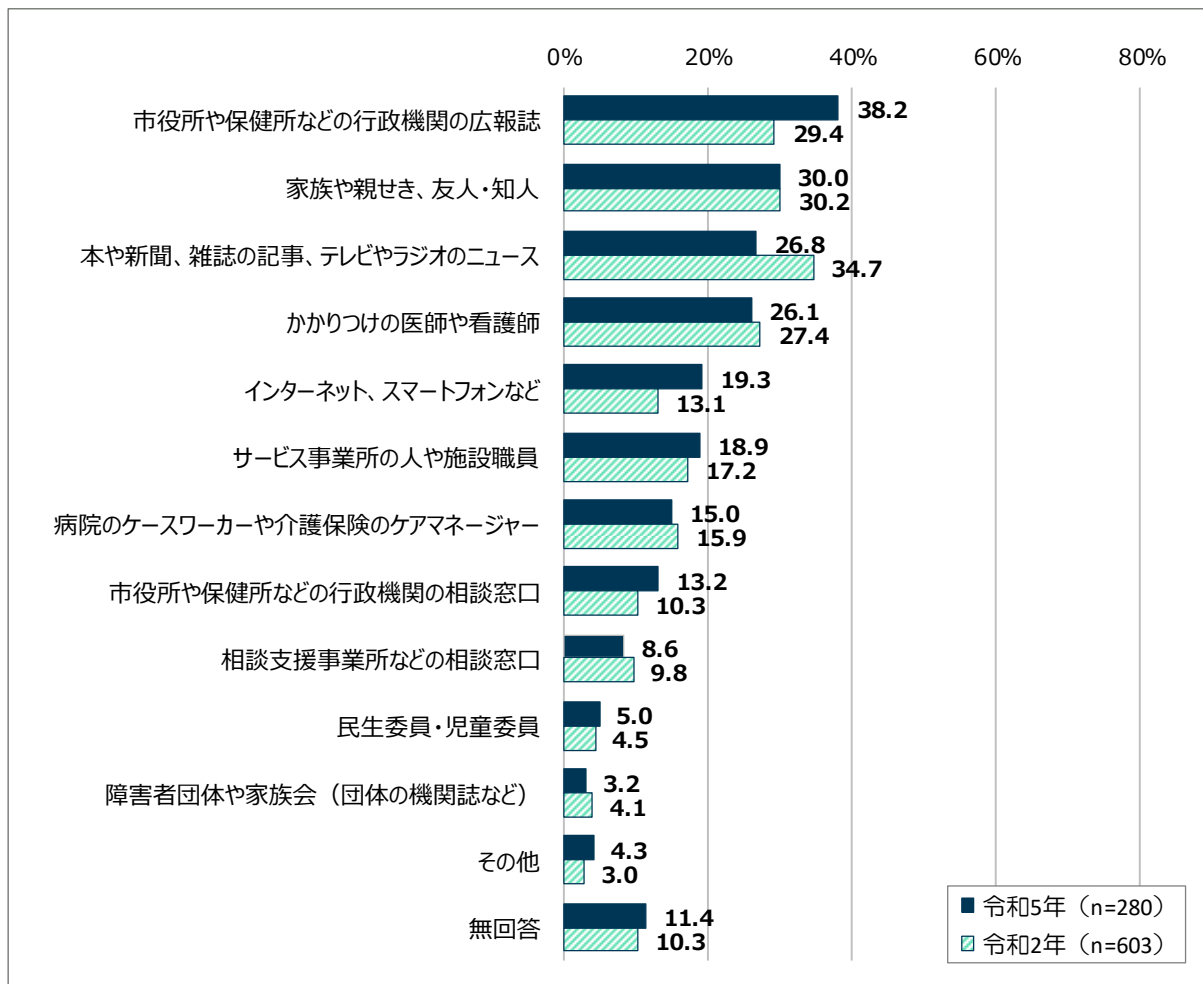


※ 令和2年の調査では「市役所や保健所などの行政機関の相談窓口」という選択肢は「行政機関の相談窓口」となっていました。

問 32 福祉サービスなどに関する情報

障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知りますか（複数回答）

「市役所や保健所などの行政機関の広報誌」が38.2%と最も高く、次いで「家族や親せき、友人・知人」が30.0%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が26.8%などとなっています。



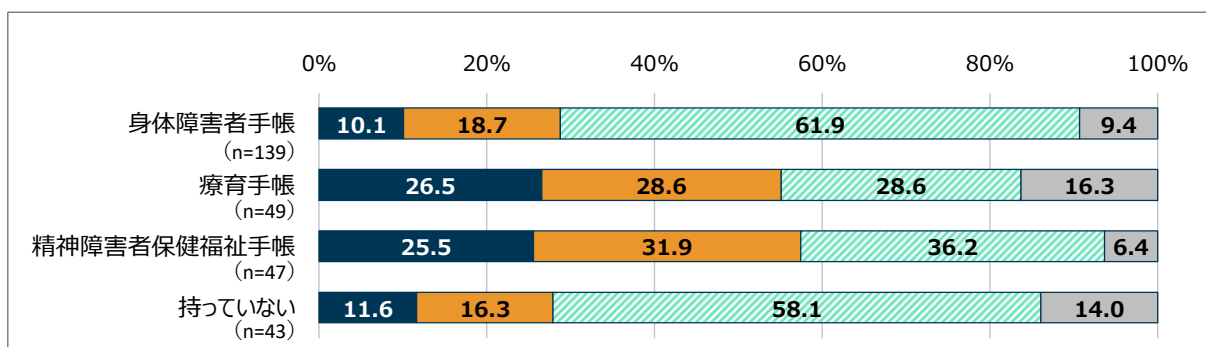
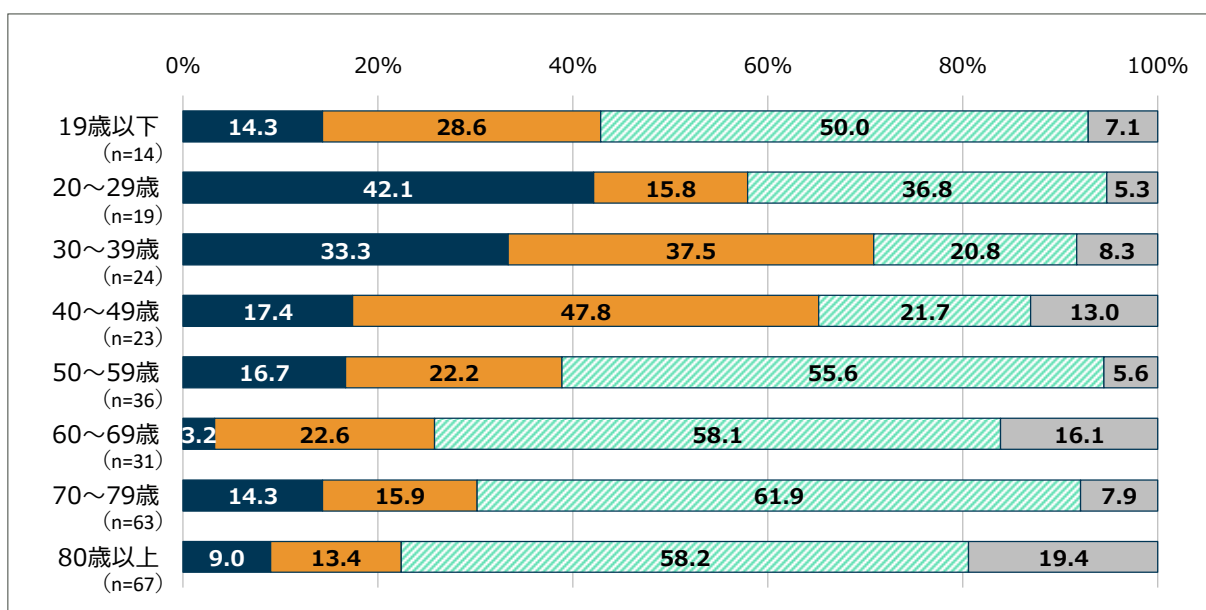
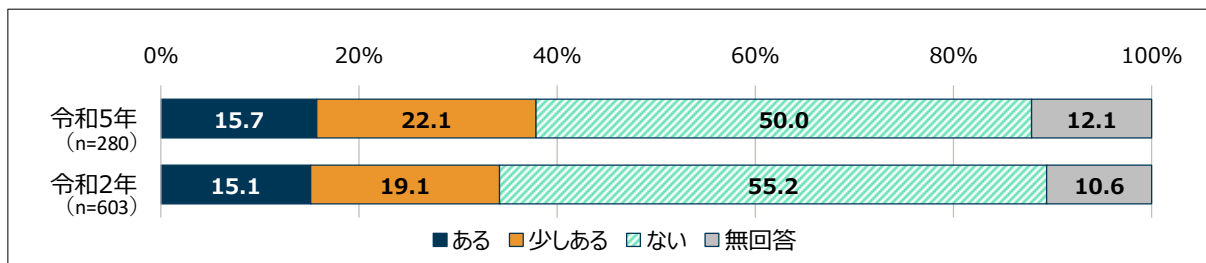
※ 令和2年の調査では「市役所や保健所などの行政機関の広報誌」という選択肢は「行政機関の広報誌」となっており、「市役所や保健所などの行政機関の相談窓口」という選択肢は「行政機関の相談窓口」となっていました。

■ 権利擁護について

問 33 障害による差別

障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか

「ある」が15.7%、「少しある」が22.1%で、合わせると37.8%となっています。

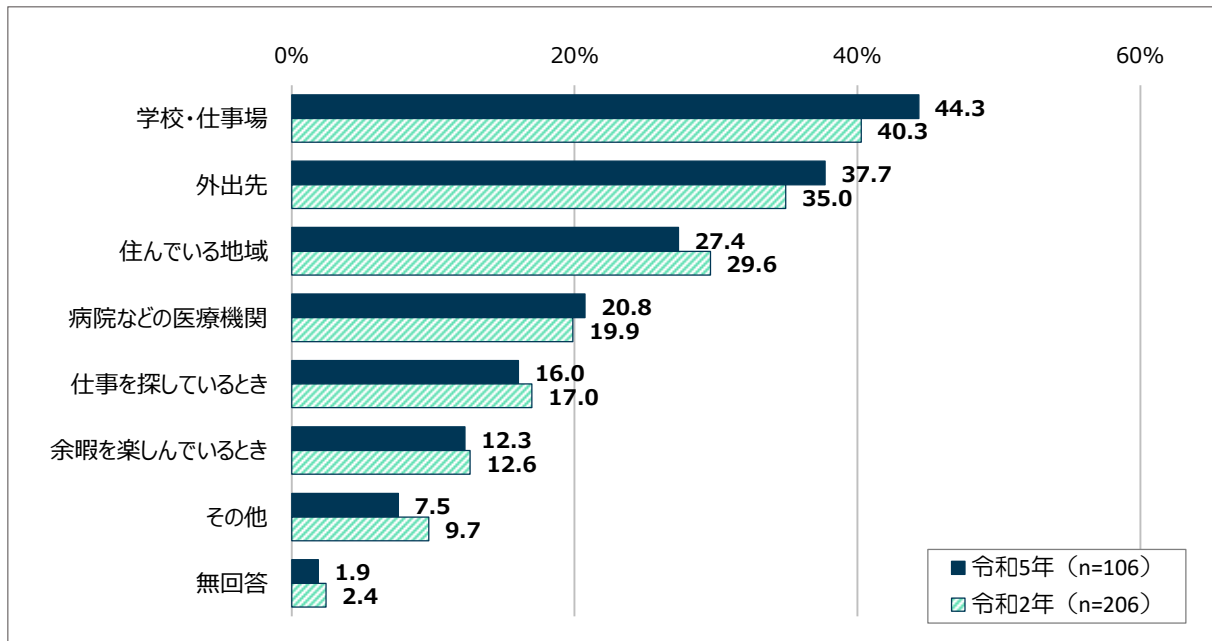


問 33 で「ある」または「少しある」と回答した方のみ

問 34 差別された場

どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか（複数回答）

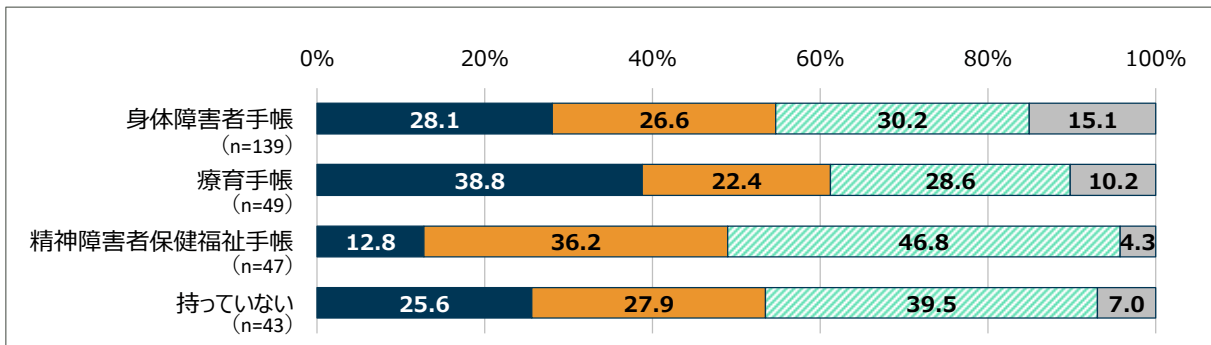
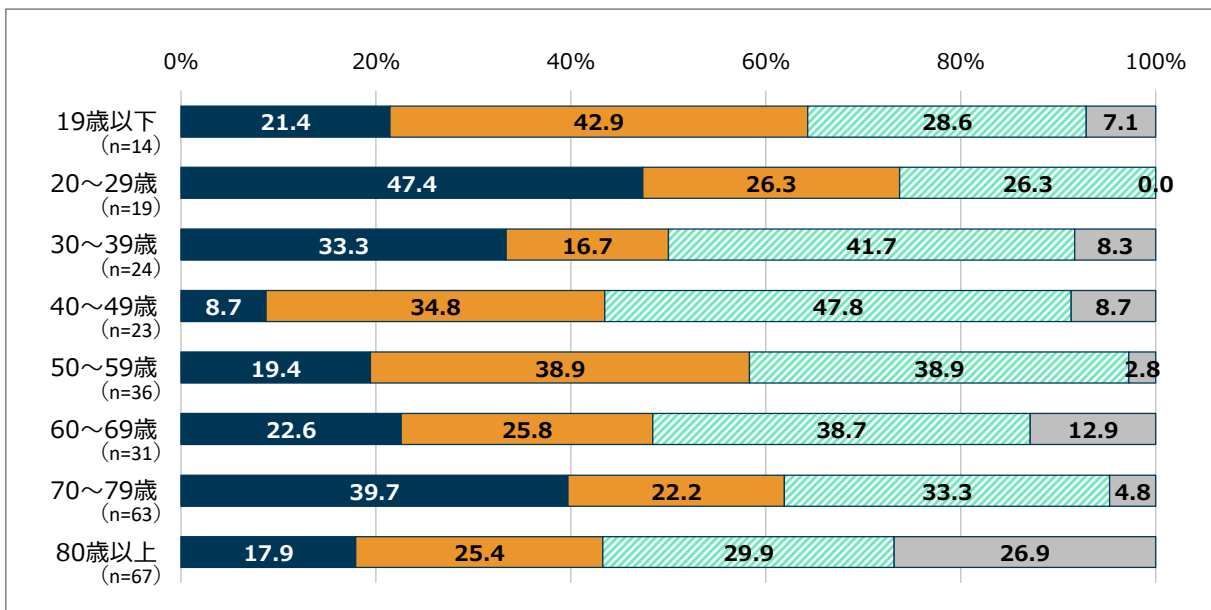
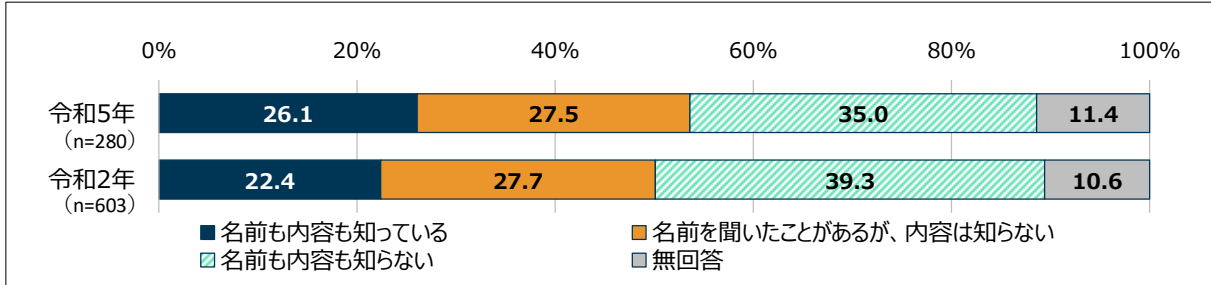
「学校・仕事場」が44.3%と最も高く、次いで「外出先」が37.7%、「住んでいる地域」が27.4%などとなっています。



問 35 成年後見制度の認知度

成年後見制度についてご存じですか

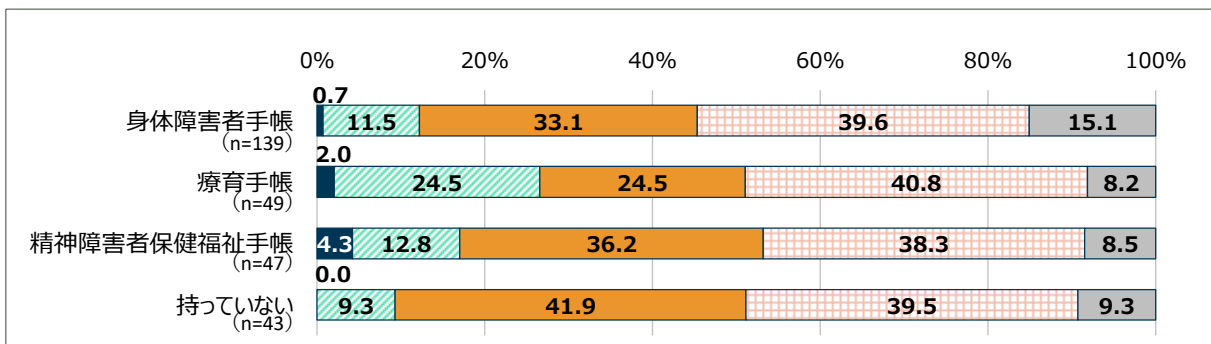
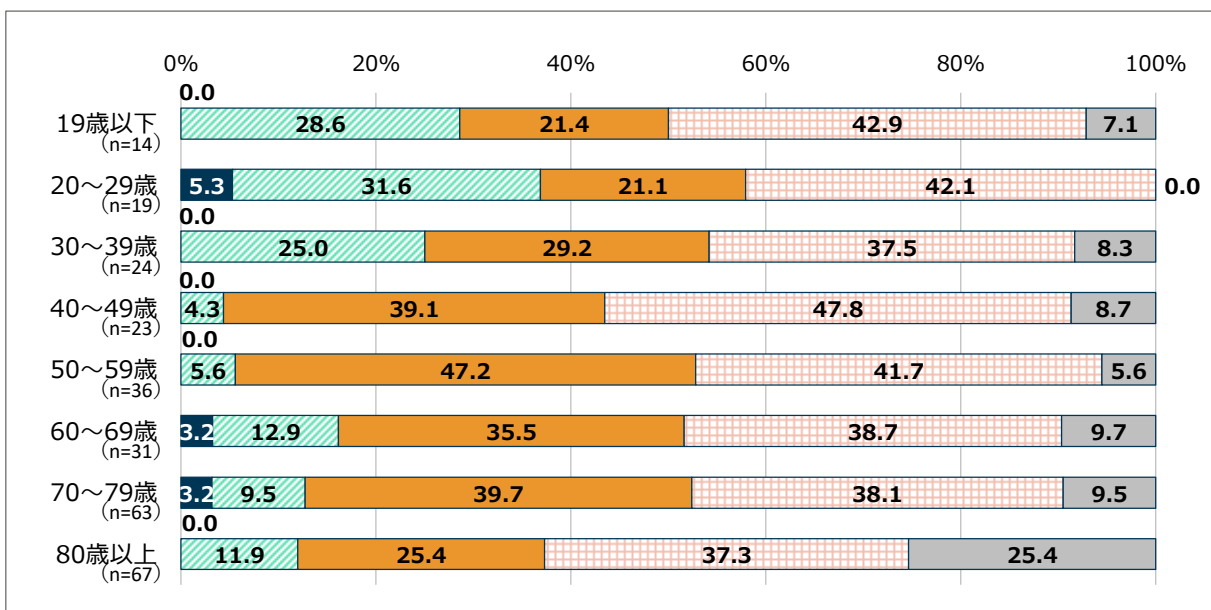
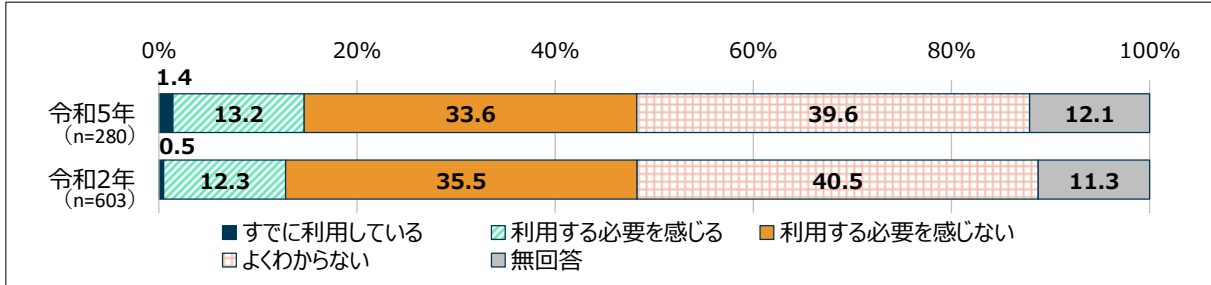
「名前も内容も知っている」は26.1%で、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が27.5%、「名前も内容も知らない」が35.0%となっています。



問 36 成年後見制度の利用について

あなたやあなたの支援者は成年後見制度を利用する必要を感じますか

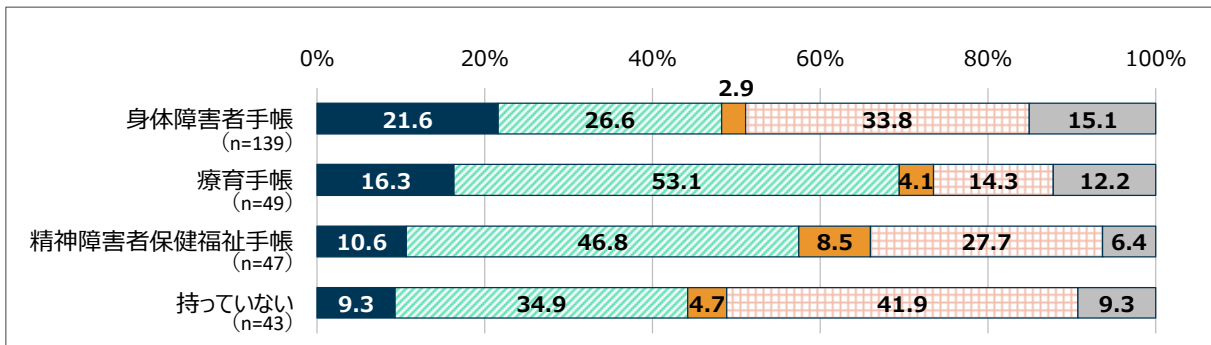
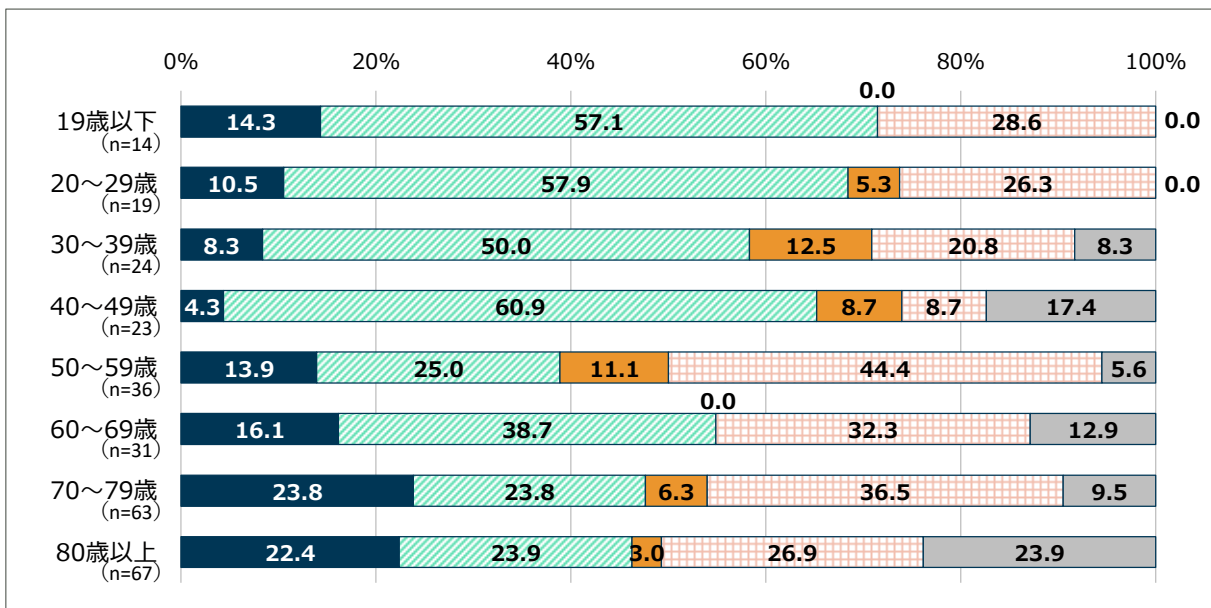
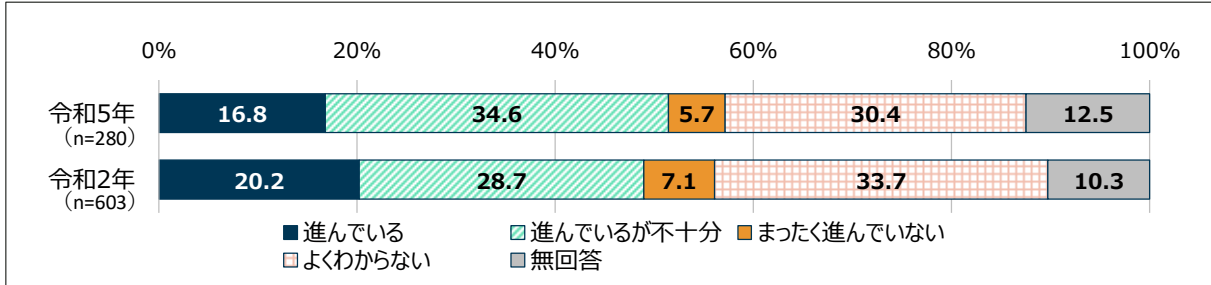
「すでに利用している」は1.4%となっています。「利用する必要がある」は13.2%、「利用する必要を感じない」は33.6%で、「よくわからない」が39.6%などとなっています。



問 37 障害に対する周囲の理解

障害に対する周囲の人の理解が進んでいると思いますか

「進んでいる」が 16.8%、「進んでいるが不十分」が 34.6%、「まったく進んでいない」が 5.7% などとなっています。

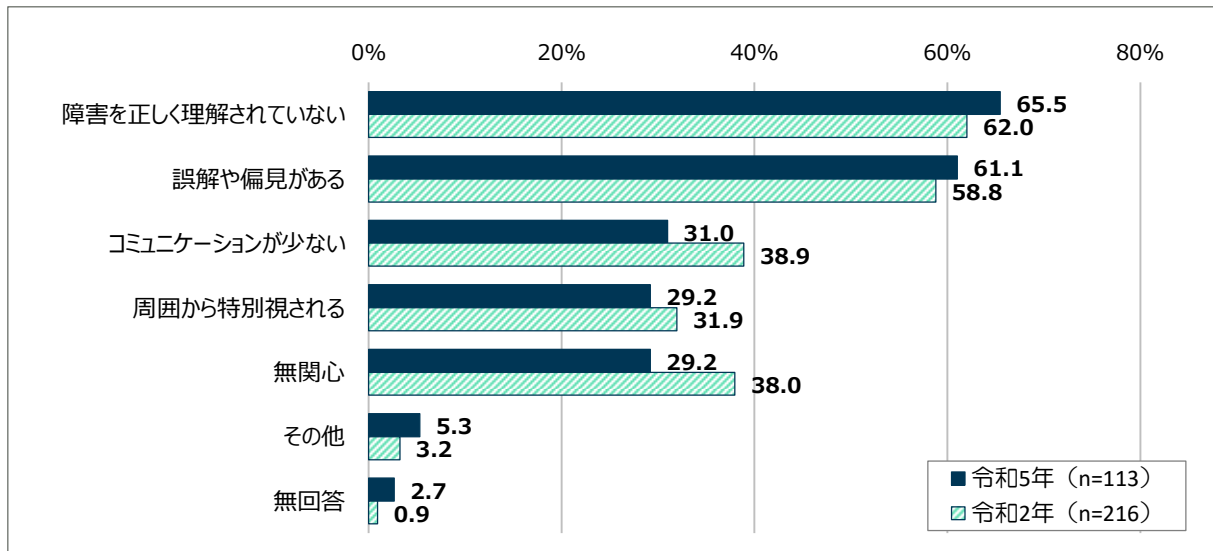


問 37 で「進んでいるが不十分」または「まったく進んでいない」と回答した方のみ

問 38 理解が進んでいないと思う理由

そう思われる理由は何ですか（複数回答）

「障害を正しく理解されていない」が 65.5%、「誤解や偏見がある」が 61.1%などとなっています。

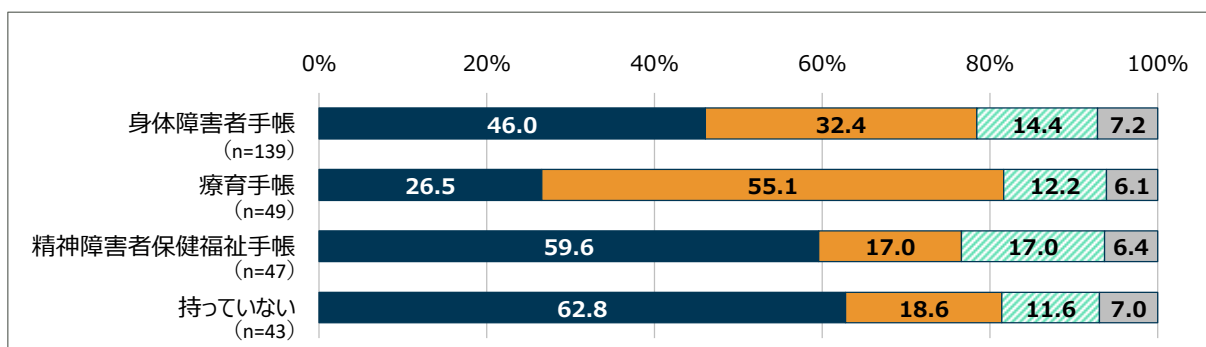
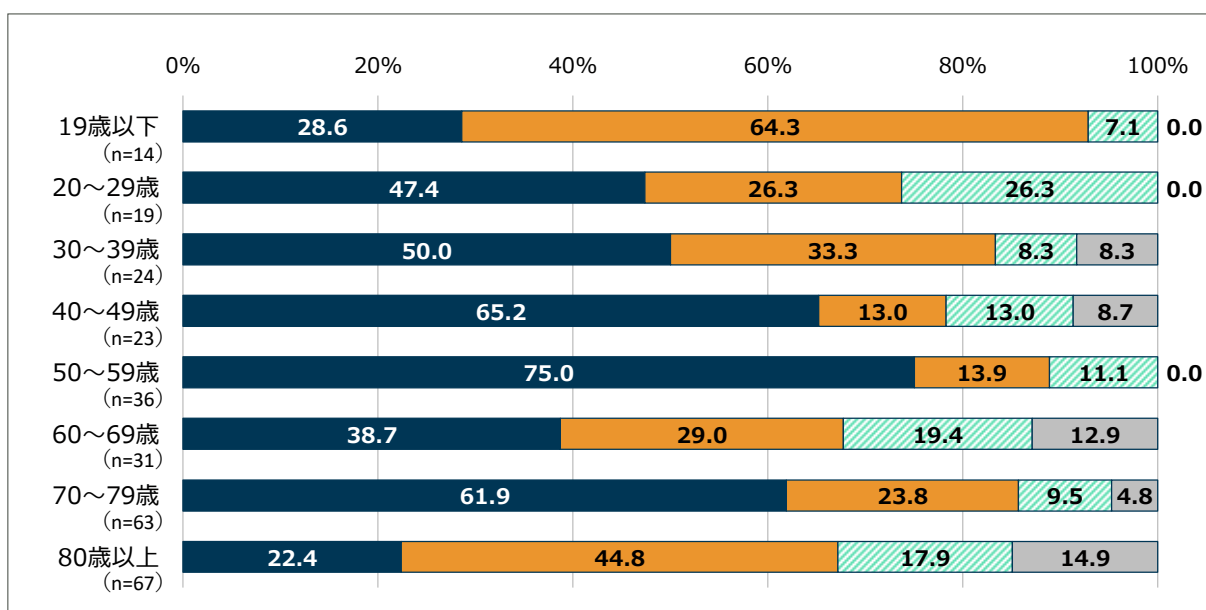
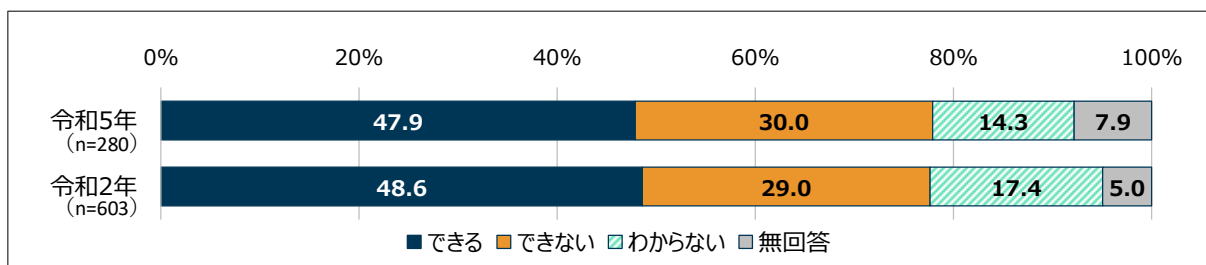


■災害時の避難等について

問 39 一人で避難できるか

火事や地震等の災害時に一人で避難できますか

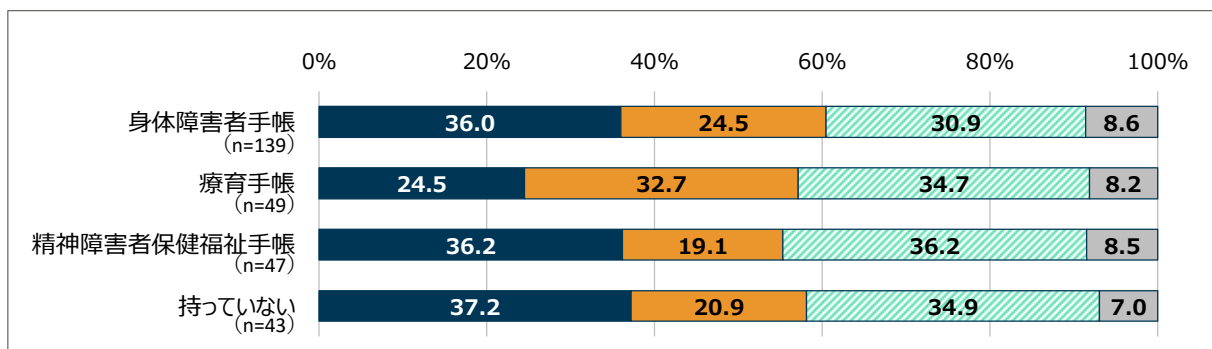
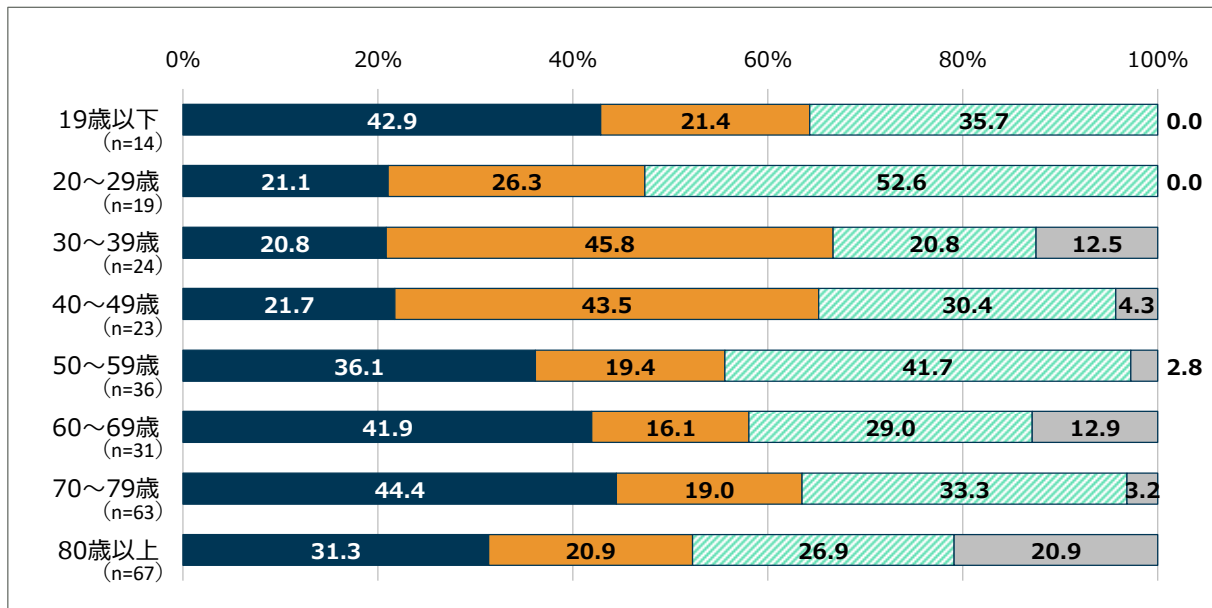
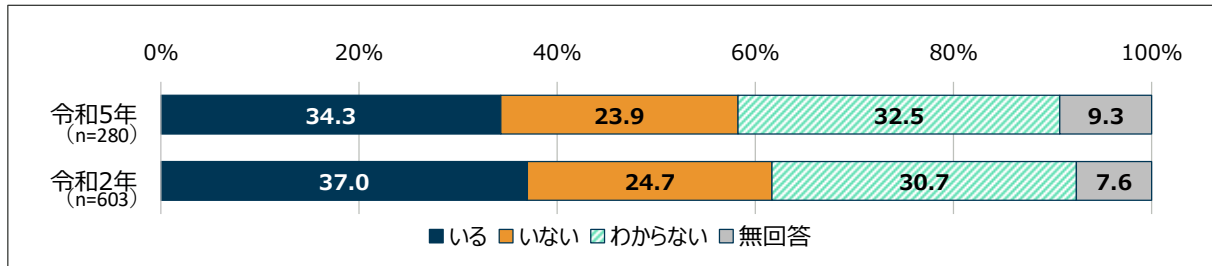
「できる」が47.9%、「できない」が30.0%となっています。



問 40 助けてくれる人の有無

家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか

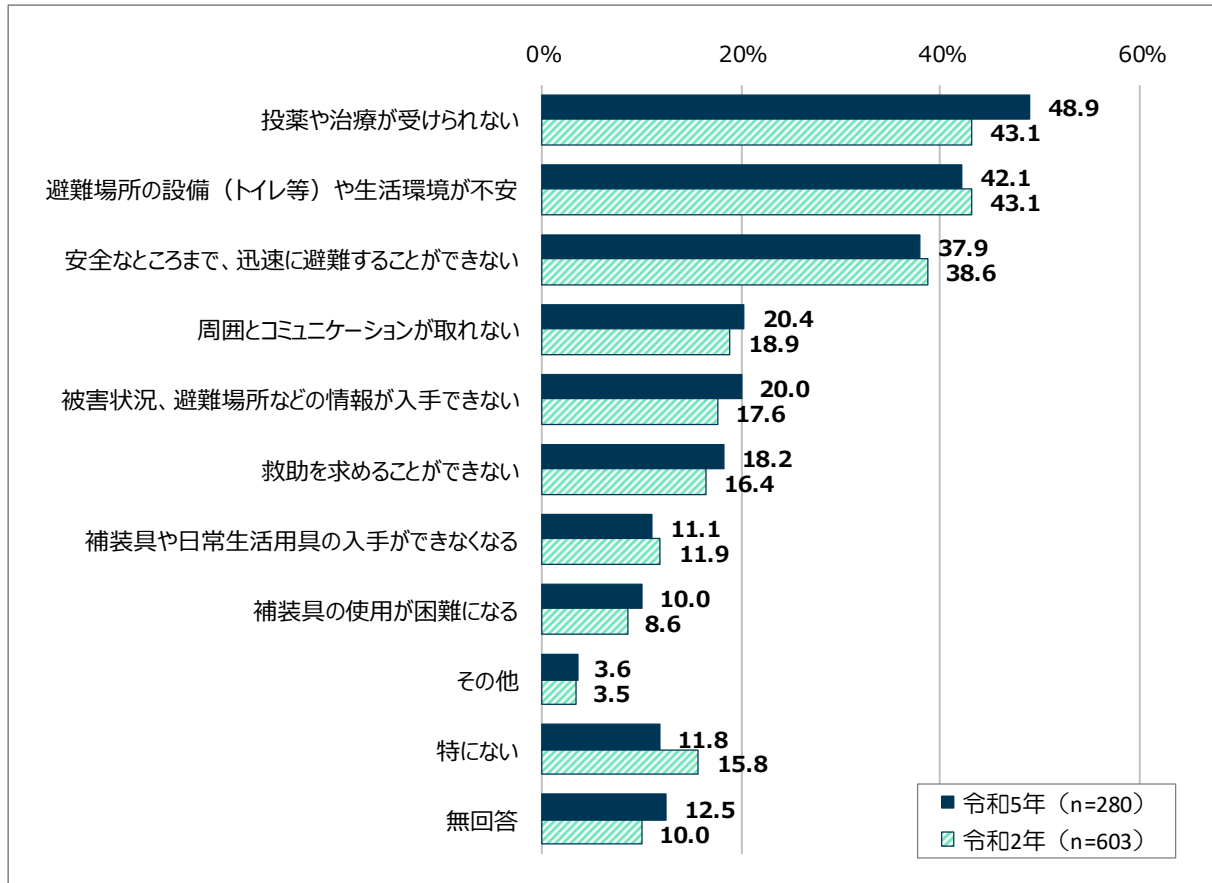
「いる」が34.3%、「いない」が23.9%となっています。



問 41 災害時に困ること

火事や地震等の災害時に困ることは何ですか（複数回答）

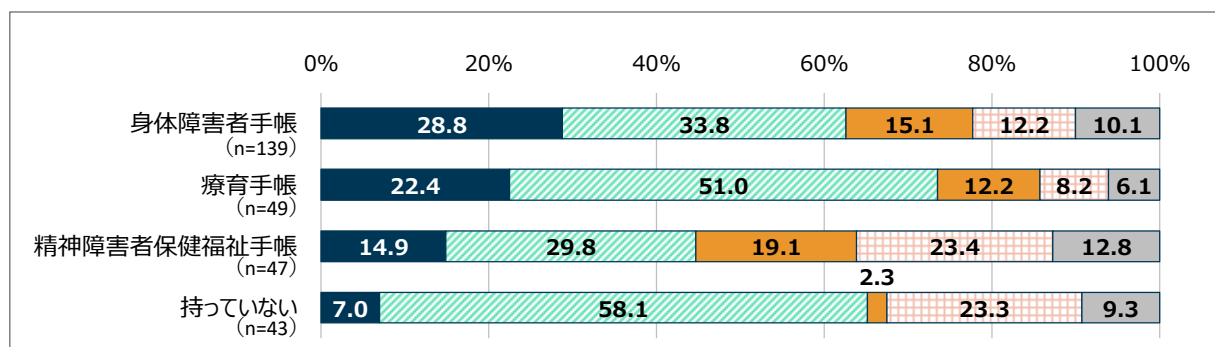
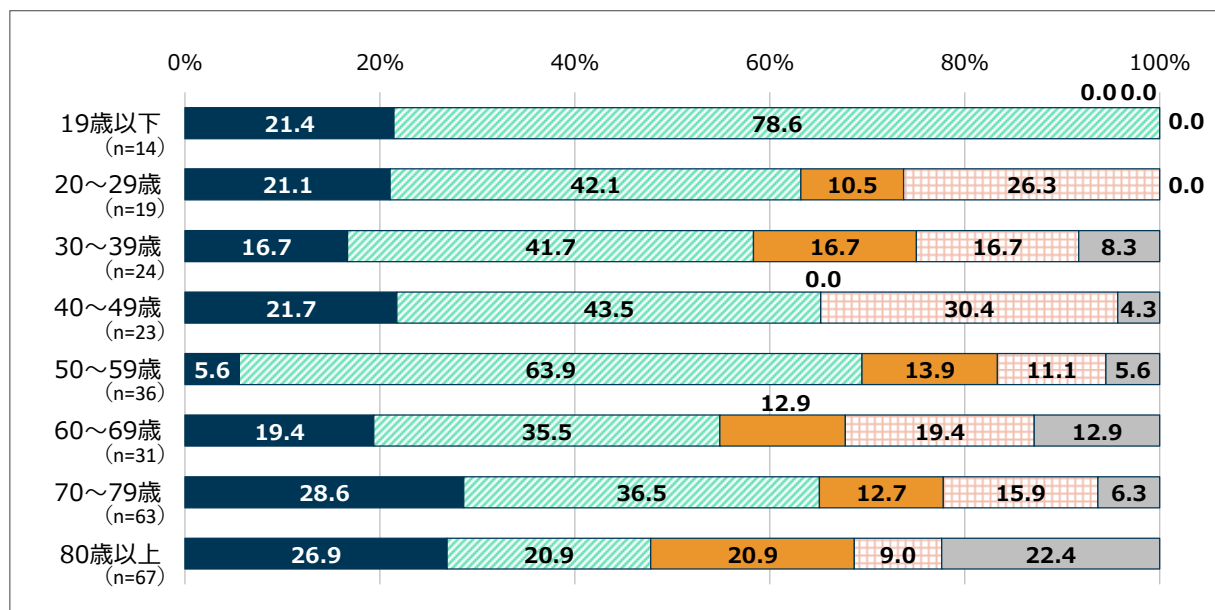
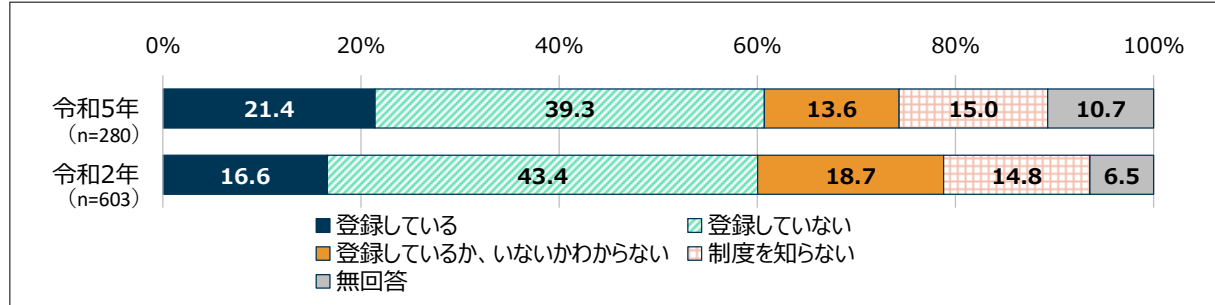
「投薬や治療が受けられない」が48.9%と最も高く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が42.1%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が37.9%などとなっています。



問 42 災害時避難行動要支援者名簿

災害時避難行動要支援者名簿に登録していますか

「登録している」が21.4%、「登録していない」が39.3%となっています。一方で「制度を知らない」が15.0%などとなっています。

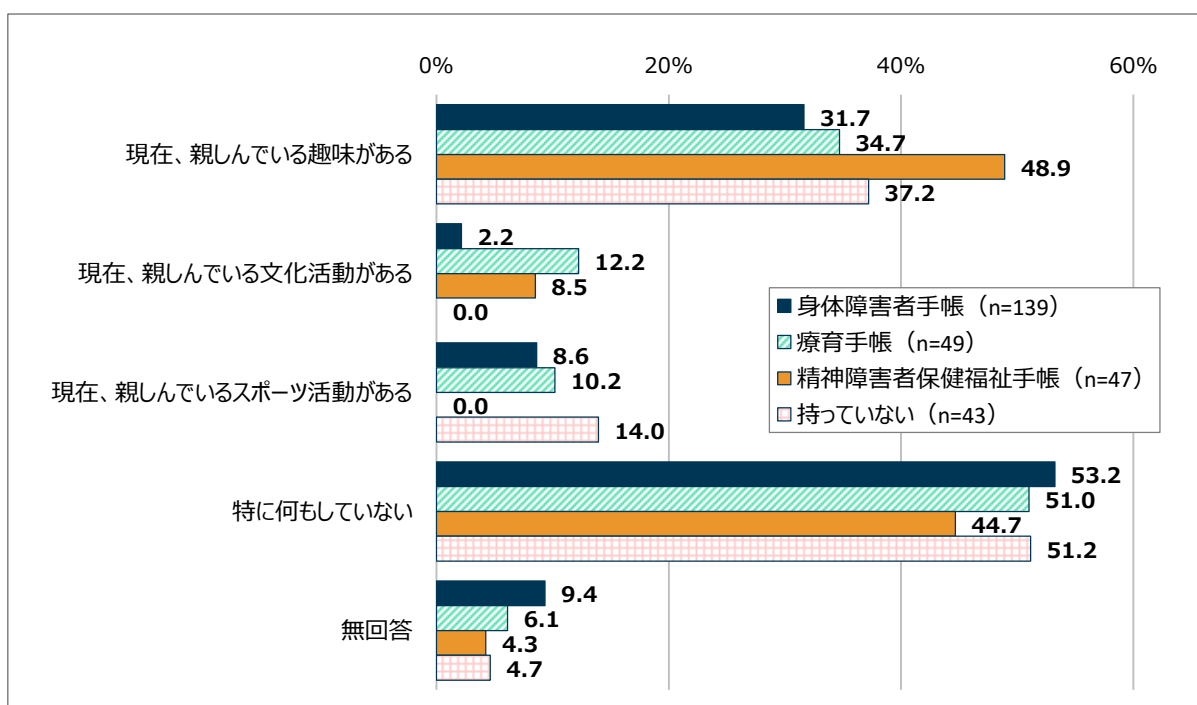
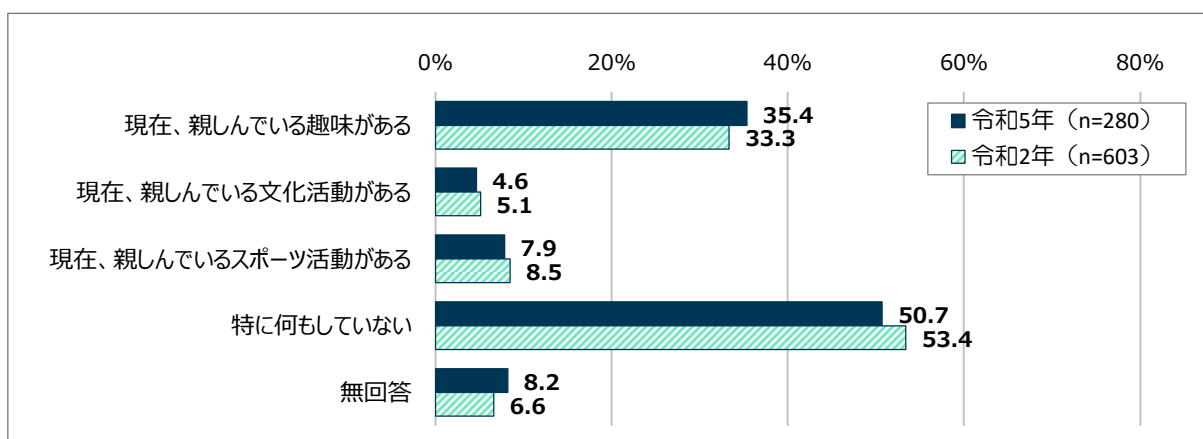


■ 趣味や余暇の過ごし方

問 43 趣味や文化・スポーツ活動

趣味や文化・スポーツに親しんでいますか（複数回答）

「現在、親しんでいる趣味がある」が35.4%、「現在、親しんでいる文化活動がある」が4.6%、「現在、親しんでいるスポーツ活動がある」が7.9%などとなっていますが、「特に何もしていない」が50.7%と最も高くなっています。

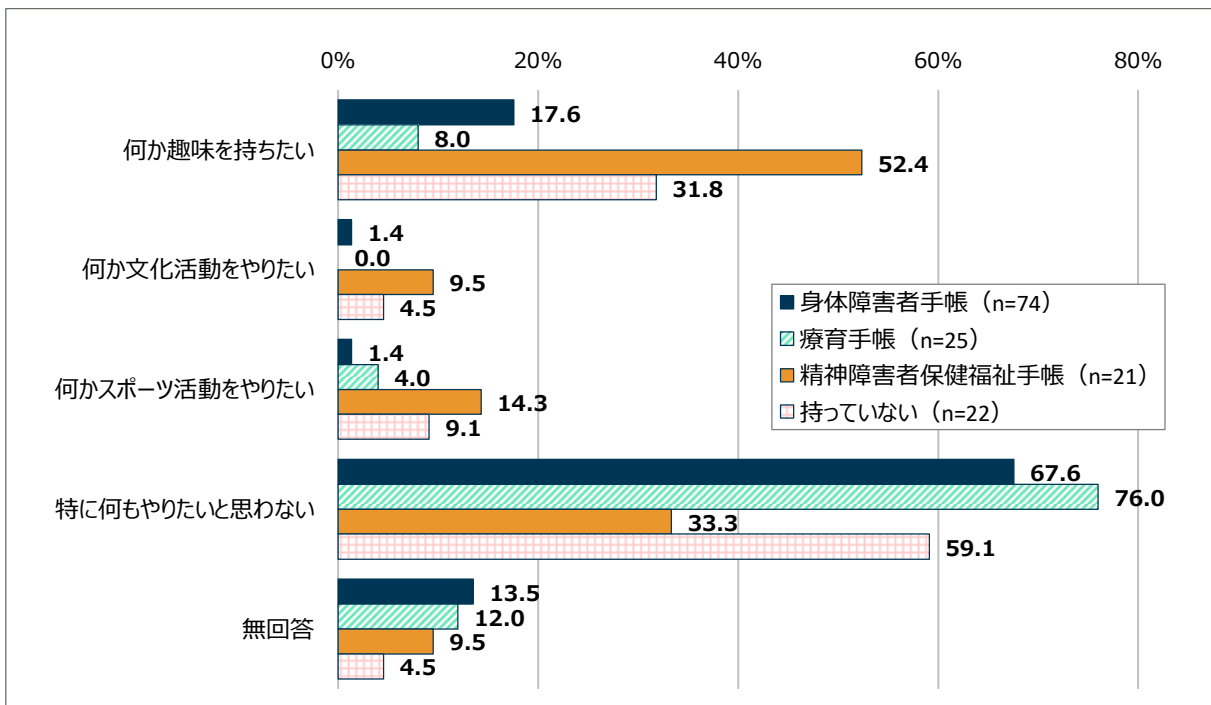
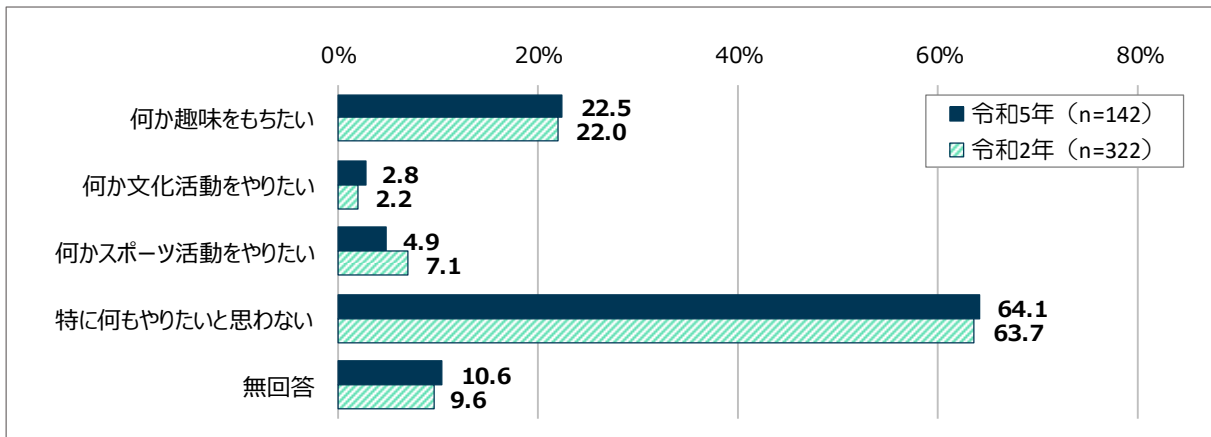


問 43 で「特に何もしていない」と回答した方のみ

問 44 やってみたいと思うこと

何かやってみたいと思うことがありますか（複数回答）

「何か趣味をもちたい」が 22.5%、「何か文化活動をやりたい」が 2.8%、「何かスポーツ活動をやりたい」が 4.9%となっていますが、「特に何もやりたくないと思わない」が 64.1%と最も高くなっています。

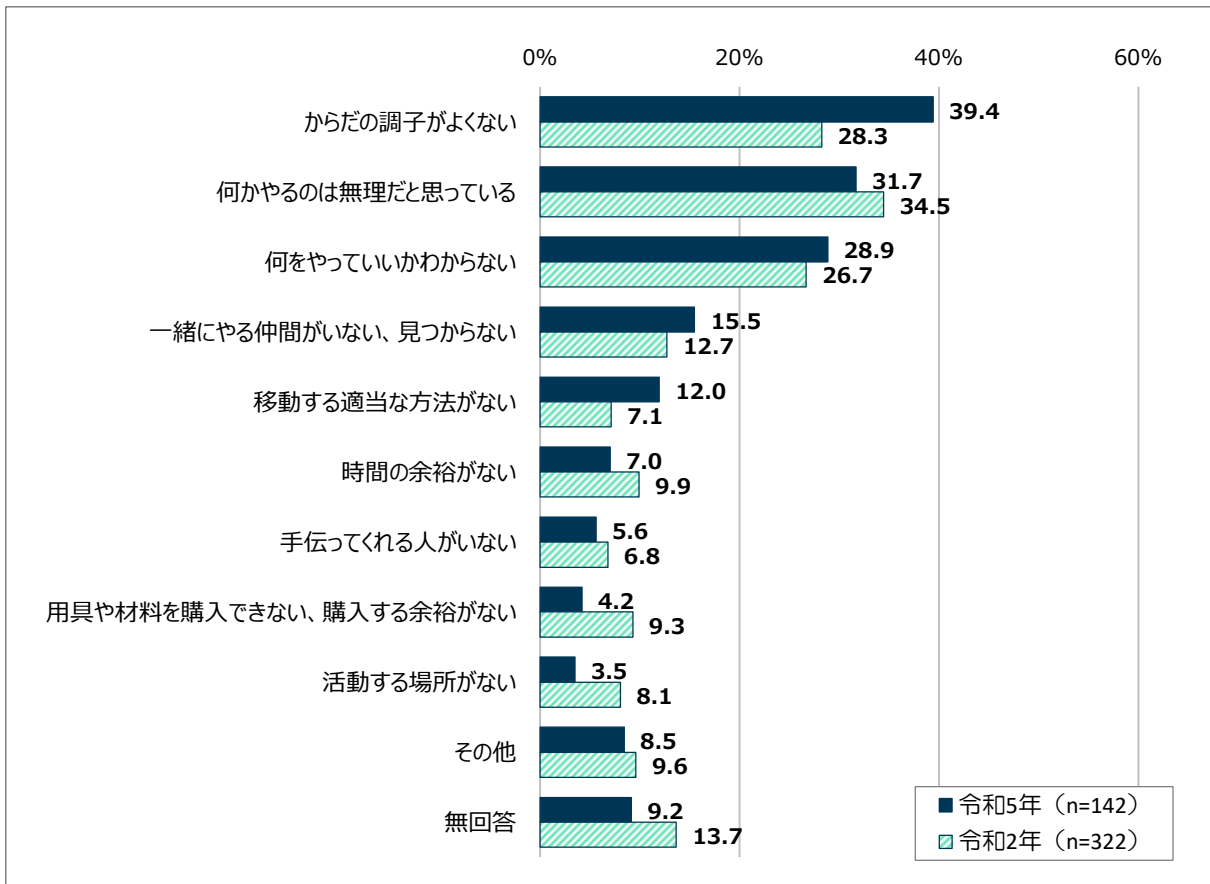


問 43 で「特に何もしていない」と回答した方のみ

問 45 できない理由

今すぐできない理由はありますか（複数回答）

「からだの調子がよくない」が 39.4%と最も高く、次いで「何かやるのは無理だと思っている」が 31.7%、「何をやっていいかわからない」が 28.9%などとなっています。



※ 令和2年の調査では「活動する場所がない」という選択肢は「やれる場所がない」となっていました。

■ 調査結果のまとめ

主な介助者について

主な介助者は、身体障害者手帳の所持者では「子ども」「配偶者」の割合が高くなっています。療育手帳の所持者は「父母・祖父母・兄弟」の割合が最も高く、65.0%となっています。精神障害者健康福祉手帳の所持者は「父母・祖父母・兄弟」「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が高くなっています。

平日の日中の過ごし方について

平日の過ごし方については、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が18.2%で、令和2年の前回調査より4.4ポイント低くなっています。一方で「福祉施設、通所の事業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」は前回調査より4.7ポイント高い15.0%となっています。「自宅で過ごしている」が42.9%と最も高くなっています。

就労について

主な収入について、「給料・賃金（工賃）」が27.5%、「自営業の収入・家の手伝い」が2.9%で、合わせると30.4%となっています。

現在「会社勤めや、自営業、家業などの収入を得て仕事をしている」以外の方の、今後の就労希望は23.1%で、年齢が若いほどその割合が高い傾向がみられます。

職業訓練などを受けることについての希望は、全体では11.4%となっていますが、60歳以下で「受けたい」割合が高くなっています。

就労支援で必要だと思うことについては、「職場の障害者理解」が最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障害の理解があること」となっていますが、具体的な支援としては「通勤手段の確保」、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」の割合が30%以上となっています。

福祉サービスについて

福祉サービスについては、すべてのサービスで「現在、利用している割合」より「今後、利用したい割合」のほうが高くなっています。

障害福祉サービスで最も利用を希望する割合が高いのは「短期入所（ショートステイ）」で、26.1%となっています。次いで「居宅介護（ホームヘルパー）」「施設入所支援」「生活介護」「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」が20%以上となっています。

障害児福祉サービスで最も利用を希望する割合が高いのは「放課後等デイサービス」で61.5%、次いで「児童発達支援（通所型）」が38.5%となっています。

地域生活支援事業などで最も利用を希望する割合が高いのは「相談支援」で、32.5%となっています。次いで「補装具」「住宅改修費給付」「日常生活用具給付または貸与」「移動支援」「日中一時支援」が20%以上となっています。

相談先について

悩みや困りごとの相談先は、身近な相談相手である「家族や親せき」が最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」「友人・知人」となっています。

災害時の避難について

火事や地震等の災害時に一人で避難できるかについて、「できない」が30.0%、「わからない」が14.3%となっていることから、災害時の一人での避難について不安を抱く方が多いと考えられます。

■ 自由意見

障害福祉サービスや行政の取り組みについて、
ご意見がありましたら自由にご記入ください

いただいた自由意見を主な内容別にまとめました（順不同）。

福祉サービスについて

- 自閉症（重い知的障害を伴う）の方が住めるグループホームがほしい。市内の施設も対応できないようです。グループホームに関しては体験すら難しい状況です。親亡き後のためにも練習したくても支援できないようです（ただの見守り）。重度訪問介護もできるならと思いますが、魚沼市ではハードルが高すぎる気がしています。親は歳をとるばかり...どうしたらいいのでしょうか。同じような思いの方は少なくありません。市の方と話せる場がほしいです。【小出地域、20代】
- 市民福祉部支援課の方は、よくやってくれていると思います。要介護2では何もできない。病院に出かけるにもタクシー、院内は車いす、「これで要介護2か」と言われたこともあります。よくなることの少ないリュウマチ等は年々悪くなるばかりなのに、何かやりたいと思ってもできない歯がゆさにストレスがたまります。これも私の人生かと。夜4回位尿意あり、パッドパンツもお金がかかります。できることなら年1回くらい進行度をみてもらいたい。残り少ない人生気楽に生きたいもので。【小出地域、80代】
- 小学1年生の発達障害児を持つ母です。現在フルタイムで働いています。学童では本人が不穏になり長時間の利用が難しいため、放課後デイサービスを利用していますが、希望の日に満員で利用できなかつたり、学校が長期休みの時期は16時までしか利用できなかつたりと、フルタイムで働くには安心して預けられる所がなくとても困っています。【堀之内地域、10歳未満】
- 病気（ストマ）になって10年が過ぎました。その間市から給付をいただいています。年金生活ですので助かります。お願いがありますが、ストマの品物もいろいろありますが、現在限定になっている品物のほかにも、差額を支払って利用できるようによろしくお願いします。【小出地域、70代】
- 現在ケアマネジャーの方が、いろいろ心配してくださって、適当な介護面のサービスを計画していただきありがたいと思っております。本人の気持ちが色々変化しますので、無理なこともあり、申し訳なく思うこともしばしばですが、よくしていただいております。病状が悪くなれば今以上のサービスを利用しなければなりませんので、その時はまたお願いいたします。【広神地域、70代】
- 医療費の半額返ってくるのはすごいですね。【広神地域、40代】
- 姉が一人暮らしになって1年たちますが、市民福祉部の方に大変世話になりとても喜んでます。去年はよく来て、親切にいただき安心していました。近く養護老人ホーム南山荘に行くことが決まり安心してます。【小出地域、80代】
- 障害のある子を育てていくのは魚沼市では限界があると思います。雪の多い土地で、なぜ近くにリハビリや療育が受けられるところがこんなに少ないのですか。このままでは十分な療育を受けられず、伸びる可能性のあるところがつぶれてしまう。助けてくれと毎日思っています。私たちにも生活があり、お金のことも心配です。兄弟児となった子どもの将来も、一緒につぶれてしまう。【小出地域、10歳未満】
- 心臓ペースメーカーが入っている事で、身体障害者一級になり、いろいろなサービスを受けさせてもらい、日々平穏に過ごしています。感謝しております。【堀之内地域、70代】

- 今は何とか手続きできていますが、1年に1度の自立支援と2年に1度の障害者手帳の手続きは面倒に思います。【堀之内地域、50代】
- 精神障害2級の後期高齢者です。体の外形ではわからない障害なので誤解されます。福祉サービスも外面だけではなく障害者の本音を聞いてほしい。年金額が少なくやっと生きています。【堀之内地域、70代】
- 統合失調症の患者ですが、症状が安定していて内服薬のみの治療がずっと続いており、ここ20年以上はこれといった変化はありません。そういった患者はこの先もあまり急な変化はないのではないかと思います。そういった場合は自立支援サービスや手帳などの更新手続きが1、2年単位ではなく3、4年単位になれば助かります。今でこそ更新手続きにも少し慣れましたが、私も手続きが苦手な時期が長くありました。可能であればよろしく願いいたします。【堀之内地域、50代】
- 重度の障害者のための生活介護の場ができてはや15年。親も子も本当に助かっています。今後の気がかりは、親が年をとって家で面倒をみられなくなった時のこと。全介助の者が、ケアホームなどにお世話になりながら、日中は生活介護のお世話になる…そのようなことができないでしょうか。【湯之谷地域、30代】
- 病院に入院した時など付き添いが必要になった場合、福祉のサービスが受けられるといいと思います。【守門地域、60代】
- 魚沼市内に就労支援機関がないので非常に困っています。"事業所経由等ではない障害者"や手帳保持者までいかない"グレーゾーン"の人たちの支援機関がないと思います。支援機関、キャッシュレス等ITの知識を持つ支援員の人材育成が必要だと思います。私は通勤時に福祉タクシー券が地域乗り合いタクシーで使用可能になったことは大変感謝しています。土日祝日も月に1~2回程度利用できるありがたいです。交通機関の割引等、バスだけではなく電車にも適応してほしいです。また、イベント等での割引も増えてほしいです。【小出地域、30代】
- 介護タクシーは定額制にしてほしい。【湯之谷地域、30代】
- 身体障害者法が改正されたが、全国的に地域により内容、サービスの充実度がだいぶ違う。県内でも新潟市と魚沼市では大きく差があるので同じくらい充実させてほしい。【堀之内地域、70代】

相談体制・情報提供について

- 窓口も親切で、とても助かっています。ありがとうございます。今後ともよろしくおねがいします。【広神地域、20代】
- いつも優しく丁寧に質問に答えていただいたり、説明していただき、心から感謝申し上げます。さまざまな支援を本当にありがとうございます。【堀之内地域、90代】
- 息子は自閉症と知的障害ですが、そういう人が幼少期~成人、歳をとっていく過程でどのような学校やサービス、就労をしていくのか、一般的な流れを知りたいと思います。経済的なサービスは大変充実していて活用させてもらっています。ありがとうございます。【小出地域、10歳未満】
- 今30歳です。歳をとって親が亡くなり、周りの環境が変わって支援する人も変わって、私の気持ちをわかってくれる人が周りにいなくなってしまうたらどうなるのだろうととても不安です。今と同じように落ち着いて楽しく過ごしていきたい。周りの人達に私のことをわかってもらえずずっと続けてもらいたいです。【小出地域、30代】
- どのようなサービスがあるのか、こちらが動かないとわからない。年1回ぐらい、このようなアンケートをもらっても、質問の内容を理解するのが難しく、記入する気がなくなった。【堀之内地域、30代】

- 魚沼市は、支援や福祉サービスが進んでいると思います。知らなかったこともたくさんありましたが、役場の福祉課の人たちは、いつも優しく丁寧に接してくださるので、安心して相談することができます。ありがとうございます。病気や障害のある人もない人も、みんなが同じ目線で暮らしていけたらと願っています。【守門地域、10歳未満】
- 先日、自立医療費認定手続きの書類を受領しましたが、誤字脱字が多く解読に苦労しました。ただでさえ複雑に感じる分野ですので、平易な文章やすっきりした体裁等、ユニバーサルデザインを意識した公文書の作成を望みます。(この冊子もふりがなは振ってあるものの、ところどころに聞きなれない単語が多いように感じます。就労＝仕事をする、在宅＝家にいる等わかりやすい表現があるはず！)。【守門地域、40代】
- 必要以上に市役所の人が施設を勧めるの、絶対やめてください。【小出地域、40代】
- 自立支援医療制度に申し込むときに感じましたが、私達は基本的に各種制度を知りません。うつ病やそれに類する精神障害は、病名の特定までに長い時間を要することが多いそうです。うつ病か双極性障害では受けられる支援がまったく違ってくるのに、それすらも自分で調べなければ、医者も教えてくれないし、どうしていいのか、本人はいつもわかりません。その辺の周知や支援がほしいです。【入広瀬地域、40代】
- アスペルガー、うつにより自立支援制度を受けているが、他の制度についてあまり知識がなかった。【湯之谷地域、40代】

生活環境・交通手段について

- 高齢者単身住宅の整備を拡充よろしくお願いいたします。【広神地域、60代】
- 障害に適した住宅を希望します。【堀之内地域、70代】
- 乗合タクシーを増やしてほしい。路線バスに「スーパーへ行く」方面もあってもいいのではないのでしょうか。【湯之谷地域、50代】
- 現在一人暮らしを考えていて、できれば県営住宅に入りたいのですが、保証人がおらずどうすればいいかわかりません。医療上の問題もあり、病院に近い所があれば通院に楽なので、入ることができればと考えています。【湯之谷地域、40代】
- ルビをふってもらったが、弱視にはかえって見づらい。コストがかかるが、QRコードで音声ガイドがあればありがたい。市内デマンドバスについて、利用者サイドに沿った運行を一から見直してもらいたい。アンケートに終わらず、障害者と行政が膝を交えて話ができる場を作ってもらいたい。【堀之内地域、50代】

医療について

- 年2回のペースメーカーチェックで、六日町の斎藤記念病院から介護タクシーを使い小出病院を受診しています。福祉タクシー券をいただいているが、1回の受診で200円の医療費に対して介護タクシー（ストレッチャー）代は往復で3万円弱かかる。非課税世帯には非常に大きな出費である。斎藤記念病院でもペースメーカーチェックを受けられる体制を作っていただきたい。魚沼市内のタクシー業者は介護タクシー（ストレッチャー）を現在どこの会社も持っていない。南魚沼市も1社だけ。不便すぎる。市の助成等により魚沼市内のタクシー会社の介護タクシー（ストレッチャー）導入を早めにしていただきたい。【小出地域、80代】
- 障害者は健康診断は無理ということがあります。市の健診車には乗れないからです。「高齢者は安いので自分で受ければいい」との言葉耳にしました。受診すれば全額の支払いになるとのことで、異常が感じられないので何年も受けてない人がいっぱいいます。バスでなくても病院でも健診できるようにできないですか。【堀之内地域、80代】

行政・施策について

- 私は22歳で重度のうつ病を発症し、39歳で精神障害福祉年金を受給するようになり、大変ありがたかったと感謝の気持ちでいっぱいです。その頃1年に1度、広神役場の村長の印鑑を押印してもらいに行くと、必ず福祉支援課以外の職員に診断書の内容を回し読みされ、悔しく情けない思いをしました。今はそのようなこともなく、投薬治療を受け続けて難治性うつ病で死ぬまで投薬治療です。どうかよろしく願いいたします。症状は安定しています。ありがとうございます。【広神地域、70代】
- 年金についての不満です。国民年金で月6万円を交付してもらっていますが、介護保険料と健康保険料で相殺され、0円に近い収入となっております。年金の意味がありません。どう思いますか。【小出地域、60代】
- 魚沼市は福祉が進んでいて、障害児がいてもとても過ごしやすいと思います。ですが、若い世代や今の子ども達は、障害のことを知っていそうで知らない子が多いように思います。うちの子は見た目では全然わからないのでお友達が話しかけてくれることがあります。「お話ができないんだ」と伝えると不思議そうな顔をします。子どもなので色々聞いてくると、親が「そんな事聞かないの」とさえぎったりします。知ることで受け入れてくれる人が増えると思うので、小学校などでそういう授業があるといいのと思っています。【広神地域、10歳未満】
- アンケートの質問が多い。障害のない人が書きにくい。アンケートはひらがなを多く、漢字を少なくしないと配慮しているといえないのでは？人の尊厳を第一義にした施策を望みます。人口を集約しコンパクトなまちづくりをしてほしい。みんなが暮らしやすいまちに。【小出地域、50代】
- 魚沼厚生福祉会は諸問題に取り組んでいます。これまで同様、市民福祉部のご協力をお願いします。【堀之内地域、50代】
- 医療ケア（ストマ装具など）が大幅に値上がりしています。市の補助金など見直しをお願いしたい。【小出地域、70代】
- まず就学していた時から問題（いじめ等）があったが、実行力がもった介助が一切なかった。その後それがハンデキャップになり、社会的活動もうまくいかなかった。現在でも問題があってもほぼ何もしてくれない。本当に何もしてくれないので助けてください。【湯之谷地域、40代】
- 障害者に給付金がほしい。まともに働けなくて家族に金銭面で迷惑かけているから。【守門地域、30代】

- 障害をひとくくりにしないでほしい。「身体」や「精神」、「見える障害」「見えない障害」、一人ひとり違うことを知ってほしい。「見えない障害」は、周りからは健常者にみえることが多々あるので、すごく生きづらい。選挙等について、身体に障害がなくても、その会場まで行けない人はいる。「何でもオンラインで」という時代になってきたけど、それが苦手な人もいることをわかってほしい。「便利」なことが「不便」な人もいることを知ってほしい。【小出地域、30代】
- いつも市役所の職員さんに、優しく丁寧にに応じていただいています。ありがとうございます。難しいお仕事だと思います。クレームの声の方が聞こえやすいかも知れませんが、私のように感謝している人が多数いると思います。いつもお世話になっております。今後ともよろしく願いいたします。【堀之内地域、50代】
- 障害者に幸ありますように。魚沼市は駄目ですね。毎日が辛いです。【湯之谷地域、70代】
- 実際に家に来て、本人がどのような生活をしているのか見ていただきたいです。身体障害者手帳1級でも、介護度の差がすごくあります。本当に、見に来てほしいです。【広神地域、20代】
- 私は精神疾患です。うつ病になり10年以上がたちました。自立支援医療受給を受け、お薬を安く飲んでいるので大変ありがたいです。しかし仕事のできなかつた期間が長かったので、収入源がない状態が数年ありました。生きるために借入をしました（自分の生活費と、娘が学生だったので学費等）。今その返済に大変苦労しています。清掃の仕事ができるようになり、働いていますが、負債の金額に関係なく税金は取られます。年金と働いた収入でやっと生活しています。無収入の時期の支援があったならと思います。みんな障害になりたくてなるわけではありません。負債金額を考慮した税金にしていただけたらと思います。子どもの支援はとても手厚くとてもいいことだと思っています。老人は年金だけでは大変苦しい生活です。魚沼は働ける場所も少なく、自活は大変厳しいです。この先病気をしたらと思うと不安ですが、一日一日なんとかやり過ごしています。労働場所も汚い、きつい職場しかなく、収入も少ないです。今後精神疾患患者も増えていくとは思いますが、無収入時の支援が今後の人達にあつたらいつも思っています。【湯之谷地域、60代】
- 施設、支援者へ発達障害の理解を深めてもらえるような取り組みを積極的に行ってほしいです。発達障害を理解せず支援した場合、「人権侵害」や「虐待」にあたる事例が、意図的ではないにせよ起こる場合があると思います。故意にやることだけが人権侵害や虐待ではないと思います。成年後見制度も親以外の人に後見人をお願いする場合、障害の理解がない人をお願いするのは不安があります。ですが理解するのは簡単ではないので、長期的な取り組みが必要だと思います。【広神地域、30代】

その他

- 現在は車の運転もできて不自由も感じていなく、市の行政も行き届いているため不安もなく元気に暮らしているし、ゲートボール愛好者も多く夏冬決まった人達で遊び、自分でできる野菜づくり自家農地の草刈等で夏場は多忙な毎日です。共同作業でも若い人に負けないように頑張つて暮らしています。歳が歳だけに何年後のことを考えれば不安ですが、現時点では生活を楽しんでいます。【守門地域、80代】
- 生前中は、祖父、祖母がお世話になりありがとうございました。【湯之谷地域、50代】
- 今現在、自分のことや少しばかりの畑仕事、夕食の支度くらいはできます。自分の日常のことは、行動する時は注意して行つております。【堀之内地域、80代】
- 今のところ生活は不自由ではないが、近い将来生活保護が必要になると考えます。少しの蓄えと相談する人もいますが、いつどうなるかわからないから。【守門地域、70代】
- いつもお世話になっており、ありがとうございます。【小出地域、70代】
- 更生園の生活もいいけれど、家では家族のことが気になりとても不安です。【小出地域、50代】

- 今は夫も健在です。一人になった時のことを考えると不安はありますが、嫌な事は考えずのん気に生活しています。子ども達に迷惑をかけないように、日々体を動かすようにしています。食事もなるべく手づくりしています。【小出地域、70代】
- 認知症が進み残念ながら本人の気持ちを知ることができません。想いを巡らせて記入いたしました。【広神地域、80代】
- インタビューしていただきありがとうございました。これからも続けてください。【湯之谷地域、40代】
- このアンケートをとって、何か変わりますか？ 何を知りたいのですか？ もっと具体的なことを聞いて、役立ててほしいです。【堀之内地域、30代】
- アンケート内容については、年齢ごとに作成すべきであると感じた。高齢者向けに別に作成すべきかと感じた。【堀之内地域、90代】
- 設問が専門的で言葉も難しいです。総合支援法を知らないと回答できないものもあります。経験者であった私自身も少し戸惑いがありました。漢字にあえてフリガナがふられていますが、言葉の意味理解にはつながらないのでは？ 障害の「害」の字も、この種のアンケート調査には不適切だと思います。【湯之谷地域、30代】